

授業計画書

学部	風	科 コース	旅行科	年次	1	区分	必修	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	J	
科目名			キャリアプランニングⅠ			講師名	山田 真史	
担当講師の実務経験			○	実務 経歴	旅行業界で10年間、団体旅行セールス・企画・手配・添乗業務を担当			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
1. 業界・企業の特徴を理解する 2. 内定につながる各対策 3. 納得できる進路の決定					授業形態：講義 ①就職活動を実際にスタートさせる。 ②就職活動に必要な応募書類を理解し、作成する。 ③様々な面接試験への対策をおこなう。			
実施回数	授業スケジュール			授業内テスト 内容	点数	各回の到達目標		特記事項
1	オリエンテーション (就職活動、身嗜みについて)					授業の目的と意義を理解する。 就職活動の進め方を理解する。		吉野
2	旅行業界就職事情					業界の仕組みと仕事を理解する。		山田
3	メールの送り方					就職活動でのメールの送り方を理解する。		吉野
4	応募書類の書き方(履歴書・ES)					応募書類の書き方を理解する。		吉野
5	自己分析 《旅行科&鉄道サービス科合同》					自己分析の仕方を学び、自身の強みを知る。		橋本 山田
6	自己PR①					履歴書、ES、面接用の自己PRを作成する。		小澤
7	自己PR②			課題	10	履歴書、ES、面接用の自己PRを作成する。		小澤
8	グループディスカッション 《旅行科&鉄道サービス科合同》			実技	10	グループディスカッションの流れを理解する。		里口 吉野
9	合同グループディスカッション 《全学科合同》			実技	10	他学科と合同で実施し、本番に備える。		全員
10	面接の種類と対策					面接の種類と面接官の視点を理解する。		小澤
11	グループ面接練習			実技	15	グループ面接を練習し、本番に備える。		小澤 吉野
12	グループ面接練習 《旅行科&鉄道サービス科合同》			実技	15	グループ面接を練習し、本番に備える。		里口 山田 吉野
13	試験WEEK			実技 筆記	10 30	持ち込み：なし		
14	旅行業界の就職事情と企業研究。 まとめ。					業界の仕組みと企業研究の理解。		吉野
15	総まとめおよび各種行事					これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。		
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
[共通] 9回目 実技 10点 (追試内容) 試験WEEK 実技 10点 母数減らし 筆記 30点 母数減らし 追試(試験WEEK内実施)					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		就職ノート 各科配布プリント	
[各学科] 7回目 課題 10点 母数減らし 8回目 実技 10点 母数減らし 11回目 実技 15点 母数減らし 12回目 実技 15点 母数減らし								

授業計画書

学部	風	科 コース	エアライン科	年次	1	区分	必修	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	L1	
科目名			キャリアプランニングⅠ			講師名	伊藤 可奈	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	外資系航空会社で5年間、客室乗務員として勤務。その後ホテルの宿泊部で2年間勤務。				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
1. 業界・企業の特徴を理解する 2. 内定につながる各対策 3. 納得できる進路の決定				授業形態：講義 1. 就職活動を実際にスタートさせる 2. 就職活動に必要な応募書類の理解と作成 3. 様々な面接試験への対策を行う				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	オリエンテーション				授業目的と意義、就活について理解する			
2	航空業界就職事情①				業界の仕組みと仕事の理解			
3	航空業界就職事情②				業界の仕組みと仕事の理解			
4	メールの送り方、就活サイト登録		課題①	10	ビジネスメールの送り方を覚える 就活サイトの登録をする	14PⅠ 14PⅡ		
5	自己分析				自身の強みを知る			
6	応募書類作成①				履歴書・ES作成のポイント			
7	応募書類作成②		課題②	15	履歴書・ES作成のポイント			
8	グループディスカッション		実技①	5	実践練習			
9	合同グループディスカッション		実技②	10	他学科と合同で実施			
10	合同グループディスカッションまとめ グループ面接		実技③	10	9週目の振り返り 実践練習			
11	合同グループ面接		実技④	10	プライダル科と合同で実施			
12	グループ面接まとめ				11週目の振り返り			
13	試験WEEK		実技⑤ 筆記	10 30	持ち込み：なし			
14	振り返り				後期の振り返り			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
追試については以下の通りとします。 課題……翌週授業までに提出すること。 実技……母数減らしとする。 筆記……別途案内する日時で追試を実施する。					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		就職ノート 各科配布プリント	

授業計画書

学部	昼	科 コース	鉄道サービス科	年次	1	区分	必修	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	K	
科目名			キャリアプランニング I			講師名	里口 邦夫	
担当講師の実務経歴		○	実務経歴	関西の鉄道会社で6年間弱勤務。駅員、車掌、運転士を担当する。				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
1. 業界・企業の特徴を理解する 2. 内定につながる各対策 3. 納得できる進路の決定				授業形態：講義 ①就職活動を実際にスタートさせる。 ②就職活動に必要な応募書類を理解し、作成する。 ③様々な面接試験への対策をおこなう。				
実施回数	授業スケジュール			授業内テスト		各回の到達目標		特記事項
			内容	点数				
1	オリエンテーション (就職活動、身嗜みについて)					授業の目的と意義を理解する。 就職活動の進め方を理解する。		里口
2	鉄道業界就職事情					業界の仕組みと仕事を理解する。		里口
3	メールの送り方					就職活動でのメールの送り方を理解する。		里口
4	応募書類の書き方(履歴書・ES)					応募書類の書き方を理解する。		里口
5	自己分析 《旅行科&鉄道サービス科合同》					自己分析の仕方を学び、自身の強みを知る。		橋本 山田
6	鉄道業界就職の特性①					業界特有の試験・PRすべき点		里口
7	鉄道業界就職の特性②			課題	10	業界特有の試験・PRすべき点		里口
8	グループディスカッション			実技	10	グループディスカッションの流れを理解する。		里口 吉野
9	合同グループディスカッション			実技	10	他学科と合同で実施し、本番に備える。		全員
10	面接の種類と対策					面接の種類と面接官の視点を理解する。		里口
11	鉄道業界就職の特性③			実技	15	業界特有の試験・PRすべき点		里口
12	グループ面接練習 《旅行科&鉄道サービス科合同》			実技	15	グループ面接を練習し、本番に備える。		全員
13	試験WEEK			実技 筆記	10 30	持ち込み：なし		
14	鉄道業界の就職事情と企業研究。 まとめ。					業界の仕組みと企業研究の理解。		里口
15	総まとめおよび各種行事					これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。		
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
[共通] 9回目 実技 10点 (追試内容) 試験WEEK 実技 10点 母数減らし 筆記 30点 母数減らし 追試(試験WEEK内実施)					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		就職ノート 各科配布プリント	
[各学科]								

授業計画書

学部	夜	科 コース	旅行科	年次	1	区分	必修	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	JA	
科目名			キャリアプランニングⅠ			講師名	山田 真史	
担当講師の実務経験		○		実務 経歴	旅行業界で10年間、団体旅行セールス・企画・手配・添乗業務を担当			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
1. 業界・企業の特徴を理解する 2. 内定につながる各対策 3. 納得できる進路の決定					授業形態：講義 ①就職活動を実際にスタートさせる。 ②就職活動に必要な応募書類を理解し、作成する。 ③様々な面接試験への対策をおこなう。			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	オリエンテーション (就職活動、身嗜みについて)				授業の目的と意義を理解する。 就職活動の進め方を理解する。	吉野		
2	旅行業界就職事情				業界の仕組みと仕事を理解する。	山田		
3	メールの送り方				就職活動でのメールの送り方を理解する。	吉野		
4	応募書類の書き方(履歴書・ES) 《旅行科&鉄道サービス科合同》				応募書類の書き方を理解する。	吉野		
5	自己分析 《旅行科&鉄道サービス科合同》				自己分析の仕方を学び、自身の強みを知る。	橋本 山田		
6	自己PR① 《旅行科&鉄道サービス科合同》				履歴書、ES、面接用の自己PRを作成する。	小澤		
7	自己PR② 《旅行科&鉄道サービス科合同》		課題	10	履歴書、ES、面接用の自己PRを作成する。	小澤		
8	グループディスカッション 《旅行科&鉄道サービス科合同》		実技	10	グループディスカッションの流れを理解する。	吉野		
9	合同グループディスカッション 《全学科合同》		実技	10	他学科と合同で実施し、本番に備える。	全員		
10	面接の種類と対策 《旅行科&鉄道サービス科合同》				面接の種類と面接官の視点を理解する。	吉野		
11	グループ面接練習 《旅行科&鉄道サービス科合同》		実技	15	グループ面接を練習し、本番に備える。	吉野		
12	グループ面接練習 《旅行科&鉄道サービス科合同》		実技	15	グループ面接を練習し、本番に備える。	里口		
13	試験WEEK		実技 筆記	10 30	持ち込み：なし			
14	旅行業界の就職事情と企業研究。 まとめ。				業界の仕組みと企業研究の理解。	佐野		
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
[共通] 9回目 実技 10点 (追試内容) 試験WEEK 実技 10点 母数減らし 筆記 30点 母数減らし 追試(試験WEEK内実施)					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		就職ノート 各科配布プリント	
[各学科] 7回目 課題 10点 母数減らし 8回目 実技 10点 母数減らし 11回目 実技 15点 母数減らし 12回目 実技 15点 母数減らし								

授業計画書

学部	夜	科 コース	エアライン科	年次	1	区分	必修	共通科目
総時間数		30		単位数	2	クラス	LA1	
科目名			キャリアプランニングⅠ			講師名	伊藤 可奈	
担当講師の実務経験		○		実務経歴	外資系航空会社で5年間、客室乗務員として勤務。その後ホテルの宿泊部で2年間勤務。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
1. 業界・企業の特徴を理解する 2. 内定につながる各対策 3. 納得できる進路の決定					授業形態：講義 1. 就職活動を実際にスタートさせる 2. 就職活動に必要な応募書類の理解と作成 3. 様々な面接試験への対策を行う			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標			特記事項
			内容	点数				
1	オリエンテーション				授業目的と意義、就活について理解する			
2	航空業界就職事情①				業界の仕組みと仕事の理解			
3	航空業界就職事情②				業界の仕組みと仕事の理解			
4	メールの送り方、就活サイト登録		課題①	10				14P I
5	自己分析				自身の強みを知る			
6	応募書類作成①				履歴書・ES作成のポイント			
7	応募書類作成②		課題②	15	履歴書・ES作成のポイント			
8	グループディスカッション		実技①	5	実践練習			
9	合同グループディスカッション		実技②	10	他学科と合同で実施			
10	合同グループディスカッションまとめ グループ面接		実技③	10				
11	合同グループ面接		実技④	10	プライダル科と合同で実施			
12	グループ面接まとめ				11週目の振り返り			
13	試験WEEK		実技⑤ 筆記	10 30	持ち込み：なし			
14	振り返り				後期の振り返り			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
追試については以下の通りとします。 課題……翌週授業までに提出すること。 実技……母数減らしとする。 筆記……別途案内する日時で追試を実施する。					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		就職ノート 各科配布プリント	

授業計画書

学部	昼	科 コース	鉄道サービス科	年次	1	区分	必修	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	K	
科目名			キャリアプランニングⅠ			講師名	里口 邦夫	
担当講師の実務経験		○	実務 経歴	関西の鉄道会社で6年間弱勤務。 駅員、車掌、運転士を担当する。				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
1. 業界・企業の特徴を理解する 2. 内定につながる各対策 3. 納得できる進路の決定				授業形態：講義 ①就職活動を実際にスタートさせる。 ②就職活動に必要な応募書類を理解し、作成する。 ③様々な面接試験への対策をおこなう。				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標			特記事項
			内容	点数				
1	オリエンテーション (就職活動、身嗜みについて)				授業の目的と意義を理解する。 就職活動の進め方を理解する。			里口
2	鉄道業界就職事情				業界の仕組みと仕事を理解する。			里口
3	メールの送り方				就職活動でのメールの送り方を理解する。			里口
4	応募書類の書き方(履歴書・ES)				応募書類の書き方を理解する。			里口
5	自己分析 《旅行科&鉄道サービス科合同》				自己分析の仕方を学び、自身の強みを知る。			橋本 山田
6	鉄道業界就職の特性①				業界特有の試験・PRすべき点			里口
7	鉄道業界就職の特性②		課題	10	業界特有の試験・PRすべき点			里口
8	グループディスカッション		実技	10	グループディスカッションの流れを理解する。			里口 吉野
9	合同グループディスカッション		実技	10	他学科と合同で実施し、本番に備える。			全員
10	面接の種類と対策				面接の種類と面接官の視点を理解する。			里口
11	鉄道業界就職の特性③		実技	15	業界特有の試験・PRすべき点			里口
12	グループ面接練習 《旅行科&鉄道サービス科合同》		実技	15	グループ面接を練習し、本番に備える。			全員
13	試験WEEK		実技 筆記	10 30	持ち込み：なし			
14	鉄道業界の就職事情と企業研究。 まとめ。				業界の仕組みと企業研究の理解。			里口
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
[共通] 9回目 試験WEEK 実技 10点 実技 10点 筆記 30点 (追試内容) 母数減らし 母数減らし 追試(試験WEEK内実施)					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		就職ノート 各科配布プリント	
[各学科]								

授業計画書

学部	風	科 コース	1年共通科目	年次	1	区分	必修	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス		
科目名			ビジネスマナーⅡ			講師名	上田	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	航空会社にて客室乗務員として12年間勤務。 航空機内での接客・アナウンス、VIPフライトを担当。 新入客室乗務員の乗務訓練および、中堅社員教育を担当。 マナー・プロトコル検定準2級取得。				
授業のねらい・学期の達成目標								
1. 前期で学んだジョブパス3級の知識を就職活動で「実践できる」レベルへ引き上げる。				授業形態：講義 敬語を「知る」から「使える」トレーニングを行う。 電話対応や文書の常識を、演習を中心に学習する。				
2. 就職活動に必要な「敬語」「電話」「文書」を実践的に学ぶ。								
3. 就職活動を円滑に進める力を身につける。								
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	オリエンテーション・マナーの基本				授業内容の理解・マナーを学ぶ重要性			
2	就職活動におけるマナー①				第一印象・身嗜み・持ち物について			
3	就職活動におけるマナー②				会社説明会参加マナー・質問内容など			
4	就職活動に必要な言葉遣い				敬語の基本を理解して身につける			
5	就職活動に必要な話し方				婉曲的な表現、慣用的な表現を理解			
6	言葉の表現方法		筆記①	10	言葉の言い換えを学び語彙力を伸ばす			
7	メールのマナー		課題①	10	メールのマナー、SNSの注意点など			
8	電話のマナー				ビジネス電話の知識・電話対応の基本			
9	電話対応（就活ケーススタディ）				電話対応実践練習 *冬休み課題配布			
10	就職活動に必要な文書①		課題②	10	添え状、礼状、封筒の書き方（実践練習）			
11	就職活動に必要な文書②		課題③	10	添え状、封筒（授業内課題提出）			
12	ビジネス文書の基本				社内社外文書について			
13	試験WEEK		筆記②	50	持ち込み：なし			
14	会社訪問のマナー				訪問、受付のマナー・名刺の知識			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
<p>【マナー点（10点）について】 ビジネスマナーⅡでは、授業態度・忘れ物等にマナー点を設けています。10点からの減点方式で採点します。</p> <p>【追試詳細】 筆記① … 授業担当者に追試日を確認すること 課題①、② … 翌週授業にて提出 課題③ … 母数減らし 筆記② … 試験Week内に追試日を設定します</p>					<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>		<p>・B検ジョブパス ビジネス能力検定3級 公式テキスト （問題集は不要）</p> <p>・配布プリント</p>	

授業計画書

学部	風	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	必修	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	×	
科目名			ビジネスマナーⅢ			講師名	森本佳世子	
担当講師の実務経験		○	実務経歴		マーケティング企画会社でプランナーとして7年間勤務後、商社の営業事務職を経てマナー講師を14年間担当。ビジネス能力検定2級、マナープロトコール検定2級等保有			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
社会人として必須のビジネス実務の知識を学ぶ 1. 仕事への取り組み方 2. ビジネス社会の常識 3. 仕事の技法と知識 4. 将来のライフデザインとマネープラン					授業形態：講義 ビジネスマナーⅠ、Ⅱで学んだことを基本に、ビジネスシーンで役立つことや社会人として知っておくべき知識をワーク形式で学習する。			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	授業のオリエンテーション キャリアとは、働くということとは				学生と社会人の違い、働く意識、人生のマネジメント、ワークライフバランス、自己実現			
2	コミュニケーション① 仕事の進め方の基本				効率の良い仕事をするには、基本の意識、目標と計画、日常と非日常			
3	会社組織に関わる知識① モラルと法律				契約に関する法律、コンプライアンス 個人情報			
4	コミュニケーション② 会社組織に関わる知識②				仕事上の人間関係、新入社員ケーススタディ ネットの知識、メールのマナー、秘密の保持			
5	会社組織に関わる知識③ 労務管理、給与体系		筆記 試験	10	権利と義務、雇用形態、就業規則 給与の原則			
6	コミュニケーション③ 企画書の作成				文書の種類・企画書のポイント			
7	コミュニケーション④ 会議への参加		課題 提出	15	グループワークを通じてコミュニケーションの大切さを知る。会議の知識と参加の仕方			
8	コミュニケーション⑤ プレゼンテーション		実技 試験	25	ロジカルシンキング 自らの考えを上手く伝える（グループでのプレゼンテーション）			
9	個人に関わるお金の知識① お金の知る、お金の使う				お金の役割、景気と為替、ニーズとウォンツ 合理的な意思決定			
10	個人に関わるお金の知識② お金を貯める、増やす、借りる				利息、リスクとリターン、金融商品 返済方法、多重債務			
11	個人に関わるお金の知識③ お金のトラブル、万に備える				悪徳商法、クーリングオフ、クレジットカード 社会保険とは			
12	個人に関わるお金の知識④ 万に備える				社会保険と民間保険の違い 保険のしくみ、保険の種類			
13	試験WEEK		筆記 試験	40	持ち込み：テキスト2冊 「仕事の常識」「パーソナルファイナンス」			
14	金融経済教育セミナー				金融商品、クレジットカードの活用			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー 等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価	使用教材		
<授業内試験等により評価> ①11月 1日 授業内筆記試験（10点） ・授業終了15分前開始予定 10分間 ②11月15日 課題提出（15点） ・公欠で提出できなかった場合は12/6迄に提出 ③11月29日 実技試験（25点） ・グループ評価なので全員協力すること （グループワーク参加度評価5点を含む） ④試験week 筆記試験（40点） ⑤マナー点（10点）授業態度・忘れ物等で減点方式 ＊追試詳細は欄外参照＊					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下	①「仕事の常識」 ②「パーソナル ファイナンス」 ③ 配布プリント等		

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	1	区分	必修	共通科目
総時間数			15	単位数	1	クラス	共通②/⑥	
科目名			業界就職試験対策Ⅱ			講師名	南 智子	
担当講師の実務経験		○	実務経験	教育業界で講師として数学・化学・生物・PCの授業を担当。約20年勤務。				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
業界就職試験に必要な数学、国語、社会の知識及び能力を得る。 1. 数学の基礎計算能力の習得 2. 数学の文章問題が解ける 3. 国語、社会の基礎知識の習得				授業形態：講義 問題の解説及び演習				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標			特記事項
			内容	点数				
1	数学① 場合の数1				単元内容の理解・演習			
2	数学② 場合の数2		課・筆	34	単元内容の理解・演習			
3	数学③ 確率1				単元内容の理解・演習			
4	数学④ 確率2		課・筆	34	単元内容の理解・演習			
5	数学⑤ 濃度算		課・筆	34	単元内容の理解・演習			
6	数学⑥ 推論		課・筆	34	単元内容の理解・演習			
7	数学⑦ 仕事算・水槽算		課・筆	34	単元内容の理解・演習			
8	数学⑧ 表の読み取り		課・筆	34	単元内容の理解・演習			
9	数学⑨ 総合演習1		課・筆	34	単元内容の理解・演習			
10	社会① 国際社会と日本		筆	21	単元内容の理解・演習			種子
11	数学⑨ 総合演習2				単元内容の理解・演習			
12	試験WEEK			120	持ち込み：不可			
13	社会② 時事				単元内容の理解・演習			
14	まとめと総復習				単元内容の理解・演習			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		就職筆記対策テキスト サブテキスト 計2冊	

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	1	区分	必修	共通科目
総時間数			15	単位数	1	クラス	共通③/④	
科目名			業界就職試験対策Ⅱ			講師名	松山 美里	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	教育業界で、主に中学生・高校生・専門学校・短大生・大学生を対象に約15年指導しています。数学・筆記試験対策の授業を中心に担当しています。				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
業界就職試験に必要な数学、国語、社会の知識及び能力を得る。 1. 数学の基礎計算能力の習得 2. 数学の文章問題が解ける 3. 国語、社会の基礎知識の習得				授業形態：講義 問題の解説及び演習				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	速度算の基礎①②				単元内容の理解・演習			
2	社会		筆	21	単元内容の理解・演習	種子		
3	社会		筆	21	単元内容の理解・演習	種子		
4	旅人算・時刻表		課・筆	34	単元内容の理解・演習			
5	場合の数		課・筆	34	単元内容の理解・演習			
6	確率		課・筆	34	単元内容の理解・演習			
7	割合の基礎（復習）		課・筆	34	単元内容の理解・演習			
8	損益算・金銭		課・筆	34	単元内容の理解・演習			
9	濃度算（推論）		課・筆	34	単元内容の理解・演習			
10	総合演習①				単元内容の理解・演習			
11	総合演習②		課・筆	34	単元内容の理解・演習			
12	試験WEEK			120	持ち込み：不可			
13	総復習①				単元内容の理解・演習			
14	総復習②				単元内容の理解・演習			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		就職筆記対策テキスト サブテキスト 計2冊	

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	1	クラス	共通①/⑤	
時間数		1		単位数	1	区分	必修	共通科目
科目名		業界就職試験対策Ⅱ				講師名	濱田 剛	
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
業界就職試験に必要な数学、国語、社会の知識及び能力を得る。 1. 数学の基礎計算能力の習得 2. 数学の文章問題が解ける 3. 国語、社会の基礎知識の習得					授業形態：講義 問題の解説及び演習			
実施日 回数	授業スケジュール			授業内テスト		各回の到達目標		特記 事項
				内容	点数			
1	10/3	数学①	場合の数			単元内容の理解・演習		
2	10/10	数学②	場合の数 確率	課・筆	34	単元内容の理解・演習		
3	10/17	数学③	確率	課・筆	34	単元内容の理解・演習		
4	10/24	数学④	濃度算 推論 濃度 人口密度	課・筆	34	単元内容の理解・演習		
5	11/7	数学⑤	推論 順序 内訳 対戦	課・筆	34	単元内容の理解・演習		
6	11/14	数学⑥	図表の読み取り	課・筆	34	単元内容の理解・演習		
7	11/21	数学⑦	仕事算 水槽算	課・筆	34	単元内容の理解・演習		
8	11/28	社会		筆	21	単元内容の理解・演習		種子
9	12/5	社会		筆	21	単元内容の理解・演習		種子
10	1/16	数学⑧	総合演習	課・筆	34	単元内容の理解・演習		
11	1/23	数学⑨	総合演習2			総復習と演習		
12		試験WEEK			120	持ち込み：不可		
13	2/6	数学⑩	総合演習3			総復習と演習		
14	2/13	数学⑪	総合演習4			総復習と演習		
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
①10/10～11/21, 1/16 数学授業の際の課題提出・筆記試験の内容 ・課題提出10点 ・筆記試験24点(数学10点・国語10点・社会4点) ・34点×7回=238点 ②11/28, 12/5 社会授業の際の筆記試験 21点×2回=42点 ③試験WEEK 数学120点 ①+②+③の合計400点満点にて評価					A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 59%以下		就職筆記対策テキスト サブテキスト 計2冊	

☆追試の流れ☆

- ①追試受験資格者については、学生便覧を確認してください。
- ②欠席に伴う書類(欠席・公欠届/延着証明書/貴社訪問証明書)を学生カウンターに提出する。
※提出期日:欠席最終日翌日より3日以内(土日祝除く)
※筆記試験・実技試験・課題提出・母数減らし・チーム点評価、全てにおいて上記の書類提出が必要。
- ③提出した書類の承認後、撮影をし担当講師に提示し、追試日を確認する。
- ④追試を受験する。

※試験WEEK内の追試(筆記・課題)については、試験WEEK期間内に実施をする。(詳細は後日案内)

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	1	クラス	共通③	
時間数		1		単位数	1	区分	必修	共通科目
科目名			留学英文法Ⅱ			講師名	鈴木 律子	
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
英語でのコミュニケーションに必要な文法を体系立てて学習し、基礎力を養成する。					授業形態：講義 英文法演習中心に授業を進め、各単元の定着を図る。毎回、単語と文法の小テストを実施。小テストの正答率が6割(3点)以下の場合、追加課題を実施。			
実施日 回数	授業スケジュール			授業内テスト 内容	点数	各回の到達目標		特記 事項
1	10/3	文の種類と疑問文		筆・課		Be動詞、一般動詞、助動詞の文の理解		
2	10/10	基本時制		筆・課	5	時制概念の理解		
3	10/17	現在完了		筆・課	5	現在完了の用法(経験,継続,完了)の理解		
4	10/24	助動詞		筆・課	5	助動詞の用法の理解		
5	11/7	不定詞		筆・課	5	不定詞の用法と構文の理解		
6	11/14	動名詞		筆・課	5	動名詞の用法の理解		
7	11/21	比較		筆・課	5	比較の文の理解		
8	11/28	受動態		筆・課	5	受動態の文の理解		
9	12/5	関係詞		筆・課	5	関係詞のしくみの理解		
10	1/16	分詞		筆・課	5	分詞のしくみの理解		
11	1/23	総復習		筆・課	5	総復習と試験対策		
12		試験WEEK			50	持ち込み：不可		
13	2/6	試験問題解説				試験問題解説		
14	2/13	会話表現				よく使われる会話表現の習得		
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
①10/10~1/23 単語テスト3点、文法テスト2点 5点×10回=50点 ②試験WEEK 50点 ①+②の合計100点満点にて評価 授業内筆記・課題：母数減らし					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		マーフィーの ケンブリッジ英文法 初級編、レジュメ	

☆追試の流れ☆

- ①追試受験資格者については、学生便覧を確認してください。
- ②欠席に伴う書類(欠席・公欠届/延着証明書/貴社訪問証明書)を学生カウンターに提出する。
 ※提出期日: 欠席最終日翌日より3日以内(土日祝除く)
 ※筆記試験・実技試験・課題提出・母数減らし・チーム点評価、全てにおいて上記の書類提出が必要。
- ③提出した書類の承認後、撮影をし担当講師に提示し、追試日を確認する。
- ④追試を受験する。

※試験WEEK内の追試(筆記・課題)については、試験WEEK期間内に実施をする。(詳細は後日案内)

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	1	区分	必修	共通科目
総時間数			15	単位数	1	クラス	共通⑦	
科目名			留學英文法Ⅱ			講師名	鈴木 律子	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	教育業界で、主に中学生・高校生・専門学校生・大学生を対象に約13年指導しています。英語の授業を中心に担当しています。				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
英語でのコミュニケーションに必要な文法を体系立てて学習し、応用力を養成する。				授業形態：講義 英文法演習中心に授業を進め、各単元の定着を図る。毎回、単語と文法の小テストを実施。小テストの正答率が6割(3点)以下の場合、追加課題を実施。				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標			特記事項
			内容	点数				
1	時制		筆・課		時制概念の理解			
2	助動詞		筆・課	5	助動詞の理解			
3	受動態		筆・課	5	受動態の用法の習得			
4	不定詞		筆・課	5	不定詞の用法の理解と習得			
5	動名詞		筆・課	5	動名詞の用法の理解と習得			
6	分詞		筆・課	5	分詞の用法の理解			
7	使役・知覚		筆・課	5	使役、知覚動詞の用法の習得			
8	関係詞		筆・課	5	関係詞の用法の理解			
9	比較		筆・課	5	比較表現の習得			
10	仮定法		筆・課	5	仮定法の理解と習得			
11	話法		筆・課	5	間接話法の理解と習得			
12	試験WEEK			50	持ち込み：不可			
13		和文英訳			言いたいことを正確に伝える			
14		和文英訳			言いたいことを正確に伝える			
15		総まとめおよび各種行事			これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		マーフィーの ケンブリッジ英文法 初級編、高校リード問 題集 英語 I	

授業計画書

学部	昼	科 コース	全科	年次	1	区分	必修	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	Aクラス (L/C/V/M/S)	
科目名			留学対策 (シアトル留学) Aクラス			講師名	原山・小澤・中村・大塚・Warren	
担当講師の実務経験		○	実務経験		英語の言語学専攻・アメリカに1年間の留学有 英語での接客経験有			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
アメリカ留学に向けて、現地での英語学習や生活を充実させられるよう準備を進めていく。 「本来の日本人」の姿を学び、日本人代表としての意識・自覚を持つ。 事前対策による、現地でのトラブル回避					授業形態：講義			
					<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク形式で、トラブル回避の方法を身に付ける ・ディスカッションを通して、自分の意見を述べる練習を行う ・英語のネイティブスピーカーによるレッスンを通して、英語でのコミュニケーション力を付ける 			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標			特記事項
内容	点数							
1	授業説明・ビザ申請について (A/B合同)	夏季休暇課題	10	この授業の意義を理解する				
2	スカイプレッスン①楽しい留学生活を送るには			スカイプで英会話にチャレンジし、今後の課題点を見つける				
3	楽しい留学生活を送るには			円滑な留学生活を送るための注意事項				
4	English Lesson	課題	10	日常で役立つ英会話を学ぶ				
5	ケーススタディ			留学中に起こり得るトラブルを事前に知ること 回避できる方法を身に付ける				
6	English Lesson	課題	10	日常で役立つ英会話を学ぶ				
7	スカイプレッスン②ホストファミリーとの生活①			スカイプで英会話にチャレンジし、今後の課題点 を見つける・ホストファミリーとの過ごし方を理 解する				
8	スカイプレッスン③ホストファミリーとの生活②			スカイプで英会話にチャレンジし、今後の課題点 を見つける・ホストファミリーとの過ごし方を理 解する				
9	English Lesson	課題	10	日常で役立つ英会話を学ぶ				
10	スカイプレッスン④日本の文化について	冬季休暇課題	20	スカイプで英会話にチャレンジし、今後の課題点 を見つける・日本の文化を知り、国際交流に役立 てる				
11	スカイプレッスン⑤日本の文化について			スカイプで英会話にチャレンジし、今後の課題点 を見つける・日本の文化を知り、国際交流に役立 てる				
12	ホストファミリーとの生活③④			ホストファミリーとの過ごし方を理解する				
13	試験WEEK	筆記	40	持ち込み：なし				
14	出発前の事前確認			保護者への決意表明・出発前確認				
15	総まとめおよび各種行事			これまでの総復習および就職セミナー等各種行事 の準備を行う。				
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
★追試について 学生カウンターにて追試の手続きを必ずすること ・10/7 夏季休暇課題→10/14までに提出 ・11/11 課題→次週の授業までに提出 ・11/25 課題→次週の授業までに提出 ・12/11 課題→次週までに提出 ・1/20 冬季課題→1/24までに提出 ・試験WEEK→試験WEEK中に追試を受けること					A 80点以上		・プリント	
					B 70点以上			
					C 60点以上			
					D 59点以下			

授業計画書

学部	夜	科 コース	1年共通科目	年次	1	区分	必修	共通科目
総時間数		15		単位数	1	クラス		
科目名			ビジネスマナーⅡ			講師名	森本	
担当講師の実務経験		○		実務経歴	マーケティング企画会社でプランナーとして7年間勤務後、商社の営業事務職を経てマナー講師を14年間担当。ビジネス能力検定2級、マナープロトコル検定2級等保有			
授業のねらい・学期の達成目標								
1. 前期で学んだジョブパス3級の知識を就職活動で「実践できる」レベルへ引き上げる。					授業形態：講義 敬語を「知る」から「使える」トレーニングを行う。電話対応や文書の常識を、演習を中心に学習する。			
2. 就職活動に必要な「敬語」「電話」「文書」を実践的に学ぶ。								
3. 就職活動を円滑に進める力を身につける。								
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標			特記事項
			内容	点数				
1	オリエンテーション・マナーの基本				授業内容の理解・マナーを学ぶ重要性			
2	就職活動におけるマナー①				第一印象・身嗜み・持ち物について			
3	就職活動におけるマナー②				会社説明会参加マナー・質問内容など			
4	就職活動に必要な言葉遣い				敬語の基本を理解して身につける			
5	就職活動に必要な話し方				婉曲的な表現、慣用的な表現を理解			
6	言葉の表現方法		筆記①	10	言葉の言い換えを学び語彙力を伸ばす			
7	メールのマナー		課題①	10	メールのマナー、SNSの注意点など			
8	電話のマナー				ビジネス電話の知識・電話対応の基本			
9	電話対応（就活ケーススタディ）				電話対応実践練習 *冬休み課題配布			
10	就職活動に必要な文書①		課題②	10	添え状、礼状、封筒の書き方（実践練習）			
11	就職活動に必要な文書②		課題③	10	添え状、封筒（授業内課題提出）			
12	ビジネス文書の基本				社内社外文書について			
13	試験WEEK		筆記②	50	持ち込み：なし			
14	会社訪問のマナー				訪問、受付のマナー・名刺の知識			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
【マナー点（10点）について】 ビジネスマナーⅡでは、授業態度・忘れ物等にマナー点を設けています。10点からの減点方式で採点します。 【追試詳細】 筆記① … 授業担当者に追試日を確認すること 課題①、② … 翌週授業にて提出 課題③ … 母数減らし 筆記② … 試験Week内に追試日を設定します					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		・B検ジョブパス ビジネス能力検定3級 公式テキスト （問題集は不要） ・配布プリント	

授業計画書

学部	夜	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	必修	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	HC	
科目名			ビジネスマナーⅢ			講師名	松浦明季	
担当講師の実務経験		○	実務経歴		マーケティング企画会社でプランナーとして7年間勤務後、商社の営業事務職を経てマナー講師を14年間担当。 硬筆書写検定検定2級、日本語検定1級等保有			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
社会人として必須のビジネス実務の知識を学ぶ 1. 仕事への取り組み方 2. ビジネス社会の常識 3. 仕事の技法と知識 4. 将来のライフデザインとマネープラン					授業形態：講義 ビジスマナーⅠ、Ⅱで学んだことを基本に、ビジネスシーンで役立つことや社会人として知っておくべき知識をワーク形式で学習する。			
実施回数	授業スケジュール			授業内テスト		各回の到達目標		特記事項
				内容	点数			
1	授業のオリエンテーション キャリアとは、働くということとは					学生と社会人の違い、働く意識、人生のマネジメント、ワークライフバランス、自己実現		
2	コミュニケーション① 仕事の進め方の基本					効率の良い仕事をするには、基本の意識、目標と計画、日常と非日常		
3	会社組織に関わる知識① モラルと法律					契約に関する法律、コンプライアンス 個人情報		
4	コミュニケーション② 会社組織に関わる知識②					仕事上の人間関係、新入社員ケーススタディ ネットの知識、メールのマナー、秘密の保持		
5	会社組織に関わる知識③ 労務管理、給与体系			筆記試験	10	権利と義務、雇用形態、就業規則 給与の原則		
6	コミュニケーション③ 企画書の作成					文書の種類・企画書のポイント		
7	コミュニケーション④ 会議への参加			課題提出	15	グループワークを通じてコミュニケーションの大切さを知る。会議の知識と参加の仕方		
8	コミュニケーション⑤ プレゼンテーション			実技試験	25	ロジカルシンキング 自らの考えを上手く伝える（グループでのプレゼンテーション）		
9	個人に関わるお金の知識① お金の知る、お金の使う					お金の役割、景気と為替、ニーズとウォンツ 合理的な意思決定		
10	個人に関わるお金の知識② お金を貯める、増やす、借りる					利息、リスクとリターン、金融商品 返済方法、多重債務		
11	個人に関わるお金の知識③ お金のトラブル、万が一に備える					悪徳商法、クーリングオフ、クレジットカード 社会保険とは		
12	個人に関わるお金の知識④ 万が一に備える					社会保険と民間保険の違い 保険のしくみ、保険の種類		
13	試験WEEK			筆記試験	40	持ち込み：テキスト2冊 「仕事の常識」「パーソナルファイナンス」		
14	個人に関わるお金の知識⑤ 将来への備え・授業総括					マナー&ライフプラン 自分の人生設計 授業の振り返り		
15	総まとめおよび各種行事					これまでの総復習および就職セミナー 等各種行事の準備を行う。		
テスト・追試詳細						達成度評価		使用教材
<授業内試験等により評価> ①11月 5日 授業内筆記試験（10点） ・20時45分開始予定 10分間 ②11月19日 課題提出（15点） ・公欠で提出できなかった場合は12/3迄に提出 ③11月26日 実技試験（25点） ・グループ評価なので全員協力すること （グループワーク参加度評価5点を含む） ④試験week 筆記試験（40点） ⑤第2週以降 マナー点（10点）減点方式 ・授業態度、忘れ物等にマナー点を設定 *追試詳細は欄外参照						A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		①「仕事の常識」 ②「パーソナル ファイナンス」 ③ 配布プリント等

授業計画書

学部	夜	科 コース	全学科共通	年次	1	クラス	共通②/⑥		
時間数			1	単位数	1	区分	必修	共通科目	
科目名			業界就職試験対策Ⅱ			講師名	南 智子		
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
業界就職試験に必要な数学、国語の知識及び能力を得る。 1. 数学の基礎計算能力の習得 2. 数学の文章問題が解ける 3. 国語の基礎知識の習得					授業形態：講義 問題の解説及び演習				
実施日 回数	授業スケジュール			授業内テスト		各回の到達目標		特記 事項	
			内容	点数					
1	10/3	数学①	場合の数1			単元内容の理解・演習			
2	10/10	数学②	場合の数2	課・筆	35	単元内容の理解・演習			
3	10/17	数学③	確率1	課・筆	35	単元内容の理解・演習			
4	10/24	数学④	確率2	課・筆	35	単元内容の理解・演習			
5	11/7	数学⑤	濃度算1	課・筆	35	単元内容の理解・演習			
6	11/14	数学⑥	濃度算2	課・筆	35	単元内容の理解・演習			
7	11/21	数学⑦	推論	課・筆	35	単元内容の理解・演習			
8	11/28	数学⑧	表の読み取り	課・筆	35	単元内容の理解・演習			
9	12/5	数学⑨	代金の精算・分割払い			単元内容の理解・演習			
10	1/16	数学⑩	速さ復習	課・筆	35	単元内容の理解・演習			
11	1/23	数学⑪	総合演習1			単元内容の理解・演習			
12		試験WEEK				120	持ち込み：不可		
13	2/6	数学⑫	総合演習2			単元内容の理解・演習			
14	2/13	まとめと総復習					単元内容の理解・演習		
テスト・追試詳細					度評価		使用教材		
①10/10～11/28, 1/16 筆記試験・課題提出の内容 ・課題提出13点 ・筆記試験22点(数学14点・国語8点) ・計35点×8回=280点 ②試験WEEK 数学120点 ①+②の合計400点満点にて評価					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		就職筆記対策テキスト サブテキスト 計2冊		

☆追試の流れ☆

- ①追試受験資格者については、学生便覧を確認してください。
- ②欠席に伴う書類(欠席・公欠届/延着証明書/貴社訪問証明書)を学生カウンターに提出する。
 ※提出期日: 欠席最終日翌日より3日以内(土日祝除く)
 ※筆記試験・実技試験・課題提出・母数減らし・チーム点評価、全てにおいて上記の書類提出が必要。
- ③提出した書類の承認後、撮影をし担当講師に提示し、追試日を確認する。
- ④追試を受験する。

※試験WEEK内の追試(筆記・課題)については、試験WEEK期間内に実施をする。(詳細は後日案内)

授業計画書

学部	夜	科 コース	全学科共通	年次	1	区分	必修	共通科目
総時間数			15	単位数	1	クラス	共通③/④	
科目名			業界就職試験対策Ⅱ			講師名	松山 美里	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	教育業界で、主に中学生・高校生・専門学校・短大生・大学生を対象に約15年指導しています。数学・筆記試験対策の授業を中心に担当しています。				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
業界就職試験に必要な数学、国語の知識及び能力を得る。 1. 数学の基礎計算能力の習得 2. 数学の文章問題が解ける 3. 国語の基礎知識の習得				授業形態：講義 問題の解説及び演習				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標			特記事項
			内容	点数				
1	速度算の基礎①				単元内容の理解・演習			
2	速度算の基礎②		課・筆	35	単元内容の理解・演習			
3	時刻表		課・筆	35	単元内容の理解・演習			
4	旅人算		課・筆	35	単元内容の理解・演習			
5	場合の数		課・筆	35	単元内容の理解・演習			
6	確率				単元内容の理解・演習			
7	割合の基礎（復習）		課・筆	35	単元内容の理解・演習			
8	損益算		課・筆	35	単元内容の理解・演習			
9	金銭		課・筆	35	単元内容の理解・演習			
10	総合演習①				単元内容の理解・演習			
11	総合演習②		課・筆	35	単元内容の理解・演習			
12	試験WEEK			120	持ち込み：不可			
13	総復習①				単元内容の理解・演習			
14	総復習②				単元内容の理解・演習			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A	80点以上		就職筆記対策テキスト サブテキスト 計2冊
					B	70点以上		
					C	60点以上		
					D	59点以下		

授業計画書

学部	夜	科 コース	全学科共通	年次	1	区分	必修	共通科目
総時間数			15	単位数	1	クラス	共通①/⑤	
科目名			業界就職試験対策Ⅱ			講師名	濱田 剛	
担当講師の実務経験		○	実務経験		学習塾・高等学校などで数学を通算23年、大学・専門学校などで数学を通算9年指導。現在トラベルジャーナル学園東京校でも指導。その経験に基づき、本校にて数学の実践内容を指導している。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
業界就職試験に必要な数学、国語の知識及び能力を得る。 1. 数学の基礎計算能力の習得 2. 数学の文章問題が解ける 3. 国語の基礎知識の習得					授業形態：講義 問題の解説及び演習			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	数学① 場合の数				単元内容の理解・演習			
2	数学② 場合の数				単元内容の理解・演習			
3	数学③ 確率		課・筆	35	単元内容の理解・演習			
4	数学④ 確率				単元内容の理解・演習			
5	数学⑤ 濃度算		課・筆	35	単元内容の理解・演習			
6	数学⑥ 推論 濃度 人口密度		課・筆	35	単元内容の理解・演習			
7	数学⑦ 推論 順序 正誤		課・筆	35	単元内容の理解・演習			
8	数学⑧ 推論 内訳 対戦		課・筆	35	単元内容の理解・演習			
9	数学⑨ 図表の読み取り		課・筆	35	単元内容の理解・演習			
10	数学⑩ 仕事算 水槽算		課・筆	35	単元内容の理解・演習			
11	数学⑪ 総合演習		課・筆	35	総復習と演習			
12	試験WEEK			120	持ち込み：不可			
13	数学⑫ 総合演習				総復習と演習			
14	数学⑬ 総合演習				総復習と演習			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		就職筆記対策テキスト サブテキスト 計2冊	

授業計画書

学部	夜	科 コース	全学科共通	年次	1	区分	必修	共通科目
総時間数			15	単位数	1	クラス	共通⑧	
科目名			留學英文法Ⅱ			講師名	坂本 淳平	
担当講師の実務経験		○	実務 経歴	教育業界で、主に中学生・高校生・専門学校生・大学生を対象に約10年指導しています。英語の授業を中心に担当しています。				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
<ul style="list-style-type: none"> ・英語表現のなかで重要となる動詞の形、特に時制に関わる内容、受動態の使い方をマスターすること。 ・第4文型、第5文型の習得。 				授業形態：講義				
				<p>基本的にはテキストを使用、一部練習用プリントを配布。毎回予習・復習を課題として指示。 小テスト、復習に重きをおき、練習する場を多く提供しながら講義を展開していく。 また、小テストの結果が6割以下（2.4点）以下の場合、追加課題を実施します。</p>				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標			特記事項
	内容	点数						
1	現在完了形：経験、継続 / for since ago	筆・課 2	完了形の概念の習得					
2	現在完了形と単純過去1、2、3	筆・課 4	完了形の概念の習得					
3	過去完了形1	筆・課 4	過去完了形の概念の習得					
4	過去完了形2	筆・課 4	大過去、過去完了進行形など					
5	関係代名詞1	筆・課 4	関係代名詞の基礎知識の習得					
6	前半復習	筆・課 4	前半内容の総まとめ					
7	関係代名詞2	筆・課 4	非制限用法や特殊な形の理解					
8	関係副詞	筆・課 4	関係副詞、複合関係詞の習得					
9	不定詞1	筆・課 4	不定詞の基本的な知識の習得					
10	不定詞2	筆・課 4	構文化した不定詞の習得					
11	不定詞3	筆・課 4	知的動詞、使役動詞、その他					
12	試験WEEK	50	持ち込み：不可					
13	総まとめ1		総まとめ					
14	総まとめ2	筆・課 4	総まとめ					
15	総まとめおよび各種行事		これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。					
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上	マーフィーの ケンブリッジ英文法 初級編		
					B 70点以上			
					C 60点以上			
					D 59点以下			

授業計画書

学部	夜	科 コース	全学科共通	年次	1	区分	必修	共通科目
総時間数			15	単位数	1	クラス	共通⑦	
科目名			留学英文法Ⅱ			講師名	坂本 淳平	
担当講師の実務経験		○	実務 経歴	教育業界で、主に中学生・高校生・専門学校生・大学生を対象に約10年指導しています。英語の授業を中心に担当しています。				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
<ul style="list-style-type: none"> ・英語表現のなかで重要となる動詞の形、特に時制に関わる内容、受動態の使い方をマスターすること。 ・第4文型、第5文型の習得。 				授業形態：講義 基本的にはテキストを使用、一部練習用プリントを配布。毎回予習・復習を課題として指示。小テスト、復習に重きをおき、練習する場を多く提供しながら講義を展開していく。また、小テストの結果が6割以下（2.4点）以下の場合、追加課題を実施します。				
				実施回数	授業スケジュール	授業内テスト 内容	点数	各回の到達目標
1	Be動詞／現在進行形	筆・課	2	Be動詞の役割を理解				
2	単純現在形	筆・課	4	現在進行形との比較、文型の理解				
3	単純過去形	筆・課	4	不規則動詞の理解				
4	現在完了形：経験、継続／for since ago	筆・課	4	完了形の概念の習得				
5	現在完了形と単純過去1、2、3	筆・課	4	完了形の概念の習得				
6	前半復習	筆・課	4	前半内容の総まとめ				
7	過去進行形／used to	筆・課	4	過去進行形の理解				
8	未来形	筆・課	4	未来の形の習得				
9	might canとcould must	筆・課	4	助動詞の使い方の理解				
10	受け身	筆・課	4	受動態の概念の理解				
11	受け身	筆・課	4	受動態の形の習得、演習				
12	試験WEEK		50	持ち込み：不可				
13	総まとめ1			総まとめ				
14	総まとめ2	筆・課	4	総まとめ				
15	総まとめおよび各種行事			これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。				
テスト・追試詳細				達成度評価		使用教材		
				A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		マーフィーの ケンブリッジ英文法 初級編		

授業計画書

学部	風	科 コース	全学科共通	年次	1	区分	選択	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス		
科目名			ペン字検定対策			講師名	松浦 明季	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	マーケティング企画会社でプランナーとして7年間勤務後、商社の営業事務職を経てマナー講師を14年間担当。 硬筆書写検定検定2級、日本語検定1級等保有				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
<p>社会に出て手書きの書類を提出する機会が多い。字を正しく読みやすく書くということは、社会人の基礎力である。この授業では文部科学省後援の「硬筆書写検定」3級合格を目標とし、ペン字の上達を目指していく。</p>				<p>授業形態：講義</p> <p>文字の成り立ちを理論から学び、美しい字に対する認識を深める。授業では環境を整え、集中して字を書く自律練習を重視。授業内で課題を提出し、添削や模範例との比較から字形を改善、検定合格を目指す。</p>				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	授業計画ガイダンス ペン字の基礎				授業の進め方、用具、検定の案内 字を書く意識の整え方			
2	検定対策①				漢字の部分名称（第7問） 速書の注意点（第1問）			
3	検定対策②				正しい筆順の必要性（第8問） ひらがなの復習			
4	検定対策③				カタカナ・英数字の練習 横書きのルールと注意点			
5	実践練習 < 社交文書 >		筆記試験	10	手紙、はがき等の練習			
6	検定対策④				草書に親しむ（第9問） 楷書と行書の練習（第2問）			
7	検定対策⑤				簡易な行書の練習 縦書きの気脈を身につける（第3問）			
8	検定対策⑥				字体訂正（第10問） はがきの宛名面（第5問）			
9	検定対策⑦				掲示文の練習（第6問）	マジック 定規要		
10	模擬試験実施				検定問題に取り組む 苦手な問題を知る	マジック 定規要		
11	検定直前対策		筆記試験	10	弱点をフィードバック ここまでの復習	マジック 定規要		
12	実践練習 < 商業文書 >		課題	40	送り状（都道府県、住所練習） 領収書、見積書の練習			
13	試験WEEK		筆記試験	40	持ち込み：なし ボールペンとシャープペンシル使用			
14	応用編 < 筆ペンの練習 >				筆ペンに親しむ 慶弔の表書き			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー 等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
<p>< 授業内試験と課題により評価 ></p> <p>①5回目：授業内筆記試験（10点）5分</p> <p>②11回目：授業内筆記試験（10点）5分</p> <p>③12回目：課題提出期限（40点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各授業で丁寧に仕上げた清書を提出すること 欠席、時間が足りない場合はこの期限までに提出 （提出期限日に公欠の場合は追試申請すること） <p>④試験WEEK 筆記試験（40点）30分</p> <p>* 追試詳細は欄外参照</p>					<p style="text-align: center;">A 83点以上</p> <p style="text-align: center;">B 69点以上</p> <p style="text-align: center;">C 55点以上</p> <p style="text-align: center;">D 54点以下</p>		<p>「3級合格のポイント」 「漢字の上手な書き方」 「配布プリント」</p> <p>*各自必ず準備するもの</p> <p>①単色黒色ボールペン （練習にふさわしい物）</p> <p>②油性マジック （ペン先が丸いもの）</p> <p>③30cm定規</p>	

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	1	区分	選択	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス		
科目名			秘書検定2級対策			講師名	山田 明美	
担当講師の実務経歴		○	実務経歴		職業訓練校で4年間、ビジネスマナー講師を担当。 職業訓練校で3年間、コミュニケーション講師を担当。 大学で4年間、秘書検定2級およびサービス接客検定講師を担当。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
秘書に必要な専門知識及び技能について実践的に学習する。2月8日(土)の秘書検定2級試験合格に向けてより多くの演習問題になれる。 理論領域 ①秘書として必要とされる資質 ②職務知識 ①～③ 60%以上合格 ③一般知識 実技領域 ①マナー接遇 ④～⑤ 60%以上合格 ②技能					授業形態：講義 秘書検定2級クイックマスターを中心に項目ごとに学び、過去問題など実際の問題を多く解答し、試験に備える。記述問題など、課題として提出する。			
実施回数	授業スケジュール			授業内テスト	各回の到達目標			特記事項
				内容	点数			
1	オリエンテーション 1章 必要とされる資質					第1章 セクション1, 2		
2	2章 職務知識 役割と機能		職務	筆記①	10	第2章 セクション1, 2		
3	3章 一般知識 企業と経営		企業の活動			第3章 セクション1, 2		
4	4章 社会知識 マナー接遇		関係と話し方			第3章 セクション3 第4章 セクション1		
5	話し方・聞き方の応用 電話対応と接遇			課題①	15	第4章 セクション2, 3		
6	交際 (記述対策)			筆記②	10	第4章 セクション4		
7	5章 技能 会議と秘書 ビジネス文書の作成(1)					第5章 セクション1, 2 (一部)		
8	ビジネス文書の作成(2) 文書の取り扱い					第5章 セクション2, 3		
9	文書資料管理 (記述対策)			課題②	15	第5章 セクション4		
10	日程管理とオフィス管理 (やり残し問題)			筆記③	10	第5章 セクション5		
11	ひたすら記述対策 (弱点補強)					テキスト外練習問題など		
12	模擬問題 (対応のまとめなど)					模擬問題 解説		
13	試験WEEK			筆記④	40	持ち込み：		
14	秘書検定のまとめ							
15	総まとめおよび各種行事					これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。		
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
< 授業内筆記試験 課題 > ① 筆記試験 第2回 (10点) ② 筆記試験 第6回 (10点) ③ 筆記試験 第10回 (10点) * 公欠の場合は 母数減らし とする ① 課題提出 第5回 (15点) ② 課題提出 第9回 (15点) * 公欠の場合は 母数減らし とする ★ 試験week内 試験 (40点) * 公欠の場合は 後日詳細確認					A 72点以上 B 60点以上 C 48点以上 D 47点以下		① 秘書検定2級クイックマスター ② 秘書検定2級実問題集2019 ③ 講師レジュメ (PP シート) ④ 各種問題資料など	

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	1	区分	選択	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	J	
科目名			総合管理者対策			講師名	高田 雅美	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	旅行業登録第1種・IATA認可店舗にて5年間勤務 カウンター接客/航空券発券/査証代行取得等を担当 総合旅行業務取扱管理者 1993年取得				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
2020年10月に実施される『総合旅行業務取扱管理者』資格に合格できる知識を習得する。 国際航空運賃、海外旅行実務の2分野を学習します ※国内管理者資格未取得者は「業法」「国内実務」科目の自己学習が必要です				授業形態：講義 復習→練習問題→解説を聞き、確実に総合管理者資格合格の実力をつける。				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標			特記事項
			内容	点数				
1	ガイダンス/総合管理者試験概要				総合管理者試験の説明、取得計画を立てる テキスト第1部 用語の理解・フライト			
2	国際航空運賃				テキスト第2部 運賃計算の基本			
3	国際航空運賃				テキスト第3部 運賃計算の手順①マイレージ計算			
4	国際航空運賃				テキスト第3部 運賃計算の手順②2つの特例			
5	国際航空運賃				テキスト第3部 運賃計算の手順③HIPチェック			
6	国際航空運賃		筆記	10	テキスト第4部 ①普通運賃の計算			
7	国際航空運賃		筆記	10	テキスト第4部 ②キャリア運賃の計算			
8	国際航空運賃		筆記	10	運賃計算 錬成問題			
9	旅行実務				テキスト第1部 OAG時差			
10	旅行実務		筆記	10	テキスト第1部 所要時間			
11	旅行実務		筆記	10	テキスト第1部 MCT			
12	旅行実務		筆記	10	テキスト第1部 シェンゲン、2&3レター、クルーズ等			
13	試験WEEK				持ち込み：なし			
14	まとめ、試験解説				重要ポイントの再確認			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 72点以上 B 60点以上 C 48点以上 D 47点以下		・出入国法令 ・海外旅行実務 授業でプリントを配布します。 再配布なし。紛失の場合は各自コピーして授業に参加して下さい。	

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	1	区分	選択	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス		
科目名			TOEIC(初級)			講師名	細井利枝子	
担当講師の実務経験		○	実務 経歴	英語非常勤講師歴 27年 航空会社(地上職) 11年間勤務				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
TOEICの各パートの特徴を掴み、その対処法を身に付ける。また、初級の英文法を学習する。				授業形態：講義				
				テキストの各ユニット終了後に必ず単語テストを行い、その合計で評価する。また、最終日にはTOEICの模擬試験を行いスコアを予想する。				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標			特記事項
			内容	点数				
1	unit1				人物の動作と渋滞			
2	uni2		筆記	15	5W1Hの疑問文			
3	unit3				日常会話			
4	unit4		筆記	15	アナウンス及びツアーでの英語			
5	unit5				前置詞の学習			
6	unit6		筆記	15	PART2の攻略法学習			
7	unit7				電話での英会話			
8	unit8		筆記	15	PART4の攻略法学習			
9	unit9				PART2の攻略法学習			
10	unit10		筆記	15	PART5の英文法確認			
11	uinit11				複数文書の速読法			
12	後期授業の総復習		&リス二	25	語彙、文法の不十分な箇所を確認する			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	TOEICスコア計測				実践力を高める			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
最終テスト以外は、全て母数減らして評価する。最終テストを欠席した場合は、所定の手続きを行い、追試を受験する。					A 80点以上		MASTERY DRILLS for the TOEIC L&R Test Target500	
					B 70点以上			
C 60点以上								
D 59点以下								

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	1	区分	選択	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス		
科目名			TOEIC共通選択中級			講師名	細井利枝子	
担当講師の実務経験		○	実務 経歴	英語非常勤講師歴 27年 航空会社（地上職）11年間勤務				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
TOEICの特徴を認識する。また、スコアを上げるためのコツを習得する。				授業形態：講義				
				テキストを中心に各パートの攻略法を学ぶ。リスニング、リーディング共にバランスよくスコアを上げるためにも単語テストはユニット終了後に必ず行い評価の基準とする。				
実施 回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標			特記 事項
			内容	点数				
1	unit1				人物動作表現、品詞の確認			
2	unit2		筆記	15	5W1Hの疑問文、分詞の習得			
3	unit3				店舗での会話、読解の基礎固め			
4	unit4		筆記	15	留守電、詳細情報の読解			
5	unit5				写真問題対応、長文読解のコツ習得			
6	unit6		筆記	15	三択問題のコツ習得、短文の速読法習得			
7	unit7				PART3の対応、長文読解の速読法			
8	unit8		筆記	15	PART4の先読みのコツ、語彙増強			
9	unit9				PART2の対応策、長文穴埋め対応			
10	unit10		筆記	15	PART3の対応、複数文書の速読法			
11	unit11				PART4の対応、PART5の得点増強策			
12	後期授業の総復習		、リス二	25	理解不十分な箇所を確認する			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	TOEIC模擬テスト				スコアを計測する。			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
15点満点のテストは全て母数減らしと評価する。最終テストを欠席した場合は、所定の手続きを行い追試を受験する。					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		MASTERY DRILLS for the TOEIC L&R Test ADVANCED	

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	1	区分	選択	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス		
科目名			接客中国語			講師名	細井 美和	
担当講師の 実務経験		○	実務 経歴	商社（2年8ヶ月）及び中国国営企業（1年8ヶ月）にて貿易事務に従事。半導体商社（1年8ヶ月）にて総務経理を担当。その他イベント通訳、旅行者アテンド、官公庁誌日中翻訳、中国語講師など。				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
①中国語の発音を正しく覚える。 ②基本的な文法を身につけ、単語を入れ替えるだけでたくさんの場面での会話ができるようにする。 ③中国人のお客様と自信を持って会話ができるようにする。				授業形態：講義 ①新しい内容を覚えるために繰り返して練習する。 ②前回の学習内容を復習する。 ③会話の場面を設定して会話練習する。				
実施 回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標			特記 事項
			内容	点数				
1	発音 基本的な挨拶				発音方法、基本的な挨拶を覚える。			
2	第一課 自己紹介／飲食				簡単な自己紹介ができる。			
3	第二課 私は日本人です。／飲食				家族・友人を紹介できる			
4	第三課 私の兄も医者です／飲食		筆記	10点	「～も」の言い方を学ぶ			
5	第四課 これはパソコンです(1)／飲食				「これ、あれ…」指示代名詞の使い方			
6	第四課 これはパソコンです(2)／飲食		筆記	10点	兄弟、家族構成を紹介できる			
7	第五課 今何時ですか。／飲食				自分のスケジュールを紹介できる			
8	第六課 今日は何曜日ですか。／飲食		筆記	10点	他人にスケジュールの確認ができる			
9	第七課 この服はいくらですか。／飲食				買い物ができるようにする			
10	第八課 このパソコンは高いですか。／飲食		筆記	10点	簡単な言葉で自分の感想が述べられる			
11	第九課 トイレはどこにありますか。／飲食				道案内が出来る			
12	復習 / 飲食		実技	10点	テストに向けてしっかりと復習する			
13	試験WEEK			50点	持ち込み：不可			
14	試験WEEK問題見直し&復習				試験WEEK内の問題を見直し復習する			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
10月29日 筆記 10点 11月12日 筆記 10点 11月26日 筆記 10点 12月10日 筆記 10点 01月28日 実技 10点 試験WEEK 筆記 50点 以上100点満点にて評価する ※追試につきまして、実技、筆記ともに実施日の翌週の授業日に教室内にて担当講師より実施する 試験WEEKの場合、下記の※をご参照下さい					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		「みんなの中国語 応用編」 「インバウンド接客中国語講座」	

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	1	区分	選択	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス		
科目名			パソコン検定対策(Word & Excel)			講師名	加藤 多津子	
担当講師の 実務経験		○	実務 経歴	派遣業での派遣登録者へのPC教育 7年 企業、行政でのパソコンインストラクター 3年 大学、職業訓練でのキャリアコンサルタント 4年				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
【Word】 日本語ワープロ検定（3級～2級）、文書デザイン 検定（3級～2級）が取得できる操作を学習します。 （書式設定・表作成・図形の挿入） 【Excel】 Excelの特長を理解しながら、表計算の基本操作、 機能を身につけます。				授業形態：講義 ・達成目標を目指して、Word・Excelの 両方を学習します。 ・検定申込み後は、授業の前半にExcelの学習をし、 後半に検定問題集を使用して検定学習をします。				
実施 回数	授業スケジュール		授業内テスト 内容 点数		各回の到達目標			特記 事項
1	クラス分けのための現状確認【W】 ビジネス文書作成のルール				日本語ワープロ検定のルールを習得する			
2	ガイダンス【W】 書式設定				授業の進め方や検定についての確認をする ビジネス文書の作成方法（書式設定）を習得する			
3	【W】 表作成【W】 授業内テスト		【W】 実	15	表作成方法を習得する			
4	【W】 図形操作【W】 文書デザイン検定対策				図形の挿入・編集方法を習得する 文書デザイン検定のルールを習得する			
5	検定相談【W】 授業内テスト		【W】 課	15	受験する検定の種類と級を決定する			
6	【E】 基本1・検定対策		課	1	Excelの基本操作を習得する 受験する検定の練習をする			
7	【E】 基本2・検定対策		課	1	Excelの基本操作を習得する 受験する検定の練習をする			
8	【E】 基本3・検定対策		課	1	Excelの基本操作を習得する 受験する検定の練習をする			
9	検定対策		課	2	受験する検定の練習をする			
10	【E】 応用1【E】 授業内テスト		【E】 実	15	Excelの応用機能を習得する			
11	【E】 応用2検定確認				Excelの応用機能を習得する 2月検定受験の確認をする			
12	【E】 総復習【E】 授業内テスト		【E】 実	35	Excelの総復習をする			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	【W】 授業内テスト		【W】 課	15	就職活動等で利用できる履歴書を作成する			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職 セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
《実技による評価》 ・10/15【Word】 15点 ⇒追試日11/5（火） ・12/10【Excel】 15点 ⇒追試日1/28（火） ・1/28【Excel】 35点 ⇒追試日2/18（火） ※いずれも追試場所は16EN教室 15：45～ 《課題作成による評価》 ・11/5（15点） ・11/12、11/19、11/26（各1点ずつ） ・12/3（2点） ・2/18（15点） ※いずれも追試はなく、母数減らし					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		・オリジナルプリント <設置教材> ・トレーニングテキスト 「よくわかる Word2007& Excel2007」 「Microsoft Office Excel応用」	

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	1	区分	選択	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス		
科目名			パソコン検定対策(Word & Excel)			講師名	加藤 多津子	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	派遣業での派遣登録者へのPC教育 7年 企業、行政でのパソコンインストラクター 3年 大学、職業訓練でのキャリアコンサルタント 4年				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
【Word】 日本語ワープロ検定（3級～2級）、文書デザイン検定（3級～2級）が取得できる操作を学習します。 （書式設定・表作成・図形の挿入） 【Excel】 Excelの特長を理解しながら、表計算の基本操作、機能を身につけます。				授業形態：講義 ・達成目標を目指して、Word・Excelの両方を学習します。 ・検定申込み後は、授業の前半にExcelの学習をし、後半に検定問題集を使用して検定学習をします。				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト 内容	点数	各回の到達目標			特記事項
1	クラス分けのための現状確認【W】ビジネス文書作成のルール				日本語ワープロ検定のルールを習得する			
2	ガイダンス【W】書式設定				授業の進め方や検定についての確認をする ビジネス文書の作成方法（書式設定）を習得する			
3	【W】表作成【W】授業内テスト		【W】実	15	表作成方法を習得する			
4	【W】図形操作【W】文書デザイン検定対策				図形の挿入・編集方法を習得する 文書デザイン検定のルールを習得する			
5	検定相談【W】授業内テスト		【W】課	15	受験する検定の種類と級を決定する			
6	【E】基本1・検定対策		課	1	Excelの基本操作を習得する 受験する検定の練習をする			
7	【E】基本2・検定対策		課	1	Excelの基本操作を習得する 受験する検定の練習をする			
8	【E】基本3・検定対策		課	1	Excelの基本操作を習得する 受験する検定の練習をする			
9	検定対策		課	2	受験する検定の練習をする			
10	【E】応用1【E】授業内テスト		【E】実	15	Excelの応用機能を習得する			
11	【E】応用2検定確認				Excelの応用機能を習得する 2月検定受験の確認をする			
12	【E】総復習【E】授業内テスト		【E】実	35	Excelの総復習をする			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	【W】授業内テスト		【W】課	15	就職活動等で利用できる履歴書を作成する			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
《実技による評価》 ・10/15【Word】15点 ⇒追試日11/5（火） ・12/10【Excel】15点 ⇒追試日1/28（火） ・1/28【Excel】35点 ⇒追試日2/18（火） ※いずれも追試場所は16EN教室 15：45～ 《課題作成による評価》 ・11/5（15点） ・11/12、11/19、11/26（各1点ずつ） ・12/3（2点） ・2/18（15点） ※いずれも追試はなく、母数減らし					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		・オリジナルプリント <設置教材> ・トレーニングテキスト 「よくわかるWord2007&Excel2007」 「Microsoft Office Excel応用」	

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	1	区分	選択	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス		
科目名			パソコン検定対策(PowerPoint)			講師名	佐久本 優子	
担当講師の実務経験			○	実務経歴	職業訓練・就職支援事業でのOAインストラクター 営業事務／企業でのマニュアル作成及びシステム構築			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション検定（3級及び2級）が取得できる操作を学習し、検定合格を目指します。 ・検定内容以外でも、プレゼンに効果的なPowerPointの応用機能を学習し、活用できるようになります。 					授業形態：講義 <ul style="list-style-type: none"> ・達成目標を目指して、PowerPointの基本操作と検定特有の解答方法を習得します。 ・検定申し込み後は、授業の前半に「検定学習」をし、後半にはプレゼンに効果的な応用機能を活用した「課題作成」を行います。 			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	ガイダンス／現状確認				授業の進め方・検定の案内			
2	PowerPointの基礎Ⅰ				スライド番号・背景・文字や記号の挿入 図形描画・画像の挿入・スライド挿入			
3	PowerPointの基礎Ⅱ/表3級				アニメーションの挿入 表の挿入・箇条書き記号			
4	検定3級にチャレンジ/グラフ・表2級				検定3級レベルにチャレンジ 画面切替・アニメ応用・表の加工・グラフ			
5	検定2級にチャレンジ/授業内試験①		実	20	検定2級レベルにチャレンジ 検定3級レベルのテスト			
6	検定対策／課題案内及び作成				スライド開始番号・オンライン画像の挿入 課題の案内及び作成開始			
7	検定対策／課題作成				検定問題にチャレンジ 課題の作成			
8	検定対策／課題作成				検定問題にチャレンジ 課題の作成			
9	検定対策／課題作成				検定問題にチャレンジ 課題の作成			
10	課題作成及び提出		課	35	課題の作成及び提出			
11	プレゼンに役立つ機能				スライドマスタ・配布資料の印刷 アニメーションのタイミング設定			
12	復習／授業内試験②		実	30	検定2級レベルのテスト			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	課題作成及び提出		課	15	課題の作成及び提出			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職 セミナー等各種行事の準備を行う			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
11 / 5実施分・実技テスト → 11 / 19 (火) 12 / 10実施分・課題作成 → 1 / 21 (火) 授業内に提出 1 / 28実施分・実技テスト → 2 / 18 (火) 2 / 18実施分・課題作成 → 母数減らし 追試場所・・・16EN 時間15:45～					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		プレゼンテーション作成 模擬問題集 よくわかる PowerPoint 2010	

授業計画書

学部	風	科 コース	全学科共通	年次	1	区分	選択	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス		
科目名			ハングル能力検定対策 初級			講師名	河憲民	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	韓国語教室・ハングル学校・民団などで5年間、日本人と在日韓国人を対象に韓国語講師として勤務。				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
ハングル検定試験に向け、基礎レベルの韓国語ができることを目標とする。 主にハングルの仕組みからはじめ、簡単な文法の読み書きができるようにする。				授業形態：講義 授業の半分はハングルの仕組みや指示表現を中心に読み書きを練習する。その後は検定試験の出題範囲に含まれる基礎的な内容の習得に進み、韓国語への興味を保ちながら短い表現が使えるように尽くす。				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	オリエンテーション・ハングル 1				授業の流れ、ハングルの仕組みを知る。			
2	ハングル 2				韓国語の文字であるハングルの読み書きができる。			
3	ハングル 3		筆	10	韓国語の文字であるハングルの読み書きができる。			
4	ハングル 4				韓国語の文字であるハングルの読み書きができる。			
5	ハングル 5				韓国語の文字であるハングルの読み書きができる。			
6	ハングル 6		筆	10	韓国語の文字であるハングルの読み書きができる。			
7	ハングル 7				韓国語の文字であるハングルの読み書きができる。			
8	ハングル 8				韓国語の文字であるハングルの読み書きができる。			
9	挨拶表現・助詞		筆	15	ハングル検定5級レベルの挨拶表現と助詞、簡単な文法を習得する。			
10	指示語・疑問詞				ハングル検定5級レベルの指示語と疑問詞、簡単な文法を習得する。			
11	副詞		筆	15	ハングル検定5級レベルの副詞、簡単な文法を習得する。			
12	数詞・単位				ハングル検定5級レベルの数詞と単位、簡単な文法を習得する。			
13	試験WEEK		筆	50	持ち込み：なし			
14	総復習				今までの学習内容が全て理解・活用できる。			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価	使用教材		
10/15 筆記 配点10 11/12 筆記 配点10 12/ 3 筆記 配点15 1/21 筆記 配点15 追試に関しては、次回授業内で担当講師が実施 試験WEEK 筆記 配点50 試験WEEKの追試は、試験WEEK期間内に学校側で実施					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下	ハングル能力検定 試験実戦問題集5 韓日出版社		

授業計画書

学部	夜	科 コース	全学科共通	年次	1	区分	選択	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス		
科目名			ペン字検定対策			講師名	松浦 明季	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	マーケティング企画会社でプランナーとして7年間勤務後、商社の営業事務職を経てマナー講師を14年間担当。 硬筆書写検定検定2級、日本語検定1級等保有				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
<p>社会に出て手書きの書類を提出する機会が多い。字を正しく読みやすく書くということは、社会人の基礎力である。この授業では文部科学省後援の「硬筆書写検定」3級合格を目標とし、ペン字の上達を目指していく。</p>				<p>授業形態：講義</p> <p>文字の成り立ちを理論から学び、美しい字に対する認識を深める。授業では環境を整え、集中して字を書く自律練習を重視。授業内で課題を提出し、添削や模範例との比較から字形を改善、検定合格を目指す。</p>				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	授業計画ガイダンス ペン字の基礎				授業の進め方、用具、検定の案内 字を書く意識の整え方			
2	検定対策①				漢字の部分名称（第7問） 速書の注意点（第1問）			
3	検定対策②				正しい筆順の必要性（第8問） ひらがなの復習			
4	検定対策③				カタカナ・英数字の練習 横書きのルールと注意点			
5	実践練習 < 社交文書 >		筆記試験	10	手紙、はがき等の練習			
6	検定対策④				草書に親しむ（第9問） 楷書と行書の練習（第2問）			
7	検定対策⑤				簡易な行書の練習 縦書きの気脈を身につける（第3問）			
8	検定対策⑥				字体訂正（第10問） はがきの宛名面（第5問）			
9	検定対策⑦				掲示文の練習（第6問）	マジック 定規要		
10	模擬試験実施				検定問題に取り組む 苦手な問題を知る	マジック 定規要		
11	検定直前対策		筆記試験	10	弱点をフィードバック ここまでの復習	マジック 定規要		
12	実践練習 < 商業文書 >		課題	40	送り状（都道府県、住所練習） 領収書、見積書の練習			
13	試験WEEK		筆記試験	40	持ち込み：なし ボールペンとシャープペンシル使用			
14	応用編 < 筆ペンの練習 >				筆ペンに親しむ 慶弔の表書き			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー 等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
<p>< 授業内試験と課題により評価 ></p> <p>①5回目：授業内筆記試験（10点）5分</p> <p>②11回目：授業内筆記試験（10点）5分</p> <p>③12回目：課題提出期限（40点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各授業で丁寧に仕上げた清書を提出すること 欠席、時間が足りない場合はこの期限までに提出 （提出期限日に公欠の場合は追試申請すること） <p>④試験WEEK 筆記試験（40点）30分</p> <p>* 追試詳細は欄外参照</p>					<p style="text-align: center;">A 83点以上</p> <p style="text-align: center;">B 69点以上</p> <p style="text-align: center;">C 55点以上</p> <p style="text-align: center;">D 54点以下</p>		<p>「3級合格のポイント」 「漢字の上手な書き方」 「配布プリント」</p> <p>*各自必ず準備するもの</p> <p>①単色黒色ボールペン （練習にふさわしい物）</p> <p>②油性マジック （ペン先が丸いもの）</p> <p>③30cm定規</p>	

授業計画書

学部	夜	科 コース	全学科共通	年次	1	区分	選択	共通科目
総時間数		30		単位数	2	クラス		
科目名			秘書検定2級対策			講師名	山田 明美	
担当講師の実務経歴		○	実務経歴		職業訓練校で4年間、ビジネスマナー講師を担当。 職業訓練校で3年間、コミュニケーション講師を担当。 大学で4年間、秘書検定2級およびサービス接客検定講師を担当。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
秘書に必要な専門知識及び技能について実践的に学習する。2月8日(土)の秘書検定2級試験合格に向けてより多くの演習問題になれる。 理論領域 ①秘書として必要とされる資質 ②職務知識 ①～③ 60%以上合格 ③一般知識 実技領域 ①マナー接遇 ④～⑤ 60%以上合格 ②技能					授業形態：講義 秘書検定2級クイックマスターを中心に項目ごとに学び、過去問題など実際の問題を多く解答し、試験に備える。記述問題など、課題として提出する。			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	オリエンテーション 1章 必要とされる資質				第1章 セクション1, 2			
2	2章 職務知識 役割と機能	職務	筆記①	10	第2章 セクション1, 2			
3	3章 一般知識 企業と経営	企業の活動			第3章 セクション1, 2			
4	4章 社会知識 マナー接遇	関係と話し方			第3章 セクション3 第4章 セクション1			
5	話し方・聞き方の応用 電話対応と接遇		課題①	15	第4章 セクション2, 3			
6	交際 (記述対策)		筆記②	10	第4章 セクション4			
7	5章 技能 会議と秘書 ビジネス文書の作成(1)				第5章 セクション1, 2(一部)			
8	ビジネス文書の作成(2) 文書の取り扱い				第5章 セクション2, 3			
9	文書資料管理 (記述対策)		課題②	15	第5章 セクション4			
10	日程管理とオフィス管理 (やり残し問題)		筆記③	10	第5章 セクション5			
11	ひたすら記述対策 (弱点補強)				テキスト外練習問題など			
12	模擬問題 (対応のまとめなど)				模擬問題 解説			
13	試験WEEK		筆記④	40	持ち込み：			
14	秘書検定のまとめ							
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
< 授業内筆記試験 課題 > ① 筆記試験 第2回 (10点) ② 筆記試験 第6回 (10点) ③ 筆記試験 第10回 (10点) * 公欠の場合は 母数減らし とする ① 課題提出 第5回 (15点) ② 課題提出 第9回 (15点) * 公欠の場合は 母数減らし とする ★ 試験week内 試験 (40点) * 公欠の場合は 後日詳細確認					A 72点以上 B 60点以上 C 48点以上 D 47点以下		① 秘書検定2級 クイックマスター ② 秘書検定2級 実問題集2019 ③ 講師レジュメ (PP シート) ④ 各種問題資料など	

授業計画書

学部	夜	科 コース	1年共通選択	年次	1	区分	選択	共通科目
総時間数		30		単位数	2	クラス		
科目名			日商簿記検定3級			講師名	内宮慶之	
担当講師の実務経歴		○	実務経歴		<ul style="list-style-type: none"> ・会計事務所での税務会計業務を15年間経験 ・大阪国税局記帳講習会講師を3年間担当 ・税理士試験：財務諸表論合格・CFP認定者・1級FP技能士 			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
1. 簿記の基本（思考）をマスターする。 2. 社会人として必要な会計知識を身につける。 3. 日商簿記検定3級に合格する。					授業形態：講義 ・簿記の基本部分をしっかり理解できるよう、時間をかけてゆっくり進めていきたいと考えています。 ・時間の許す限り、授業内で練習問題を解いて理解を深めてもらいたいと思います。			
					実施回数	授業スケジュール	授業内テスト 内容	点数
1	日商簿記検定の概要及び簿記の基礎			簿記の基礎と学習方法の理解				
2	記帳のルール及び簿記一巡の手続き			仕訳を理解し、簿記一巡の手続きをイメージする				
3	商品売買に係る仕訳	筆記①	10	商品売買仕訳を理解する				
4	商品売買係る帳簿組織			各種帳簿を理解する				
5	その他取引仕訳	筆記②	10	その他の日常取引仕訳を理解する				
6	その他取引仕訳と試算表の基礎			試算表の作成方法を理解する				
7	試算表の作成			具体的解答方法の習得				
8	決算整理事項Ⅰ	課題①	15	決算整理の理解				
9	決算整理事項Ⅱ			売上原価の算定及び減価償却の理解				
10	決算整理事項Ⅲ			減価償却仕訳等 ※冬休み課題配布				
11	精算表から決算書の作成			精算表の作成と帳簿の締め切り（英米式）及び決算書の作成				
12	株式の発行等と伝票会計	課題②	15	株式会社会計と伝票会計の理解				
13	試験WEEK	筆記③	50	持ち込み：なし				
14	本試験直前対策			本試験へ向けての最終確認等				
15	総まとめおよび各種行事			これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。				
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
第3回 筆記① 10点 第5回 筆記② 10点 第8回 課題① 15点 第12回 課題② 15点 試験WEEK 筆記③ 50点 追試には必ず追試申込書が必要です。 下記をよく読んで追試日に追試を受けてください。					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		よくわかる簿記シリーズ（TAC出版） ①合格テキスト ②合格トレーニング ※配布プリント等	

授業計画書

学部	夜	科 コース	全学科共通	年次	1	区分	選択	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	JA	
科目名			総合管理者対策			講師名	和田 茜	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	旅行会社で6年間、海外・国内カウンター販売を担当。 総合旅行業務取扱管理者試験：2014年取得				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
2020年10月に実施される『総合旅行業務取扱管理者』資格に合格できる知識を習得する。 出入国法令、海外旅行実務の2分野を学習します ※国内管理者資格未取得者は「業法」「国内実務」科目の自己学習が必要です				授業形態：講義 復習→練習問題→解説を聞き、確実に総合管理者資格合格の実力をつける。				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	ガイダンス/出入国法令①				旅券①	法令		
2	出入国法令②				旅券②	法令		
3	出入国法令③		筆	10	①～②回目授業まとめ	法令		
4	出入国法令④		筆	10	査証手続・外貨手続・EU等	法令		
5	出入国法令⑤		筆	10	出入国①	法令		
6	出入国法令⑥		筆	10	出入国②	法令		
7	出入国法令⑦		筆	10	④～⑥回目授業まとめ	法令		
8	海外旅行実務①		筆	10	都市・航空	実務		
9	海外旅行実務①				時差	実務		
10	海外旅行実務①		筆	10	OAG①	実務		
11	海外旅行実務①				OAG②/③～⑪回目授業まとめ	実務		
12	海外旅行実務①		筆	10	鉄道・バス・船舶・ホテル・食事等	実務		
13	試験WEEK				持ち込み：筆記用具			
14	まとめ				①～⑬回目授業まとめ	令 実		
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 72点以上 B 60点以上 C 48点以上 D 47点以下		・出入国法令 ・海外旅行実務 授業でプリントを配布します。 再配布なし。紛失の場合は各自コピーして授業に参加して下さい。	

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	1	区分	選択	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス		
科目名			接客中国語			講師名	細井 美和	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	商社（2年8ヶ月）及び中国国営企業（1年8ヶ月）にて貿易事務に従事。半導体商社（1年8ヶ月）にて総務経理を担当。その他イベント通訳、旅行者アテンド、官公庁誌日中翻訳、中国語講師など。				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
①中国語の発音を正しく覚える。 ②基本的な文法を身につけ、単語を入れ替えるだけでたくさんの場面での会話ができるようにする。 ③中国人のお客様と自信を持って会話ができるようにする。				授業形態：講義 ①新しい内容を覚えるために繰り返して練習する。 ②前回の学習内容を復習する。 ③会話の場面を設定して会話練習する。				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標			特記事項
			内容	点数				
1	発音 基本的な挨拶				発音方法、基本的な挨拶を覚える。			
2	第一課 自己紹介／飲食				簡単な自己紹介ができる。			
3	第二課 私は日本人です。／飲食				家族・友人を紹介できる			
4	第三課 私の兄も医者です／飲食		筆記	10点	「～も」の言い方を学ぶ			
5	第四課 これはパソコンです(1)／飲食				「これ、あれ…」指示代名詞の使い方			
6	第四課 これはパソコンです(2)／飲食		筆記	10点	兄弟、家族構成を紹介できる			
7	第五課 今何時ですか。／飲食				自分のスケジュールを紹介できる			
8	第六課 今日は何曜日ですか。／飲食		筆記	10点	他人にスケジュールの確認ができる			
9	第七課 この服はいくらですか。／飲食				買い物ができるようにする			
10	第八課 このパソコンは高いですか。／飲食		筆記	10点	簡単な言葉で自分の感想が述べられる			
11	第九課 トイレはどこにありますか。／飲食				道案内が出来る			
12	復習 / 飲食		実技	10点	テストに向けてしっかりと復習する			
13	試験WEEK			50点	持ち込み：不可			
14	試験WEEK問題見直し&復習				試験WEEK内の問題を見直し復習する			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
10月29日 筆記 10点 11月12日 筆記 10点 11月26日 筆記 10点 12月10日 筆記 10点 01月28日 実技 10点 試験WEEK 筆記 50点 以上100点満点にて評価する ※追試につきまして、実技、筆記ともに実施日の翌週の授業日に教室内にて担当講師より実施する 試験WEEKの場合、下記の※をご参照下さい					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		「みんなの中国語 応用編」 「インバウンド接客中国語講座」	

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	1	区分	選択	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス		
科目名			パソコン検定対策(Word & Excel)			講師名	加藤 多津子	
担当講師の実務経験		○	実務 経歴	派遣業での派遣登録者へのPC教育 7年 企業、行政でのパソコンインストラクター 3年 大学、職業訓練でのキャリアコンサルタント 4年				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
【Word】 日本語ワープロ検定（3級～2級）、文書デザイン 検定（3級～2級）が取得できる操作を学習します。 （書式設定・表作成・図形の挿入） 【Excel】 Excelの特長を理解しながら、表計算の基本操作、 機能を身につけます。				授業形態：講義 ・達成目標を目指して、Word・Excelの 両方を学習します。 ・検定申込み後は、授業の前半にExcelの学習をし、 後半に検定問題集を使用して検定学習をします。				
実施 回数	授業スケジュール		授業内テスト 内容	点数	各回の到達目標			特記 事項
1	クラス分けのための現状確認【W】ビジネス文書作成のルール				日本語ワープロ検定のルールを習得する			
2	ガイダンス【W】書式設定				授業の進め方や検定についての確認をする ビジネス文書の作成方法（書式設定）を習得する			
3	【W】表作成【W】授業内テスト		【W】 実	15	表作成方法を習得する			
4	【W】図形操作【W】文書デザイン検定対策				図形の挿入・編集方法を習得する 文書デザイン検定のルールを習得する			
5	検定相談【W】授業内テスト		【W】課	15	受験する検定の種類と級を決定する			
6	【E】基本1・検定対策		課	1	Excelの基本操作を習得する 受験する検定の練習をする			
7	【E】基本2・検定対策		課	1	Excelの基本操作を習得する 受験する検定の練習をする			
8	【E】基本3・検定対策		課	1	Excelの基本操作を習得する 受験する検定の練習をする			
9	検定対策		課	2	受験する検定の練習をする			
10	【E】応用1【E】授業内テスト		【E】実	15	Excelの応用機能を習得する			
11	【E】応用2検定確認				Excelの応用機能を習得する 2月検定受験の確認をする			
12	【E】総復習【E】授業内テスト		【E】実	35	Excelの総復習をする			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	【W】授業内テスト		【W】課	15	就職活動等で利用できる履歴書を作成する			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職 セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
《実技による評価》 ・10/15【Word】15点 ⇒追試日11/5（火） ・12/10【Excel】15点 ⇒追試日1/28（火） ・1/28【Excel】35点 ⇒追試日2/18（火） ※いずれも追試場所は16EN教室 15：45～ 《課題作成による評価》 ・11/5（15点） ・11/12、11/19、11/26（各1点ずつ） ・12/3（2点） ・2/18（15点） ※いずれも追試はなく、母数減らし					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		・オリジナルプリント <設置教材> ・トレーニングテキスト 「よくわかる Word2007& Excel2007」 「Microsoft Office Excel応用」	

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	1	区分	選択	共通科目
総時間数			30	単位数		2	クラス	
科目名			パソコン検定対策(PowerPoint)			講師名	佐久本 優子	
担当講師の実務経験			○	実務経歴		職業訓練・就職支援事業でのOAインストラクター 営業事務／企業でのマニュアル作成及びシステム構築		
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション検定（3級及び2級）が取得できる操作を学習し、検定合格を目指します。 ・検定内容以外でも、プレゼンに効果的なPowerPointの応用機能を学習し、活用できるようになります。 					授業形態：講義 <ul style="list-style-type: none"> ・達成目標を目指して、PowerPointの基本操作と検定特有の解答方法を習得します。 ・検定申し込み後は、授業の前半に「検定学習」をし、後半にはプレゼンに効果的な応用機能を活用した「課題作成」を行います。 			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	ガイダンス／現状確認				授業の進め方・検定の案内			
2	PowerPointの基礎Ⅰ				スライド番号・背景・文字や記号の挿入 図形描画・画像の挿入・スライド挿入			
3	PowerPointの基礎Ⅱ/表3級				アニメーションの挿入 表の挿入・箇条書き記号			
4	検定3級にチャレンジ/グラフ・表2級				検定3級レベルにチャレンジ 画面切替・アニメ応用・表の加工・グラフ			
5	検定2級にチャレンジ/授業内試験①		実	20	検定2級レベルにチャレンジ 検定3級レベルのテスト			
6	検定対策／課題案内及び作成				スライド開始番号・オンライン画像の挿入 課題の案内及び作成開始			
7	検定対策／課題作成				検定問題にチャレンジ 課題の作成			
8	検定対策／課題作成				検定問題にチャレンジ 課題の作成			
9	検定対策／課題作成				検定問題にチャレンジ 課題の作成			
10	課題作成及び提出		課	35	課題の作成及び提出			
11	プレゼンに役立つ機能				スライドマスタ・配布資料の印刷 アニメーションのタイミング設定			
12	復習／授業内試験②		実	30	検定2級レベルのテスト			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	課題作成及び提出		課	15	課題の作成及び提出			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職 セミナー等各種行事の準備を行う			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
11 / 5実施分・実技テスト → 11 / 19 (火) 12 / 10実施分・課題作成 → 1 / 21 (火) 授業内に提出 1 / 28実施分・実技テスト → 2 / 18 (火) 2 / 18実施分・課題作成 → 母数減らし 追試場所・・・16EN 時間15:45～					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		プレゼンテーション作成 模擬問題集 よくわかる PowerPoint 2010	

授業計画書

学部	風	科 コース	全学科共通	年次	1	区分	選択	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス		
科目名			ハングル能力検定対策 初級			講師名	河憲民	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	韓国語教室・ハングル学校・民団などで5年間、日本人と在日韓国人を対象に韓国語講師として勤務。				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
ハングル検定試験に向け、基礎レベルの韓国語ができることを目標とする。 主にハングルの仕組みからはじめ、簡単な文法の読み書きができるようにする。				授業形態：講義 授業の半分はハングルの仕組みや指示表現を中心に読み書きを練習する。その後は検定試験の出題範囲に含まれる基礎的な内容の習得に進み、韓国語への興味を保ちながら短い表現が使えるように尽くす。				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	オリエンテーション・ハングル 1				授業の流れ、ハングルの仕組みを知る。			
2	ハングル 2				韓国語の文字であるハングルの読み書きができる。			
3	ハングル 3		筆	10	韓国語の文字であるハングルの読み書きができる。			
4	ハングル 4				韓国語の文字であるハングルの読み書きができる。			
5	ハングル 5				韓国語の文字であるハングルの読み書きができる。			
6	ハングル 6		筆	10	韓国語の文字であるハングルの読み書きができる。			
7	ハングル 7				韓国語の文字であるハングルの読み書きができる。			
8	ハングル 8				韓国語の文字であるハングルの読み書きができる。			
9	挨拶表現・助詞		筆	15	ハングル検定5級レベルの挨拶表現と助詞、簡単な文法を習得する。			
10	指示語・疑問詞				ハングル検定5級レベルの指示語と疑問詞、簡単な文法を習得する。			
11	副詞		筆	15	ハングル検定5級レベルの副詞、簡単な文法を習得する。			
12	数詞・単位				ハングル検定5級レベルの数詞と単位、簡単な文法を習得する。			
13	試験WEEK		筆	50	持ち込み：なし			
14	総復習				今までの学習内容が全て理解・活用できる。			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価	使用教材		
10/15 筆記 配点10 11/12 筆記 配点10 12/ 3 筆記 配点15 1/21 筆記 配点15 追試に関しては、次回授業内で担当講師が実施 試験WEEK 筆記 配点50 試験WEEKの追試は、試験WEEK期間内に学校側で実施					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下	ハングル能力検定 試験実戦問題集5 韓日出版社		

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス		
科目名			初級英会話			講師名	吉田 美樹	
担当講師の実務経験		○	実務 経歴	航空会社国際線乗務歴18年 英語講師歴6年				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
観光業界で必要となる基礎英会話力を養いながら、12月実施の「みんなの外国語検定（ブロンズレベル：日本語訳をマークシートの選択肢から選ぶ）」受験の対策を行う。				授業形態：講義 検定の流れを意識し、対策を進めていく。 ブロンズレベルからシルバーレベルを目指す。				
				実施回数	授業スケジュール	授業内テスト 内容	点数	各回の到達目標
1	オリエンテーション・検定について			デモ検定体験				
2	英会話基礎①			Yes/No質問				
3	英会話基礎②	小テスト	5	WH質問				
4	検定対策①	小テスト	5	ブロンズ検定の模擬問題実施①				
5	検定対策②	小テスト	5	ブロンズ検定の模擬問題実施②				
6	検定対策③	小テスト	5	ブロンズ検定の模擬問題実施③				
7	検定対策④	小テスト	5	ブロンズ検定の模擬問題実施④				
8	検定対策⑤	小テスト	5	ブロンズ検定の模擬問題実施⑤				
9	検定対策⑥	小テスト	5	ブロンズ検定の模擬問題実施⑥				
10	検定対策⑦	小テスト	5	シルバー検定にチャレンジ①				
11	検定対策⑧	小テスト	5	シルバー検定にチャレンジ②				
12	検定対策⑨	小テスト	5	シルバー検定にチャレンジ③				
13	試験WEEK			持ち込み：なし				
14	まとめ			振り返りとまとめ				
15	総まとめおよび各種行事			これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。				
テスト・追試詳細				達成度評価		使用教材		
<small>*0/28~2/3 小テスト 各5点試験WEEK 筆記テスト 50点【追試詳細】小テスト…授業内または前後で検定筆記テスト…試験WEEK内に設定</small>				A 80点以上		配布プリント		
				B 70点以上				
				C 60点以上				
				D 59点以下				

授業計画書

学部	昼	科 コース	0	年次	2	区分	0	0	
総時間数			30	単位数		2	クラス		2年共通
科目名			中級英会話			講師名		Cynthia Savoca	
担当講師の実務経験			○	実務経歴		I have 15 years of teaching experience, 11 years of which has been in Japan.			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
The focus of this course will be on understanding and imitating natural English as spoken by native speakers. Pronunciation will be strongly emphasized, especially the difference between careful (slow) and relaxed (natural) pronunciation.					授業形態：講義 Each lesson will include a listening portion where students will hear native English speech patterns, as well as speaking activities designed to move students closer to native speaker levels.				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項			
			内容	点数					
1	Course Orientation				Goals, rules, personal introductions				
2	Unit 1				Family discussion				
3	Unit 2				Talking about jobs				
4	Unit 3				Talking about cars				
5	Unit 4		Written	30	Buying things and Test #1				
6	Unit 5				Internet discussion				
7	Unit 6				Shopping				
8	Unit 7				Making Plans				
9	Test #2 and Class Activity		Written	30	Review, Test #2, In-class work				
10	Unit 8				Talking about wants				
11	Unit 9				Future events				
12	Unit 10				"Can" and "Can't"				
13	試験WEEK			40	持ち込み：				
14	Course Wrap-up				Feedback. Class activity.				
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。				
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材		
#1 = 30 Points Points Points 11/18 - Written Test 12/11 - Written Test #2 = 30 2/10 - Final Exam (Test #3) = 40					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		REQUIRED: 1) "Whaddaya Say?" 2) Pen / pencil 3) Paper		

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス		
科目名			はじめての中国語			講師名	細井 美和	
担当講師の実務経歴		○	実務経歴	商社（2年8ヶ月）及び中国国営企業（1年8ヶ月）にて貿易事務に従事。半導体商社（1年8ヶ月）にて総務経理を担当。その他イベント通訳、旅行者アテンド、官公庁誌日中翻訳、中国語講師など。				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
①中国語の発音を正しく覚える。 ②基本的な文法を身につけ、単語を入れ替えるだけでたくさんの場面での会話ができるようになる。 ③中国人のお客様と自信を持って会話ができるようになる。				授業形態：講義 ①新しい内容を覚えるために繰り返して練習する。 ②前回の学習内容を復習する。 ③会話の場面を設定して会話練習する。				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	発音 基本的な挨拶				発音方法、基本的な挨拶を覚える。			
2	第一課 自己紹介				簡単な自己紹介ができる。			
3	第二課 私は日本人です。				「～は～です」の表現を身につける。			
4	復習		実技	10点	復習することで学習内容を定着させる。			
5	第三課 私の兄も先生です。				「私、あなた…」人称代名詞の使い方			
6	第四課 これはパソコンです。				「これ、あれ…」指示代名詞の使い方			
7	第五課 今何時ですか？				時間の表現を身につける。			
8	復習		筆記	40点	復習することで学習内容を定着させる。			
9	第六課 今日は何曜日ですか？				曜日の表現を身につける。			
10	第七課 この服はいくらですか？				お金、料金の表現を身につける。			
11	第八課 このパソコンは高いですか？				形容詞の用法を身につける。			
12	復習				テストに向けてしっかりと復習する			
13	試験WEEK				持ち込み：不可			
14	総まとめ							
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
11月11日 実技 10点 12月09日 筆記 40点 02月10日 試験WEEK 50点 以上 100点満点にて評価する 追試につきまして実技は実施日翌週の授業日に教室にて担当講師により実施する 筆記につきまして規定に従う（担当講師と相談可） 試験WEEKの追試は以下の※を参照。					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		「みんなの中国語 応用編」	

授業計画書

学部	風	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス		
科目名			はじめての韓国語			講師名	金 ミンソン	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴	エクレシア外語学院 韓国語非常勤講師・一般事務・翻訳 大阪拘置所 韓国語 翻訳・通訳の経験あり			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
ハングルの基本母音、子音を学び、身の周りにかかわる単語を覚え、相手との簡単な会話ができるようにする。					授業形態：講義 前半は基本的な文字と単語を学ぶ。ペアワークなどを通じて実際のシーンで使える会話を身に付ける。			
実施回数	授業スケジュール			授業内テスト		各回の到達目標		特記事項
				内容	点数			
1	ハングルの紹介・母音					ハングルの概要・母音の学習		
2	子音・会話「～です」					子音の学習・～ですが言える		
3	子音・会話「～あります/ありません」					子音の学習・～ある/ないの表現		
4	二重母音・会話「好きです」					二重母音の学習・好きなものを言う		
5	パッチム・会話「嫌いです」			筆記	10	パッチムの学習・嫌いなものを言う		
6	文字の復習・自己紹介					文字が読めて自己紹介ができる		
7	位置：物の場所の説明			会話	10	物の位置の説明ができる		
8	位置：場所の説明					場所の説明ができる		
9	固有数字			筆記	10	固有数字を使って会話ができる		
10	漢数字					漢数字を使って買い物ができる		
11	動詞・形容詞の表現			会話	20	動詞や形容詞を使って会話ができる		
12	総復習					韓国語で簡単な会話ができる		
13	試験WEEK			筆記	50	持ち込み：		
14	韓国の文化					文化体験を通して日韓比較②		
15	まとめ					これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。		
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
11・8 筆記 12・2 会話 12・11 筆記 1・27 会話 授業内試験の追試は、授業担当講師が実施。 必ず欠席が確認できるものを講師に提示すること。 試験WEEK 筆記 試験WEEKの追試は試験WEEK内に学校側で実施					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		開かれた韓国語	

授業計画書

学部	風	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス		
科目名			ペン字検定対策			講師名	松浦 明季	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴	マーケティング企画会社でプランナーとして7年間勤務後、商社の営業事務職を経てマナー講師を14年間担当。 硬筆書写検定検定2級、日本語検定1級等保有			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>社会に出て手書きの書類を提出する機会は多い。字を正しく読みやすく書くということは、社会人の基礎力である。この授業では文部科学省後援の「硬筆書写検定」3級合格を目標とし、ペン字の上達を目指していく。</p>					<p>授業形態：講義</p> <p>文字の成り立ちを理論から学び、美しい字に対する認識を深める。授業では環境を整え、集中して字を書く自律練習を重視。授業内で課題を提出し、添削や模範例との比較から字形を改善、検定合格を目指す。</p>			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	授業計画ガイダンス ペン字の基礎				授業の進め方、用具、検定の案内 字を書く意識の整え方			
2	検定対策①				漢字の部分名称（第7問） 速書の注意点（第1問）			
3	検定対策②				正しい筆順の必要性（第8問） ひらがなの復習			
4	検定対策③		筆記 試験	10	カタカナ・英数字の練習 横書きのルールと注意点			
5	検定対策④				草書に親しむ（第9問） 楷書と行書の練習（第2問）			
6	検定対策⑤				簡易な行書の練習 縦書きの気脈を身につける（第3問）			
7	検定対策⑥				字体訂正（第10問） はがきの宛名面（第5問）			
8	検定対策⑦				掲示文の練習（第6問）	マジック 定規要		
9	模擬試験実施				検定問題に取り組む 苦手な問題を知る	マジック 定規要		
10	検定直前対策		筆記 試験	10	弱点をフィードバック ここまでの復習	マジック 定規要		
11	実践練習① 社交文書				お礼状、サンキューレター、はがき 丁寧な手紙の書き方			
12	実践練習② 商業文書		課題	40	送り状（都道府県、住所練習） 領収書、見積書の練習			
13	試験WEEK		筆記 試験	40	持ち込み：なし ボールペンとシャープペンシル使用			
14	応用編 筆ペンの練習				筆ペンに親しむ 慶弔の表書き			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー 等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
<p><授業内試験と課題により評価></p> <p>①第4回：授業内筆記試験（10点）5分</p> <p>②第10回：授業内筆記試験（10点）5分</p> <p>③第12回：課題提出期限（40点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各授業で丁寧に仕上げた清書を提出すること 欠席、時間が足りない場合はこの期限までに提出 （提出期限日に公欠の場合は追試申請すること） <p>④試験WEEK 筆記試験（40点）30分</p> <p>* 追試詳細は欄外参照</p>					<p>A 83点以上</p> <p>B 69点以上</p> <p>C 55点以上</p> <p>D 54点以下</p>		<p>「3級合格のポイント」 「漢字の上手な書き方」 「配布プリント」</p> <p>*各自必ず準備するもの</p> <p>①単色黒色ボールペン （練習にふさわしい物）</p> <p>②油性マジック （ペン先が丸いもの）</p> <p>③30cm定規</p>	

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス		
科目名			電話応対技能検定対策			講師名	小泉さゆり	
担当講師の実務経験		○	実務 経歴	大阪国際空港のインフォメーションに7年間勤務したのち、ビジネスマナー講師として19年間活動。電話応対技能検定指導者級の資格を有し、もしも検定の指導官や試験官を務めている				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
ビジネスの現場において即戦力となりうる電話応対スキルの基本を身につけ、最終的には電話応対技能検定（もしも検定）の3級の資格取得を目指す				授業形態：講義				
				もしも検定3級講座必修科目テキスト（ビジネスマナー研修・電話応対研修）を使用し、電話応対のロールプレイや筆記試験対策の内容を中心に授業を進める				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標			特記事項
			内容	点数				
1	オリエンテーション もしも検定とは				授業内容、評価方法について説明をする もしも検定についての説明をする			
2	話し言葉 聴くこと・話すこと・気遣うこと				コミュニケーションの基本について学ぶ			
3	電話と対面コミュニケーションの違い 様々なコミュニケーションツール		筆記試験 ①	10	電話と対面のコミュニケーションの特色を考える。 コミュニケーションツールの特徴を理解する			
4	発声・発音の基本				電話応対に必要な発声と発音を学ぶ			
5	敬語と言葉遣いの基本		筆記試験 ②	20	社会人にふさわしい敬語と言葉遣いを学ぶ			
6	電話応対の基礎				第一声の挨拶・名乗り、復唱の重要性を理解し、 クッション言葉、結びの言葉の効果を知る			
7	電話の受け方・かけ方・取り次ぎ・伝言①				電話応対業務に即して基本応対のトークと そのポイントを知る①			
8	電話の受け方・かけ方・取り次ぎ・伝言②				電話応対業務に即して基本応対のトークと そのポイントを知る②			
9	電話応対実技試験		実技試験	20	電話応対の実技試験を実施する			
10	教養ある社会人として欠かせない人格マナー		課題提出	10	社会人にふさわしいビジネスマナーを修得する			
11	個人情報保護法（概要）				電話応対において必要な個人情報保護法の 基本知識を学ぶ			
12	検定対策①				もしも検定に合格するための対策を行う			
13	試験WEEK		筆記試験	40	持ち込み：不可			
14	検定対策②				もしも検定に合格するための対策を行う			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事 の準備を行う			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
【授業内試験等により評価】 ①10月28日 授業内筆記試験（10点） ・13時05分開始予定 10分間 ②11月18日 授業内筆記試験（20点） ・13時05分開始予定 10分間 ③1月20日 実技試験（20点） 3分以内 ・録音機器を使用し、もしも検定と同様に実施する ④1月28日 課題提出（10点） ・公欠で提出できなかった場合は、2月3日までに提出 ⑤試験Week 筆記試験（40点）					A 84点以上 B 70点以上 C 56点以上 D 55点以下		もしも検定3級 ・ビジネスマナー 研修テキスト ・電話応対研修テキスト	
【追試詳細】 下記参照								

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス		
科目名			冠婚葬祭マナー			講師名	奥田 和佐子	
担当講師の 実務経歴		○	実務 経歴		国際線CAとして乗務後、英語教師として日本文化継承の活動。 国際会議ボランティア、専門学校で同系列の5科目担当。 消費生活アドバイザー消費生活相談員として研修。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>社会に出て、また家庭を持って必要な作法や日本のしきたりとおもてなしの心を後世に伝えられるようにまた職場で発揮できるように学ぶ。 知識と立ち居振る舞いと心得が同時に身につくように体験学習する。 男女ともエレガントで常識をわきまえた大人や家庭人になるための学習である。</p>					<p>授業形態：講義</p> <p>一般の冠婚葬祭の知識をテキストを参照しながら並行して学習する。基本的に講師Pプレジュームに沿ってテーマごとに視覚的に学び、テキストを適宜参照する。その他、課題やロールプレイングを通して実践的に「わかる」から「出来る」になるよう学ぶ。</p>			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標			特記事項
			内容	点数				
1	オリエンテーション 冠婚葬祭とは アイクブレイク				アイスブレイク（マッチング） 冠婚葬祭初めてクイズ			
2	訪問のマナー 来客対応のマナー				私宅訪問のマナー 来客対応のおもてなし 洋の動作			
3	きれいな立ち居振る舞い 和室の動作（実技試験）		実技	10	和室での動作 和室を訪問する 実技試験			
4	食事のマナー ① 和食 中華		筆記①	10	和食の箸使い 料理のいただき方 中華料理の特徴とマナー			
5	食事のマナー ② 洋食 ビュッフェ				西洋料理のいただき方 ビュッフェ パーティーマナー			
6	（葬）葬儀に出る（実技試験） 葬儀を出す		実技	10	葬儀、告別式への参列の仕方 葬儀を出す流れ			
7	（婚）結婚式に参列する 結婚する				結婚式への参列の仕方 結婚までと式の流れ			
8	（冠）出産から賀寿まで 人生のお祝い				子育ての慶事と成長の祝い 賀寿			
9	（祭）四季折々の行事 お正月の迎え方				四季折々の行事と日本のしきたり 年末からお正月へ			
10	贈答のマナー お見舞いのマナー		筆記②	10	中元歳暮やその他の贈答マナー 祝儀袋の知識			
11	日常の手紙 文書敬語（実技課題）		課題	10	日常の手紙の書き方 実技課題			
12	日常の電話 日本語の常識				日常の電話対応 言葉の使い方			
13	試験WEEK		筆記③	50	持ち込み：なし			
14	トラブル対応 賢い消費者				さまざまなトラブル 危機管理 賢い消費者になるために			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等 各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
<p>< 授業内試験などにより評価 ></p> <p>授業内筆記試験 ① 第4回（10点） ② 第10回（10点）</p> <p>* 公欠の際は 母数減らし とする</p> <p>授業内実技試験 ① 第3回（10点） ② 第6回（10点）</p> <p>* 公欠の際は①は母数減らし ②は講師に確認</p> <p>授業内提出課題 ① 第11回（10点）</p> <p>* 公欠の際は 次回までに提出</p> <p>★ 試験week筆記試験（50点）</p> <p>* 公欠の場合は詳細後日確認</p>					<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>		<p>① イラストでわかる 礼儀作法基本 テキスト</p> <p>② 講師Pプレジューム</p> <p>③ 講師シートレジューム</p> <p>④ 各種資料・備品</p>	

授業計画書

学部	風	科 コース	共通選択	年次	2	区分	選択	共通科目
総時間数			15	単位数	2	クラス	A/B	
科目名			観光地理			講師名	山本 純二	
担当講師の実務経験			○	実務 経歴	旅行業界で10年間、団体旅行セールス・企画・手配・添乗業務を担当			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・国内の旅行先として人気のある都市や世界遺産などを中心に、観光地に関する基礎知識を習得する。 ・就職後の実務を想定して、おすすめ観光地をお客様に提案するスキルを習得する。(プレゼン) 					授業形態：講義 <ul style="list-style-type: none"> ・座学は配布プリントに基づく講義形式とする。 ・プレゼンは学生自身で観光地を研究し、自らの言葉で各地の魅力を伝える。 			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	オリエンテーション				授業の進め方、目的等を知る。			
2	北海道・東北				北海道・東北の基礎知識を習得する。			
3	東北・関東				東北・関東の基礎知識を習得する。			
4	関東・東海・北陸・甲信越		筆記①	15	関東・東海・北陸・甲信越の基礎知識を習得する。			
5	近畿・中四国				近畿・中四国の基礎知識を習得する。			
6	中四国・九州		筆記②	15	中四国・九州の基礎知識を習得する。			
7	九州				九州の基礎知識を習得する。			
8	沖縄		筆記③	10	沖縄の基礎知識を習得する。			
9	旅行パンフレットの見方①				旅行パンフレット・時刻表を活用できるようになる			
10	旅行パンフレットの見方②		課題①	10	旅行パンフレット・時刻表を活用できるようになる			
11	プレゼン準備				プレゼンに向けた準備を進める。			
12	プレゼン準備				プレゼンに向けた準備を進める。			
13	試験WEEK		筆記⑤	30	持ち込み：			
14	プレゼン発表		実技	20	プレゼン発表会。			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
筆記①北海道・東北 筆記②関東・東海・北陸・甲信越・近畿 筆記③中四国・九州					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布プリント	

授業計画書

学部	風	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	A・B	
科目名			ご当地検定対策			講師名	井上 光嗣	
担当講師の実務経歴		○	実務経歴	「なにわなんでも大阪検定」1級4回合格実績あり(大阪の達人)。				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・ご当地検定の取得を目指し、大阪・京都に関する基礎知識を習得する。 ・改めて地域の魅力を再発見する。 ・「なにわなんでも大阪検定」の取得 2019年12月8日(日)の受験及び合格を目指す(希望者のみ)					授業形態：講義 ①大阪検定：大阪に関する「歴史」「産業」「文化」「お祭り」など、分野別に講義を進めるとともに、過去問題に取り組んでいく。 ②京都検定 京都の魅力を知るための知識を学び、次年度以降の京都検定受験へ導入を学ぶ。			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	オリエンテーション				大阪検定紹介、大阪の概要、最近の話題			
2	大阪ことばを知ろう				「大阪ことば」の意味やその発展形など			
3	大阪の歴史(古代～現代)		筆記①	10	大阪の歴史を知る、大阪の語源など			
4	大阪の観光地と地名の由来・ランドマーク				観光地の歴史と語源			
5	大阪の産業・製品と主な企業		筆記②	10	制約、紡績、鉄道、テーマパークなどの紹介			
6	食い倒れ大阪(食の文化)				代表的な大阪の食べ物とその歴史			
7	お祭りイベント		課題	10	年中行事とお祭り(本年度検定テーマ)			
8	大阪とスポーツの歴史・伝統芸能				大阪のスポーツ及び伝統芸能について			
9	大阪検定のまとめ		筆記③	10	「第11回大阪検定」の振り返り			
10	京都検定について				京都の概要			
11	京都の歴史				京都の歴史			
12	京都の文化		筆記④	10	京都の文化・筆記試験対策			
13	試験WEEK		筆記	50	持ち込み：なし			
14	まとめ				振り返り			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価	使用教材		
[試験週] 3週目 5週目 7週目 9週目 12週目 試験WEEK	[試験内容] 筆記① 筆記② 課題 筆記③ 筆記④ 筆記	[追試詳細] 翌週実施 翌週実施 翌週提出 翌週実施 翌週実施 試験WEEK内追試日にて実施	A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下	配布用プリント				

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス		
科目名			社会で役立つWord&Excel（初級）			講師名	加藤 多津子	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	派遣業での派遣登録者へのPC教育 7年 企業、行政でのパソコンインストラクター 3年 大学、職業訓練でのキャリアコンサルタント 4年				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
<p>まずは【Word】・【Excel】の基本的な機能を確認します。</p> <p>その後、社会人になってからもよく利用される応用機能を中心に学習し、活用ができるようになります。</p>				<p>授業形態：講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・到達目標を目指して Word・Excelの両方を学習します。 ・Word・Excelそれぞれの学習の最後に復習（課題作成など）を行います。 				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標			特記事項
			内容	点数				
1	ガイダンスレベル把握				授業の進め方と各自のレベルを確認する			
2	ファイル操作【E】基本操作・書式・基本関数				ファイル操作の概念を確認する 基本操作・書式設定・基本関数を学習する			
3	【E】授業内テスト【E】四則演算・絶対参照		【E】実	20	授業内テスト 数式・絶対参照を学習する			
4	【E】応用関数①				IF関数を学習する			
5	【E】ワークシート・グラフ				ワークシートの扱いを学習する グラフの作成を学習する			
6	【E】応用関数②				RANK関数を学習する			
7	【E】復習【E】授業内テスト		【E】実	30	授業内テスト			
8	【W】ビジネス文書・書式				ビジネス文書の作成のルールを習得する 書式を学習する			
9	【W】表作成【W】授業内テスト		【W】実	20	表作成を学習する 授業内テスト			
10	【W】図の挿入・図形作成【W】課題作成				図に関連する内容を学習する			
11	【W】段組み・セクション【W】課題作成				文書レイアウトの応用を学習する			
12	【W】タブ・リーダー【W】課題作成		【W】課	20	文書作成時の便利な機能を学習する			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	【W】差し込み印刷（名刺）		【W】課	10	差し込み印刷を学習し、名刺を作成する			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
<p>《実技による評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/28【Excel】20点 ⇒追試日11/19（火） ・12/ 2【Excel】30点 ⇒追試日 1/21（火） ・12/11【Word】20点 ⇒追試日 1/28（火） <p>※いずれも追試場所は16EN教室 15：45～</p> <p>《課題作成による評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2/ 3（20点） ⇒次回授業内で提出 ・2/17（10点） ⇒母数減らし 					<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>		<p>・オリジナルプリント</p> <p><設置教材></p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレーニングテキスト 「よくわかる Word2007& Excel2007」 「Microsoft Office Excel応用」 	

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス		
科目名			社会で役立つWord&Excel（中級）			講師名	松本 みさえ	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	市町村主催セミナーのOAインストラクター 法人企業に対するWeb制作および運用コンサル ディング業務				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
【Word】・【Excel】ともに、 今まで学習した機能を確認しながら、 社会人になってからもよく利用される応用機能を 中心に学習、活用できるようにする				授業形態：講義 ・到達目標を目指して Word・Excelの両方を学習します。 ・Word・Excel、それぞれの学習の最後に、 検定問題などを使って復習（課題作成など） を行います。				
				実施回数	授業スケジュール	授業内テスト 内容	点数	各回の到達目標
1	【Excel】四則計算・関数・書式・絶対参照				Excelの基本を確認と習得			
2	【Excel】関数応用（RANK・IF・Vlookup）など				Excel応用関数の理解			
3	【Excel】復習・授業内テスト①	実	20		Excel授業内テスト			
4	【Word】地図作成・お絵かき				図形の応用操作を習得			
5	【Word】文書編集応用・段組み・改ページ・タブ など				長文作成時の便利な機能を学ぶ			
6	【Word】復習・授業内テスト②	実	20		Word授業内テスト			
7	【Word】課題作成				長文作成時の機能を使い課題作成			
8	【Word】課題作成①・提出	課	25		長文作成時の機能を使い課題作成			
9	【Excel】ワークシート・グラフ・印刷機能 など				実務で役立つ機能を学習			
10	【Excel】表作成応用				入力規則・ユーザー定義などを学習			
11	【Excel】演習（実務カアップ問題）				Vlookup関数のエラー回避などを学習			
12	【Excel】総復習・授業内テスト③	実	30		Excel授業内テスト			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	【Word】・グリーティングカード課題②	課	5		図形を使って、カード作成の課題			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー 等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細				達成度評価		使用教材		
《実技による評価》 ・10/28【Excel】20点 ⇒追試日11/19（火） ・11/25【Word】20点 ⇒追試日12/10（火） ・2/3【Excel】30点 ⇒追試日2/18（火） ※いずれも追試場所は16EN教室 15：45～ 《課題作成による評価》 ・12/9（25点） ※翌週（12/11（月））に提出 ・2/17（5点） ※追試はなく、母数減らし				A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		・オリジナルプリント <設置教材> ・トレーニングテキスト 「よくわかる Word2007& Excel2007」 「Microsoft Office Excel応用」		

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス		
科目名			やさしいパソコン			講師名	小路 桃子	
担当講師の実務経験		○		実務 経歴	海外の旅行会社で3年間ツアーガイドとして勤務。 その他、見積書作成・バウチャー・請求書発行などを担当。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>スムーズな日本語をローマ字入力できることを目指す。</p> <p>社会に出てでも使える、Word・Excel・PowerPointの基本操作を学習する。</p> <p>さらにPowerPointで課題を作成する</p>					<p>授業形態：講義</p> <p>毎回、日本語入力の練習をおこなう。</p> <p>Word・・・図形を使ったお絵かき&カード作成 Excel・・・基本的な関数（SUM/AVE/COUNT） PowerPoint・・・スライドの作成</p>			
実施 回数	授業スケジュール			授業内テスト 内容	点数	各回の到達目標		特記 事項
1	ガイダンス・日本語入りにチャレンジ					ガイダンス/ひらがな・カタカナ・ 促音・拗音の入力と漢字の変換		
2	日本語入力練習・【W】お絵かき					【入】文字・文章削除の練習と記号 【W】図形を使って絵を描く		
3	日本語入力練習・【W】グリーティングカード			筆記	15	【入】IMEと住所入力 / 授業内試験 【W】図形を使ってグリーティングカードを作成する		
4	日本語入力練習・【W】グリーティングカード			課題	15	【入】文章の入力方法（文節を見分ける） 【W】図形を使ってグリーティングカードを作成する		
5	日本語入力練習・【E】基本操作					【入】アルファベットと日本語の混合 【E】基本的な操作をマスターする		
6	日本語入力練習・【E】簡単な関数					【入】数字と日本語の混合 【E】基本的な関数を学習する（SUM/AVEなど）		
7	【E】復習・授業内テスト・【P】基本操作			実技	20	【E】これまでの復習 / 授業内テスト 【P】PowerPointの基本操作を学習する		
8	日本語入力練習・【P】基本操作					【入】薬指と小指を多用した入力 【P】PowerPointの基本操作を学習する		
9	日本語入力練習・【P】スライド作成					【入】漢字・英字・数字・記号の混合練習 【P】スライド作成の為の概要を作成する		
10	日本語入力練習・【P】スライド作成					【入】ビジネスメールや案内文を練習 【P】構成&スライド作成		
11	日本語入力練習・【P】スライド作成					【入】ビジネスメールや案内文を練習 【P】スライド作成		
12	日本語入力練習・【P】スライド作成			課題	20	【入】ビジネスメールや案内文を練習 【P】スライド作成		
13	試験WEEK					持ち込み：		
14	日本語入力練習・【W】授業内テスト			実技	30	復習/入力の総合テスト		
15	総まとめおよび各種行事					これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。		
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
<p>3回目（筆記）・・・次回授業内で実施</p> <p>4回目（課題）・・・母数減らし</p> <p>7回目（実技）・・・12/3（火）15：45@16E教室</p> <p>13回目（課題）・・・14回目授業までに提出</p> <p>14回目（実技）・・・2/18（火）15：45@16EN教室</p>					<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>		オリジナルプリント	

授業計画書

学部	風	科 コース	ツアープロデューサーコース	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			15	単位数	6	クラス	コース	
科目名			海外旅行予約プラクティス			講師名	BEN	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴	添乗員、国内海外の団体旅行営業。マネージャー昇格後は経営戦略、人事に携わる。後にフリーエージェントとして、カメラマン、添乗員等幅広い分野で活動中			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>★旅行会社を通さずに最安値で海外旅行の予約する方法を学んだ上で、今後の旅行会社としての役割を学ぶ</p> <p>★C to Cのサービス(airbnb、UVER、Root trip、trippiece等)のメリット・デメリットを理解し、安全な旅行計画を立てれるようにする。</p>					授業形態：講義			
					<p>★配布資料使用</p> <p>★座学の後、PCを使い実際に最安値の料金の算出を行う</p> <p>★個人で最安値の旅行を取れる時代で、旅行会社としての役割をチームで考える</p>			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	オリエンテーション				旅行の手配先、シェアリングサービスについて学ぶ			
2	航空券の手配①(手配先・実践)				WEB予約サービスの使い方を学び実践する			
3	航空券の手配②(実践テスト・対策)		実技①	20	最安値計算が出来る。旅行会社の役割を考える			
4	ホテルの手配①(手配先・実践)				WEB予約サービスの使い方を学び実践する			
5	ホテルの手配②(実践テスト・対策)		実技②	20	最安値計算が出来る。旅行会社の役割を考える			
6	海外での通信手段・クレジットカード				海外SIM、キャリアサービス、クレジットカードについて学ぶ			
7	空港からの移動手段		筆記①	20	UVER等のCtoCの移動手段の理解。まとめテスト			
8	世界一周航空券①(手配先・実践)				キャリアアライアンスの基礎知識を学ぶ			
9	世界一周航空券②(実践テスト・対策)		実技③	20	世界一周航空券の料金計算が出来るようになる。			
10	現地ツアーの選び方				海外の旅行会社を通じた現地ツアーの申込ができる			
11	海外旅行の旅費計算①				今まで学んだ事を使い、安価で旅程を組む			
12	海外旅行の旅費計算②		課題①	20	安価で魅力的な旅行を組めるようになる。			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	総まとめ				1年間の授業の振り返りと、今後の旅行業を考える			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
上記記載のとおり					<p>A 240点以上</p> <p>B 210点以上</p> <p>C 180点以上</p> <p>D 179点以下</p>		配布プリント	

授業計画書

学部	風	科 コース	ツアープロデューサーコース	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			15	単位数	6	クラス	コース	
科目名			卒業制作			講師名	山田 真史	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	旅行業界で10年間、団体旅行セールス・企画・手配・添乗業務を担当				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
・2年前期で作成した日帰り旅行企画を、在校生・保護者に向け販売、実施する ・2年間の集大成とし、PCツールを活用し旅行実施に向けて在校生を募集する				授業形態：講義				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	オリエンテーション・ミーティング				授業の進め方の理解			
2	企画作成				卒業バスツアーの作成			
3	企画作成				卒業バスツアーの作成			
4	企画作成		課題	25	卒業バスツアーの完成			
5	発表会・プラン&方面決定		課題	25	作成したプランを共有し、決定する			
6	販売素材作成・販売準備				販促ツールを作成する			
7	販売素材作成・販売準備		課題	25	販促ツールを作成する			
8	ツアー準備				ツアー催行に向けての準備			
9	ツアー準備				ツアー催行に向けての準備			
10	ツアー準備		課題	25	ツアー催行に向けての準備			
11	ツアー準備				ツアー催行に向けての準備			
12	ツアー準備				ツアー催行に向けての準備			
13	ツアー催行				ツアーを成功させる			
14	ツアー精算・まとめ				後期振返りとまとめ			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 240点以上 B 210点以上 C 180点以上 D 179点以下		配布プリント	

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	R	
科目名			国内カウンター実務			講師名	和田 茜	
担当講師の実務経験		○	実務経験	旅行会社で6年間、海外・国内カウンター販売を担当。その他、海外・国内添乗経験あり。				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ●販売知識・確認事項を把握し、料金計算・基本的な接客(来店・電話)の応対が出来る。 ●接客しながら短時間でプラン作成が出来るようになる ●旅行会社のカウンター業務で必要とされる知識を身に付ける。 ●接客の実践で必要な正しい敬語を習得する。 					授業形態：講義 <ul style="list-style-type: none"> ●販売知識・料金算出方法・パンフレットの見方を学習する。 ●得た知識を基にロールプレイを行い、受付から販売までの流れに必要な知識が身についているか実践する。 ●講師が準備したプリントを使い、各方面の主な観光地を時刻表やパンフレットと照らし合わせて再確認し、実践力を身につける。 ●料金計算出来るよう、お客様の基本的要望を把握する。 			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標			特記事項
			内容	点数				
1	沖縄販売知識/パンフレットの理解				沖縄販売に必要な知識の理解度を確し、パンフレットを把握する			
2	沖縄フリープランと添乗員同行プランの料金計算				沖縄販売に必要な知識の理解度を確し、パンフレットを把握する			電卓
3	沖縄フリープランのロールプレイング実践と料金計算				ロールプレイングで沖縄フリープランの基本的な接客・料金計算が出来るか理解度を確する			電卓
4	テスト①/九州フリープランに必要なJR時刻表検索		筆記	20	テスト①/九州フリープランの時刻表検索が出来る			電卓
5	九州フリープランパンフレットの理解と料金計算				九州フリープランのパンフレットを把握し、料金計算が出来る			電卓
6	九州フリープランのロールプレイング実践				ロールプレイングで九州の基本的な接客・料金計算が出来るか理解度を確する			電卓
7	筆記テスト②/スキー販売知識		筆記	20	テスト②/スキー販売に必要な基礎知識を確する			電卓
8	スキーパンフレットの理解(北海道・東北・信州・近郊等)と料金計算①				スキープランのパンフレットを把握し、料金計算①が出来る			電卓
9	スキープランのロールプレイング実践				ロールプレイングでスキープランの基本的な接客・コース作成が出来るか理解度を確する			電卓
10	筆記テスト③/テストの概要		筆記	20	テスト③/テストの概要			電卓
11	休講							
12	実技テスト/課題作成		実技	40	接客テストにて今までの授業の理解度を確する			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	まとめ				まとめ			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
<追試実施日> 筆記テスト(所要約20分) 翌週授業終了後16TC教室にて実施 課題提出 提出分→2/13(木) 16:00~17:30 16TC教室にて課題作成実施 接客テスト 実施分→2/13(木) 16:00~ 接客テスト実施					1/30	1/30実 16TC教室にて	A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下	授業でプリントを配します。再配布なし。紛失の場合は各自コピーして授業に参加して下さい。 ※電卓必須

授業計画書

学部	風	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	カウンターアドバイザー	
科目名			海外カウンター実務			講師名	小澤 和哉	
担当講師の実務経験			○	実務経歴	旅行業界に11年間勤務。 外国籍アウトバウンド手配・海外旅行企画・手配・販売・営業として旅行業務全般を担当。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>・カウンターで募集型企画旅行を販売する際、必須となる取り扱い上の実務知識を学ぶ。</p> <p>・旅行業界で基本的知識とされる「保険・日本の出入国や諸外国の出入国手続き」等をの仕組みを理解し、ケース別に必要な手続きを想定しご案内できる能力を身につける。</p> <p>・ネットリテラシーを高め、必要な情報の最新知識を正確に手に入れるソースを持つ。</p>					<p>授業形態：講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ●海外の主要商品の販売知識・料金算出方法、ファミリー商品販売等を学習し、受付から販売までの流れを実践的に学ぶ。 ●各方面の主な観光地を時刻表やパンフレットと照らし合わせて再確認し、実践力を身につける。 ●料金計算が正確に出来るよう、お客様の基本的要望を把握する。 			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	オリエンテーション・方面別学習①				ヨーロッパ方面の有名観光地や料金算出を学ぶ			
2	方面別学習②		筆記	20	ヨーロッパ方面の有名観光地や料金算出を学ぶ			
3	旅行実務 海外旅行保険				保険の種類・カバーする内容、ポリスレポートや保険金請求の流れを学ぶ			
4	旅行実務 海外募集型商品の販売実務				旅行契約成立後に必要な手配実務知識を得る (CIQ、前受けや手じまい等)			
5	旅行実務 海外受注型商品の販売実務				旅行契約成立後に必要な手配実務知識を得る (ネムロ、UNA CHANやL/O手配書)			
6	手配旅行業務（航空券運賃・手配）				端末を利用してお客様の希望に沿った航空券を検索する			
7	手配旅行業務（航空券運賃・手配）				端末を利用して運賃計算を行う（大人・子供運賃）			
8	手配旅行業務（航空券運賃・手配）		筆記	20	航空券のタリフを読み、運賃規則を理解しながらケーススタディを行う			
9	インバウンド研究 フィールドワーク準備①				FWIに向け、外国人のお客様に喜ばれる観光地を知り、日帰り旅行を企画、手配する			
10	インバウンド研究 フィールドワーク準備②				FWIに向け、外国人のお客様に喜ばれる観光地を知り、日帰り旅行を企画、手配する			
11	インバウンド研究フィールドワーク		課題	40	関西のインバウンドマーケットについて学び、人気観光地を巡る			
12	クレーム対応		筆記	20	クレームについて学び、基本的な対応ができるようになる			
13	試験WEEK		なし		持ち込み：			
14	総まとめ				1年間の授業を振り返り、総復習する			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
<p>テスト： 上記に準ずる</p> <p>筆記、実技テストの追試： 基本的に講師が追試申請を確認した翌週に実施 担当講師と日程調整を行うこと</p> <p>レポートの追試： 追試申請を提出した翌週中に提出</p>					<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>		プリント	

授業計画書

学部	風	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	カウンターアドバイザー	
科目名			旅行実務			講師名	高田 雅美	
担当講師の実務経験		○	実務経歴		旅行業第1種・IATA認可店舗にて5年間勤務。 カウンター部門での接客、リテラー部門での海外ユニットツアー造成&手配、受注型旅行海外添乗経験あり。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・カウンターで海外旅行商品を販売する際に必須となる手続きを学ぶ。 ・旅行業界の基本実務知識を深く理解し、必要なお案内を想定できるようになる。 ・必要なお案内の最新情報入手できるソースを知り、ネットリテラシーを高める 					授業形態：講義 旅行契約後の実務について学びます。 <ul style="list-style-type: none"> ・座学中心 ・申請書類を作成するなど、実践的に技術を身に付ける。 ・OUT PUTできるようにする。 			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標			特記事項
			内容	点数				
1	旅行実務実務を学ぶ必要性を知る、復習				オリエンテーション・基本知識チェック			
2	旅行実務旅先の提案			20	海外安全情報・感染症基本情報顧客管理、内勤営業の手段			
3	旅行端末手配オペレーション(基礎)				実際の旅行会社の予約端末システムを使い、手配の基礎を学ぶ			
4	旅行端末手配オペレーション(応用)				実際の旅行会社の予約端末システムを使い、料金計算、手配の応用を学ぶ			
5	旅行端末手配オペレーション(発展)				ロールプレイングを通し、接客をしながらの手配を学ぶ			
6	旅行実務オプション販売			10	オプション販売等での注意点、メリットデメリットを学ぶ			
7	旅行実務海外レンタカー販売			10	海外レンタカーの手配方法業者、国際免許等の知識を学ぶ			
8	出入国上の手続き知識を学ぶ			10	諸外国の入国/出国手続査証と予防接種			
9	出入国上の手続き知識を学ぶ			10	国際航空知識LCC、途中降機と乗換案内、add on等			
10	出入国上の手続き知識を学ぶ			10	店舗での金銭授受の取扱い両替、外国通貨、支払手段等			
11	出入国上の手続き知識を学ぶ			10	日本の出国/帰国手続 旅券と免税知識			
12	出入国上の手続き知識を学ぶ			20	#REF!			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	まとめ、その他知識				マイレージカード、KIXカード、レンタルW i - f i 等			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
第2回、第6～第12回 筆記 配点は上記スケジュール参照 試験WEEK期間中は評価テストを実施しません。 追試申請書を規定通り提出した場合、追試を実施します。 原則、翌週授業時間に行いますが、個別対応しますので申し出てください。					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布プリント	

授業計画書

学部	風	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	コース選択	
科目名			レイルウェイイングリッシュ			講師名	香月 英津子	
担当講師の実務経験			○	実務 経歴	・国内航空会社に客室乗務員として6年間乗務（パーサー資格取得、客室内統括者として乗務）・大手外資企業にて4年間人事部担当・社会福祉法人にて6年間海外交流担当・大手エアライン専門学校にて6年間以上、英			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
・鉄道業界、接客業界に必要とされる英会話を身につける ・海外ゲストへの対応力、実践力をつける ・英会話に親しむ					授業形態：講義 ・前期で学んだ基礎を基に、応用編を学ぶ ・鉄道業界での場面を想定し、ロールプレイ形式を取り入れながら授業を進める			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	前期の振り返り、英語ゲーム				前期の復習とウォーミングアップ			
2	観光案内①				観光案内について学ぶ①			
3	観光案内②				観光案内について学ぶ②			
4	構内案内①		実技	20	駅構内の案内について学ぶ①			
5	構内案内②				駅構内の案内について学ぶ②			
6	切符販売業務①		筆記	20	切符販売について学ぶ①			
7	切符販売業務②				切符販売について学ぶ②			
8	案内業務①		実技	20	乗り継ぎ・時刻案内の応用を学ぶ①			
9	案内業務②				車内案内・車内改札			
10	案内業務③		実技	20	アナウンス			
11	イレギュラー対応①				忘れ物について			
12	イレギュラー対応②		実技	20	急病人について			
13	試験WEEK				試験なし			
14	総まとめ				フィードバック			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
テスト：上記スケジュール通り授業内テストにより評価 追試：実技については、基本、次週の授業内に実施。筆記については、下記参照。					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		テキストはなし。プリントを配布。	

授業計画書

学部	専 科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数		30	単位数	2	クラス	パーサー・乗務員コース	
科目名		ユニバーサルサービス			講師名	竹岡眞里子	
担当講師の実務経験		○	実務 経歴	酒類メーカーで営業・営業事務を約10年勤務後バリアフリー講師、マナー講師を14年間担当。サービス接客検定1級（優秀賞受賞）サービス介助士2級を保有。			
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方			
年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、あらゆる立場に立って、顧客満足を高めるための接客サービス（ユニバーサルサービス）のノウハウを習得する				授業形態：講義			
				高齢者、車いす使用者、視覚障がい者、聴覚障がい者への理解を深め、介助の技術やコミュニケーション方法を習得するユニバーサルサービスのスピリットを理解し、ホスピタリティの実践について考える			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標		特記事項
			内容	点数			
1	オリエンテーション ユニバーサルサービス				ユニバーサルサービスに必要な知識をもちニーズに応えられる意識と気づきをもつ		
2	高齢者・認知症がある方へのサービス		筆記 試験	25	高齢者・認知症がある方への接遇を理解する		
3	肢体に不自由を感じる方へのサービス ① ★【車いす操作演習】				肢体に不自由を感じる方を理解する		
4	肢体に不自由を感じる方へのサービス ②★【車いす操作演習】【持ち上げ】				車いす使用のお客様との接遇を理解する 車いすの持ち上げのお手伝いをする		
5	肢体に不自由を感じる方へのサービス ③ ★【車いす操作演習】【移乗】		筆記 試験	25	車いす使用のお客様との接遇を理解する 車いすへの移乗のお手伝いをする		
6	肢体に不自由を感じる方へのサービス ④★【車いす操作フィールドワーク】				校外に出て車いす使用のお客様の気持ちを理解し、接客方法を習得する		
7	視覚に不自由を感じる方へのサービス ① ★【ブラインドウォーク】				視覚に不自由を感じる方を理解する ブラインドウォークを体験し、視覚に不自由を感じる方の気持ちを理解する		
8	視覚に不自由を感じる方へのサービス ② ★【誘導方法演習】				視覚に不自由を感じる方への接遇を理解するクロックポジションを使って案内する		
9	視覚に不自由を感じる方へのサービス ③ ★【誘導方法演習】				視覚に不自由を感じる方への気持ちやお手伝いするための誘導方法を理解する		
10	視覚に不自由を感じる方へのサービス ④ 【身体障害者補助犬法】				身体障害者補助犬法を理解する		
11	聴覚に不自由を感じる方へのサービス①				聴覚に不自由を感じる方を理解する		
12	聴覚に不自由を感じる方へのサービス ② ★【コミュニケーション演習】				聴覚に不自由を感じる方とのコミュニケーション方法を理解する		
13	試験WEEK		筆記 試験	50	持ち込み：特になし		
14	お客様に応じたサービス・まとめ ★【ロールプレイ】				さまざまなお客様への接客・接遇を習得する		
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。		
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材
<授業内試験等により評価> ①10月16日 授業内筆記試験（25点） ②11月6日 授業内筆記試験（25点） ③試験WEEK 筆記試験（50点） ※追試詳細は欄外参照					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		①講師レジュメプリント 【参考文献】 ユニバーサルサービス基本テキスト

授業計画書

学部	風	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	コース選択	
科目名			レイルウェイイングリッシュ			講師名	香月 英津子	
担当講師の実務経験			○	実務 経歴	・国内航空会社に客室乗務員として6年間乗務（パーサー資格取得、客室内統括者として乗務）・大手外資企業にて4年間人事部担当・社会福祉法人にて6年間海外交流担当・大手エアライン専門学校にて6年間以上、英			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
・鉄道業界、接客業界に必要とされる英会話を身につける ・海外ゲストへの対応力、実践力をつける ・英会話に親しむ					授業形態：講義 ・前期で学んだ基礎を基に、応用編を学ぶ ・鉄道業界での場面を想定し、ロールプレイ形式を取り入れながら授業を進める			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	前期の振り返り、英語ゲーム				前期の復習とウォーミングアップ			
2	観光案内①				観光案内について学ぶ①			
3	観光案内②				観光案内について学ぶ②			
4	構内案内①		実技	20	駅構内の案内について学ぶ①			
5	構内案内②				駅構内の案内について学ぶ②			
6	切符販売業務①		筆記	20	切符販売について学ぶ①			
7	切符販売業務②				切符販売について学ぶ②			
8	案内業務①		実技	20	乗り継ぎ・時刻案内の応用を学ぶ①			
9	案内業務②				車内案内・車内改札			
10	案内業務③		実技	20	アナウンス			
11	イレギュラー対応①				忘れ物について			
12	イレギュラー対応②		実技	20	急病人について			
13	試験WEEK				試験なし			
14	総まとめ				フィードバック			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
テスト：上記スケジュール通り授業内テストにより評価 追試：実技については、基本、次週の授業内に実施。筆記については、下記参照。					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		テキストはなし。プリントを配布。	

授業計画書

学部	風	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	パーサー・乗務員コース	
科目名			ユニバーサルサービス			講師名	竹岡眞里子	
担当講師の実務経験			○	実務経歴	酒類メーカーで営業・営業事務を約10年勤務後バリアフリー講師、マナー講師を14年間担当。サービス接客検定1級（優秀賞受賞）サービス介助士2級を保有。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、あらゆる立場に立って、顧客満足を高めるための接客サービス（ユニバーサルサービス）のノウハウを習得する					授業形態：講義			
					高齢者、車いす使用者、視覚障がい者、聴覚障がい者への理解を深め、介助の技術やコミュニケーション方法を習得するユニバーサルサービスのスピリットを理解し、ホスピタリティの実践について考える			
実施回数	授業スケジュール			授業内テスト		各回の到達目標		特記事項
				内容	点数			
1	オリエンテーション ユニバーサルサービス					ユニバーサルサービスに必要な知識をもちニーズに応えられる意識と気づきをもつ		
2	高齢者・認知症がある方へのサービス			筆記試験	25	高齢者・認知症がある方への接遇を理解する		
3	肢体に不自由を感じる方へのサービス ① ★【車いす操作演習】					肢体に不自由を感じる方を理解する		
4	肢体に不自由を感じる方へのサービス ② ★【車いす操作演習】【持ち上げ】					車いす使用のお客様との接遇を理解する 車いすの持ち上げのお手伝いをする		
5	肢体に不自由を感じる方へのサービス ③ ★【車いす操作演習】【移乗】			筆記試験	25	車いす使用のお客様との接遇を理解する 車いすへの移乗のお手伝いをする		
6	肢体に不自由を感じる方へのサービス ④ ★【車いす操作フィールドワーク】					校外に出て車いす使用のお客様の気持ちを理解し、接客方法を習得する		
7	視覚に不自由を感じる方へのサービス ① ★【ブラインドウォーク】					視覚に不自由を感じる方を理解する ブラインドウォークを体験し、視覚に不自由を感じる方の気持ちを理解する		
8	視覚に不自由を感じる方へのサービス ② ★【誘導方法演習】					視覚に不自由を感じる方への接遇を理解する クロックポジションを使って案内する		
9	視覚に不自由を感じる方へのサービス ③ ★【誘導方法演習】					視覚に不自由を感じる方への気持ちやお手伝いするための誘導方法を理解する		
10	視覚に不自由を感じる方へのサービス ④ 【身体障害者補助犬法】					身体障害者補助犬法を理解する		
11	聴覚に不自由を感じる方へのサービス①					聴覚に不自由を感じる方を理解する		
12	聴覚に不自由を感じる方へのサービス ② ★【コミュニケーション演習】					聴覚に不自由を感じる方とのコミュニケーション方法を理解する		
13	試験WEEK			筆記試験	50	持ち込み：特になし		
14	お客様に応じたサービス・まとめ ★【ロールプレイ】					さまざまなお客様への接客・接遇を習得する		
15	総まとめおよび各種行事					これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。		
テスト・追試詳細						達成度評価		使用教材
<授業内試験等により評価> ①10月16日 授業内筆記試験（25点） ②11月6日 授業内筆記試験（25点） ③試験WEEK 筆記試験（50点） ※追試詳細は欄外参照						A 80点以上		①講師レジュメプリント 【参考文献】 ユニバーサルサービス基本テキスト
						B 70点以上		
C 60点以上								
D 59点以下								

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	パーサー・乗務員	
科目名			レイルウェイランゲージ			講師名	細井 美和	
担当講師の実務経歴		○	実務経歴		商社（2年8ヶ月）及び中国国営企業（1年8ヶ月）にて貿易事務に従事。半導体商社（1年8ヶ月）にて総務経理を担当。その他イベント通訳、旅行者アテンド、官公庁誌日中翻訳、中国語講師など。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
1. 中国人のお客様に案内が出来るように取り組む 2. 鉄道用語をたくさん身に付ける					授業形態：講義			
					1. 鉄道での場面を想定した単語、会話表現を繰り返し練習する。 2. 文法を正しく習得し、中国語の表現を数多く学ぶ			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	第5課 出口はどこにありますか？				駅構内の案内が出来る			
2	第3課（2）・第5課（2）				駅周辺の案内が出来る			
3	第6課（1）電車は何時に出発しますか				電車の時間の案内が出来る			
4	第6課（2）電車は何時に出発しますか				切符の予約を受け付けることが出来る			
5	テスト		筆記	20	テスト			
6	第7課 切符を買いたいです。				電車の乗り換え案内が出来る			
7	第8課（1）切符はいくらですか？				目的地までの案内が出来る			
8	第8課（2）切符はいくらですか？				金額の案内が出来る。			
9	テスト		筆記	20	テスト			
10	第9課（1）切符をなくしました				電車の待ち時間の案内が出来る			
11	第9課（2）切符をなくしました				忘れ物の対応が出来る			
12	会話テスト		実技	10	会話テスト / テストへ向けて復習			
13	試験WEEK		筆記	50	持ち込み：なし			
14	試験WEEKの振り返り				日本地図より地域の読み方を習得			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価	使用教材		
テスト詳細 第5回 筆記 20点 第9回 筆記 20点 第12回 実技 10点 試験WEEK 筆記 50点 追試詳細については講師に確認のこと （実技試験の追試は次回授業内にて行う）					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下	みんなの中国語 （鉄道編）		

授業計画書

学部	風	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	ステーションサービスコース	
科目名			鉄道基礎知識			講師名	瀬戸 一広	
担当講師の実務経験		○	実務経歴		大阪中央交通サービス株式会社（大阪・名古屋所、運転指令所それぞれの所属長を経験し、現在大阪メトロサービスのコンシェルジュ事務所長として研修等を担当）			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
鉄道に対する一般知識及び駅業務について学び、接客能力を身につける。 ①鉄道車両及び鉄道電気の一般知識を学ぶ ②運転関係の基礎知識を習得 ③鉄道の安全・防災対策 ④駅業務と駅務機器の理解 ⑤お客さま対応の基礎知識を習得					授業形態：講義 ①鉄道車両・鉄道電気についてテキストを使い理解する ②運転関係に関する理解を深める ③安全・防災対策の知識を深める ④駅業務内容及び駅務機器についての基礎的なことを学習する ⑤駅現場におけるお客さまへの対応を学ぶ			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	鉄道車両				鉄道における車両について学ぶ			
2	鉄道電気				鉄道における電気を学ぶ			
3	鉄道電気				鉄道における電気を学ぶ			
4	鉄道電気		筆記	20	鉄道における電気を学ぶ			
5	駅務機器				駅務機器の取扱いについて理解を深める			
6	乗車券関係（IC乗車券）				乗車券について学ぶ			
7	校外学習（教習センター見学）				人材養成所施設を見学する			
8	防災関係		筆記	30	鉄道に関する防災を学び、理解する			
9	駅関係業務				机上にて駅施設及び駅業務を学ぶ			
10	運転業務関係				運転業務関係の一般的なところを学ぶ			
11	休講							
12	鉄道の安全				鉄道の安全について学ぶ			
13	試験WEEK		筆記	50	持ち込み：			
14	接客・接遇について				お客さまサービスについて学ぶ			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価	使用教材		
テスト 10月24日 筆記 20点 11月28日 筆記 30点 試験WEEK 筆記 50点					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

授業計画書

学部	昼	科 コース	鉄道サービス科	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	○	
科目名			ステーションケーススタディ			講師名	JR西日本交通サービス東根 利直	
担当講師の実務経験		○	実務 経歴	JR西日本（契約社員）：大阪駅改札1年、出札4年 JR西日本交通サービス：駅勤務3年、エリア長1年、本社勤務5年（自社新入社員及びJR契約社員の営業制度・マルス講師等担当）				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
<p>営業制度の基本的部分学ぶことにより、就職後即戦力として活躍できるようにする。また遺失物や現金の取扱いを誤ると社会的信用に関わる重大な問題になることを教え込む。</p>				<p>授業形態：講義</p> <p>講師の経験談を交え、2年生は即戦力として活躍できるよう一部応用問題も加えて講義する。</p>				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	オリエンテーション・駅員の仕事				講師紹介・駅員のいろいろな仕事を学びます。			
2	出改札業務				ロープ形式で駅員の仕事を学びます。			
3	実技試験		実技	15	復習及び実技試験を実施します。			
4	鉄道地理				JRの特急列車の運行系統や、観光地への行き方を学習します。			
5	割引乗車券				いろいろな種類の割引乗車券の条件や割引率を学びます。			
6	筆記試験（小テスト）・乗車券類の効力		筆記	15	有効期間や途中下車について学びます。			
7	(FW)							
8	お客様都合による払いもどし				お客様都合での払いもどしについて学びます。			
9	筆記試験（小テスト）・運行不能による払いもどし		筆記	20	運行不能時の取扱いや、特急列車が遅れた場合の取扱いを学びます。			
10	特殊取扱い				紛失、誤乗、誤購入、無効について学びます。			
11	(FW)							
12	遺失物の取扱い・現金等事故防止				誤った取扱いをすると社会的信用に関わる重大な問題になることを学びます。			
13	試験WEEK		筆記	50	持ち込み：時刻表・電卓			
14	まとめ（振り返り）				後期のまとめをします。			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
<p>10月17日 実技試験（公欠の場合は母数減らし） 11月14日 筆記試験（公欠の場合は母数減らし） 12月5日 筆記試験（追試の場合は下記参照）</p>					<p>A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下</p>		<p>時刻表 プリント</p>	

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	ステーションサービス	
科目名			鉄道研究発表			講師名	里口 邦夫	
担当講師の実務経験		○	実務 経歴	関西の鉄道会社で6年間弱勤務。 駅員、車掌、運転士を担当する。				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道において安全の重要性を理解する ・鉄道業界で求められている人材像を考える ・大阪メトロフェスティバル11月17日(日)参加して、責任感を養う 					授業形態：講義 ①動画などを見ることによって、人間は失敗をする生き物であることを知る ②イベントには各自責任感を持って参加すること			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	オリエンテーション (グループづくり)				後期の授業紹介/イベントに向けてのグループ分け			
2	Osaka Metro イベントに向けての制作				企画立案・制作			
3	//				//			
4	//				//			
5	//				//			
6	//				//			
7	休講 (大阪メトロFW)							
8	メトロの反省・鉄道事故事例①「速度違反」		課題	30	事故の原因・対策を考える			
9	鉄道事故事例②「信号見落とし」				事故の原因・対策を考える			
10	鉄道事故事例③「ワンマン運転」				事故の原因・対策を考える			
11	フィールドワーク		課題	30				
12	鉄道事故事例④「ATS」				事故の原因・対策を考える			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	鉄道事故事例⑤「列車防護」・まとめ				事故の原因・対策を考える、2年間のまとめ			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価	使用教材		
11/28 課題 30点↑/23 課題 30点試験WEEK 筆記 40点					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	必修	専門科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	CA / GSコース	
科目名			GS実務			講師名	足立 真美	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	外資系航空会社を扱う企業でグランドスタッフとして勤務しており、採用担当や現場の責任者を務める。				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>* 国際線・国内線に対応できる基本的な知識を身に着ける。</p> <p>* カウンター業務（チェックイン業務）を習得する。</p>					<p>授業形態：講義</p> <ul style="list-style-type: none"> • 各項目、頻度の高い順に実例を挙げ、具体的に説明をする。 • 外国籍のお客様にも対応できるようポイントを抑える。 • シチュエーションを自らに置き換え、お客様の立場で質問をしてみる。 			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標			特記事項
			内容	点数				
1	2・3 Letter code *				航空会社コード・空港コード・都市コード			
2	業界用語（glossary）				業界専門用をマスターする			
3	"				"			
4	"		筆記	30	"			
5	受託手荷物の取り扱いと預かり方				機内持ち込みと受託手荷物の取り扱い。			
6	"				SPEQやその他speciality Itemの取り扱いと注意点。（AVIH / PETC など）			
7	危険品の取り扱いについて				dengarous goodsの取り扱い			
8	お手伝いが必要なお客様のHandling		筆記	30	Special Passegerとは			
9	"				DEAF / BLND / UMN / WCHなどお手伝いが必要なお客様のご案内方法			
10	"				上記以外、INAD / DEPA / DEPOなど			
11	海外渡航書類（Travel Document）とは		筆記	40	パスポート以外に海外渡航に必要な書類とはどのようなものがあるのか。			
12	"				"			
13	試験WEEK				なし			
14	REVIEW				まとめ・復習			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
* 授業内テスト 3回 * 配点 * 第4回目授業 - 30点 * 第8回目授業 - 30点 * 第11回目授業 - 40点 * 合計100点満点 ** 追試 * 追試2回終了後（場所は後日連絡）					<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>		配布プリント その他	

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	2	クラス	CA/GSコース
時間数			6	単位数	6	区分	選択 コース科目
科目名			CA実務			講師名	上田 綾子
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方			
<p>・CAとして、さまざまなお客様にさまざまな話術で話ができるようロールプレイングを主体にし、コミュニケーション能力を高める。</p> <p>・前期授業の流れを踏まえ（インフライトサービスを実際のお客様に実施する）フライトの流れを習熟する。</p>				<p>授業形態：講義</p> <p>・座学⇒ロールプレイング⇒知識の確認、の流れで知識・サービスマインドの習熟とコミュニケーション能力向上をはかる。</p> <p>・アナウンス、ミールやワインの知識、救急看護法、火災消火方法等の一般常識を身につける。</p>			
実施日 回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項	
			内容	点数			
1	10/2	オリエンテーション			CAの役割について、前期総復習		
2	10/16	コミュニケーションの基本①			接客の基本を学ぶ		
3	10/23	コミュニケーションの基本②			接客の基本を学ぶ		
4	10/30	旅客搭乗～離陸①			日英のコミュニケーション、保安知識		
5	11/6	旅客搭乗～離陸②	筆記① 2～5	10	旅客搭乗から離陸までの知識総復習		
6	11/13	旅客搭乗～離陸③			旅客搭乗から離陸までをケーススタディを挟みながらロールプレイングを行う		
7	11/20	巡行中①	実技 2～6	15	巡行中の保安業務		
8	11/27	巡行中②			ドリンクサービスの知識		
9	12/4	巡行中③			ミールの知識		
10	1/15	巡行中④			免税品・入国書類の知識		
11	1/22	離陸後～巡行中のロールプレイング	筆記② 7～10	10	離陸～巡行中をケーススタディを挟みながら実施する		
12	1/29	降下～旅客降機	実技 7～11	15	降下～旅客降機までをロールプレイングを通して学ぶ		
13		試験WEEK		50	持ち込み：なし		
14	2/12	まとめ			総復習、質疑応答		
テスト・追試詳細					度評価	使用教材	
<p>下記日程の追試は母数減らし対応</p> <p>11/20 実技</p> <p>1/29 実技</p>					<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>	<p>配布プリント</p>	

☆追試の流れ☆

- ①追試受験資格者については、学生便覧を確認してください。
- ②欠席に伴う書類(欠席・公欠届/延着証明書/貴社訪問証明書)を学生カウンターに提出する。
※提出期日:欠席最終日翌日より3日以内(土日祝除く)
※筆記試験・実技試験・課題提出・母数減らし・チーム点評価、全てにおいて上記の書類提出が必要。
- ③提出した書類の承認後、撮影をし担当講師に提示し、追試日を確認する。
- ④追試を受験する。

※試験WEEK内の追試(筆記・課題)については、試験WEEK期間内に実施をする。(詳細は後日案内)

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	必修	専門科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	CA / GSコース	
科目名			GS実務			講師名	足立 真美	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	外資系航空会社を扱う企業でグランドスタッフとして勤務しており、採用担当や現場の責任者を務める。				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>* 国際線・国内線に対応できる基本的な知識を身に着ける。</p> <p>* カウンター業務（チェックイン業務）を習得する。</p>					<p>授業形態：講義</p> <ul style="list-style-type: none"> • 各項目、頻度の高い順に実例を挙げ、具体的に説明をする。 • 外国籍のお客様にも対応できるようポイントを抑える。 • シチュエーションを自らに置き換え、お客様の立場で質問をしてみる。 			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標			特記事項
			内容	点数				
1		2・3 Letter code *			航空会社コード・空港コード・都市コード			
2		業界用語（glossary）			業界専門用語をマスターする			
3		”			”			
4		”	筆記	30	”			
5		受託手荷物の取り扱いと預かり方			機内持ち込みと受託手荷物の取り扱い。			
6		”			SPEQやその他speciality Itemの取り扱いと注意点。（AVIH / PETC など）			
7		危険品の取り扱いについて			dengarous goodsの取り扱い			
8		お手伝いが必要なお客様のHandling	筆記	30	Special Passegerとは			
9		”			DEAF / BLND / UMNR / WCHなどお手伝いが必要なお客様のご案内方法			
10		”			上記以外、INAD / DEPA / DEPOなど			
11		海外渡航書類（Travel Document）とは	筆記	40	パスポート以外に海外渡航に必要な書類とはどのようなものがあるのか。			
12		”			”			
13		試験WEEK			なし			
14		REVIEW			まとめ・復習			
15		総まとめおよび各種行事			これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
* 授業内テスト 3回 * 配点 * 第4回目授業 - 30点 * 第8回目授業 - 30点 * 第11回目授業 - 40点 * 合計100点満点 ** 追試 * 追試2回終了後（場所は後日連絡）					<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>		<p>配布プリント その他</p>	

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	CA/GS	
科目名			マナープロトコル検定対策			講師名	南口 生美	
担当講師の 実務経験		○		実務 経歴	国際空港にて12年間、旅客への様々な案内・接客業務を担当、ホテル予約等の旅行代理店業務にも携わる。併せて新卒者をはじめとする社員教育も担当。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
1. 社会人として必須のマナーやプロトコル（国際儀礼）に関わる知識と技能だけでなく、日本の伝統文化やそれに基づく冠婚葬祭のしきたり、マナーを理解し身につける。 2. マナープロトコル検定3級（もしくは2級）合格を目指す。					授業形態：講義 ・テキスト『マナー&プロトコルの基礎知識』に沿ってポイントを確認し、過去問題を解きながら知識を定着させる。 ・特に国際交流に必要な日本の伝統文化やしきたりについて背景から理解し、マナーを身につける。			
実施回数	授業スケジュール			授業内テスト		各回の到達目標		特記事項
			内容	点数				
1	授業のオリエンテーション マナーとは / マナーの歴史と意味					検定の概要、取得のメリットを知る 序章・第1章を理解し対策問題を解く		
2	国際人としてのプロトコル					第2章を理解し、対策問題を解く		
3	外国人の関心が高い日本の伝統文化①			筆記①	15	日本の伝統芸能(能、狂言、歌舞伎等)を理解し、映像から学ぶ		DVD
4	外国人の関心が高い日本の伝統文化②					映像を通して茶道について理解する 和室のマナーを身につける		DVD
5	和食のマナー			課題	15	第5章のうち和食のマナーを理解する 箸や器、懐紙の使い方を演習する		
6	西洋料理、中国・各国料理のマナー					第5章のうち西洋料理、中国料理、各国料理のマナーを理解する		
7	贈答のマナー			筆記②	15	第3章のうち贈答のマナーを理解する 祝儀袋、不祝儀袋の作法を身につける		
8	「冠」のしきたり					第7章を理解し、対策問題を解く		
9	「婚」のしきたり					第8章を理解し、対策問題を解く		
10	「葬」のしきたり			筆記③	15	第9章を理解し、対策問題を解く		
11	「祭」のしきたり					第10章を理解し、対策問題を解く		
12	検定対策					これまでの復習 直前対策 過去問題を解く		
13	試験WEEK			筆記④	40	1/0		
14	お酒のマナー 振り返り					第6章を理解する 授業のまとめ		
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
【授業内テスト等】 ・10月23日 授業内筆記テスト①（15点） ・11月 6日 課題（15点） ・11月20日 授業内筆記テスト②（15点） ・1月15日 授業内筆記テスト③（15点） ・試験week 筆記テスト④（40点） 【追試詳細】 ・筆記①②③ … 担当講師に追試日を確認すること ・課題 … 翌週授業にて提出 ・筆記④ … 試験WEEK内に追試日を設定					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		「マナー&プロトコルの基礎知識」 「マナープロトコル検定2級3級問題集」	

授業計画書

学部	風	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			90	単位数	6	クラス	CA/GSコース	
科目名			CA実務			講師名	上田 綾子	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	航空会社にて国内線および国際線の客室乗務員として12年間勤務。その後自宅にて英語教室を10年間運営。				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
<ul style="list-style-type: none"> ・CAとして、さまざまなお客様にさまざまな話術で話ができるようロールプレイングを主体にし、コミュニケーション能力を高める。 ・前期授業の流れを踏まえ（インフライトサービスを実際のお客様に実施する）フライトの流れを習熟する。 				授業形態：講義 <ul style="list-style-type: none"> ・座学⇒ロールプレイング⇒知識の確認、の流れで知識・サービスマインドの習熟とコミュニケーション能力向上をはかる。 ・アナウンス、ミールやワインの知識、救急看護法、火災消火方法等の一般常識を身につける。 				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	オリエンテーション				CAの役割について、前期総復習			
2	コミュニケーションの基本①				接客の基本を学ぶ			
3	コミュニケーションの基本②				接客の基本を学ぶ			
4	旅客搭乗～離陸①				日英のコミュニケーション、保安知識			
5	旅客搭乗～離陸②		筆記① 2～5	10	旅客搭乗から離陸までの知識総復習			
6	旅客搭乗～離陸③				旅客搭乗から離陸までをケーススタディを挟みながらロールプレイングを行う			
7	巡行中①		実技 2～6	15	巡行中の保安業務			
8	巡行中②				ドリンクサービスの知識			
9	巡行中③				ミールの知識			
10	巡行中④				免税品・入国書類の知識			
11	離陸後～巡行中のロールプレイング		筆記② 7～10	10	離陸～巡行中をケーススタディを挟みながら実施する			
12	降下～旅客降機		実技 7～11	15	降下～旅客降機までをロールプレイングを通して学ぶ			
13	試験WEEK			50	持ち込み：なし			
14	まとめ				総復習、質疑応答			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価	使用教材		
下記日程の追試は母数減らし対応 11/20 実技 1/29 実技					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下	配布プリント		

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	CA/GS	
科目名			マナープロトコル検定対策			講師名	南口 生美	
担当講師の 実務経験		○		実務 経歴	国際空港にて12年間、旅客への様々な案内・接客業務を担当、ホテル予約等の旅行代理店業務にも携わる。併せて新卒者をはじめとする社員教育も担当。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
1. 社会人として必須のマナーやプロトコル（国際儀礼）に関わる知識と技能だけでなく、日本の伝統文化やそれに基づく冠婚葬祭のしきたり、マナーを理解し身につける。 2. マナープロトコル検定3級（もしくは2級）合格を目指す。					授業形態：講義 ・テキスト『マナー&プロトコルの基礎知識』に沿ってポイントを確認し、過去問題を解きながら知識を定着させる。 ・特に国際交流に必要な日本の伝統文化やしきたりについて背景から理解し、マナーを身につける。			
実施回数	授業スケジュール			授業内テスト		各回の到達目標		特記事項
			内容	点数				
1	授業のオリエンテーション マナーとは / マナーの歴史と意味					検定の概要、取得のメリットを知る 序章・第1章を理解し対策問題を解く		
2	国際人としてのプロトコル					第2章を理解し、対策問題を解く		
3	外国人の関心が高い日本の伝統文化①			筆記①	15	日本の伝統芸能(能、狂言、歌舞伎等)を理解し、映像から学ぶ		DVD
4	外国人の関心が高い日本の伝統文化②					映像を通して茶道について理解する 和室のマナーを身につける		DVD
5	和食のマナー			課題	15	第5章のうち和食のマナーを理解する 箸や器、懐紙の使い方を演習する		
6	西洋料理、中国・各国料理のマナー					第5章のうち西洋料理、中国料理、各国料理のマナーを理解する		
7	贈答のマナー			筆記②	15	第3章のうち贈答のマナーを理解する 祝儀袋、不祝儀袋の作法を身につける		
8	「冠」のしきたり					第7章を理解し、対策問題を解く		
9	「婚」のしきたり					第8章を理解し、対策問題を解く		
10	「葬」のしきたり			筆記③	15	第9章を理解し、対策問題を解く		
11	「祭」のしきたり					第10章を理解し、対策問題を解く		
12	検定対策					これまでの復習 直前対策 過去問題を解く		
13	試験WEEK			筆記④	40	1/0		
14	お酒のマナー 振り返り					第6章を理解する 授業のまとめ		
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
【授業内テスト等】 ・10月23日 授業内筆記テスト①（15点） ・11月 6日 課題（15点） ・11月20日 授業内筆記テスト②（15点） ・1月15日 授業内筆記テスト③（15点） ・試験week 筆記テスト④（40点） 【追試詳細】 ・筆記①②③ … 担当講師に追試日を確認すること ・課題 … 翌週授業にて提出 ・筆記④ … 試験WEEK内に追試日を設定					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		「マナー&プロトコルの基礎知識」 「マナープロトコル検定2級3級問題集」	

授業計画書

学部	屋	科 コー フ	海外キャリア	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			30	単位数	2	クラス		
科目名			Presentation Practice			講師名	谷 良子	
担当講師の実務経験			○	実務 経歴	英語講師・通訳案内士として6年以上勤務中			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・日本の文化習慣を理解し、外国のゲストに紹介説明できる力をつける。 ・外国人をもてなすプランを企画・実践する力をつける。 ・魅力ある企画を効果的にプレゼンテーションできる力をつける。 					授業形態：講義 <ul style="list-style-type: none"> ・日本文化を中心に学び、正しく理解するとともに、日本の文化習慣を英語で伝えられるようにしていく。 ・情報を収集し、創造力を持ってプランを企画していく。 ・外国人向けのtripを実施するなかで、英語で基礎的なガイドができるようにする。 			
実施回数	授業スケジュール	授業内テスト		各回の到達目標	特記事項			
		内容	点数					
1	オリエンテーション			シラバス及びツアー（実技）の説明				
2	ツアープランのプレゼン準備①			日本を知る				
3	ツアープランのプレゼン準備②			奈良を知る				
4	ツアープランのプレゼン準備③	課題	10	ツアーのプランニング				
5	ツアープランのプレゼンテーション			ツアーのプランニング				
6	ツアーガイドのための知識と準備(1)			パワーポイント作成(英語) 発表(英語)の準備				
7	プレゼンテーション発表(英語)	実技	10	発表(英語)				
8	ツアーガイドのための知識と準備(1)	課題	10	実際のガイディングのための準備				
9	ツアーガイドのための知識と準備(2)			実際のガイディングのための準備				
10	ツアーガイドのための知識と準備(3)	課題	10	実際のガイディングのための準備				
11	ツアー直前チェック			実際のガイディングのための準備				
12	ガイド体験一日ツアー	実技	30	注：日曜日実施 フィールドワーク	学外			
13	試験WEEK			持ち込み：否				
14	学習のまとめ							
15	総まとめおよび各種行事			これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。				
テスト・追試詳細					達成度評価	使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

授業計画書

学部	昼	科 コース	全科	年次	2	区分	0	0
総時間数		30		単位数	2	クラス	海外キャリアコース	
科目名			Business English			講師名	Mark B	
担当講師の実務経験		○		実務経歴	英会話スクールにて、学生・社会人対象に英会話教授			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
To help students develop essential English skills by engaging in a wide range of communicative practice and useful tourism industry-based lessons.					授業形態：講義 Each lesson presents an opportunity for students to practice their listening, reading, and speaking skills while learning relevant vocabulary and useful grammar rules.			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	Introductions				Introductions, Rules etc...			
2	Unit 6A				Food and Drink Vocabulary Building			
3	Unit 6B				Meeting Customers Needs			
4	Unit 7A		Written	20	Planning itineraries			
5	Unit 7B +Test 1				Structuring a Presentation			
6	Unit 8A				Air Travel			
7	Unit 8B				Dealing with Difficult Passengers			
8	Unit 9A +Test 2		Written	30	Hotel Operations: checking progress			
9	Unit 9B				Checking Out			
10	Unit 10A				Meetings: assigning roles			
11	Unit 10B				Negotiating			
12	Review				Review for Final Test			
13	試験WEEK		Written	50	持ち込み：			
14	No Class				No Class			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価	使用教材		
10/24 Written 20 11/28 Written 30 試験Week Written 50					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下	English for International Tourism		

授業計画書

学部	昼	科 コース	海外キャリア	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			30	単位数	2	クラス		
科目名			時事英語			講師名	細井利枝子	
担当講師の実務経験		○	実務経験	英会話スクール、塾などで英語講師として英語教授に携わっている				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
留学中に習得した英語力に更なる磨きをかける。また、時事英語を通じて世界情勢、歴史などの知識を増強する。					授業形態：講義 プリント教材を中心に授業を展開する。既習箇所の単語の復習テストを行い合計点で評価する。毎回最新の英語ニュースを精読する。			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	Tying the Not				最新のニュースとその背景を探る			
2	Undokai		筆記	15	最新のニュースとその背景を探る			
3	School Lunch				最新のニュースとその背景を探る			
4	National Holidays		筆記	15	最新のニュースとその背景を探る			
5	World Heritage				最新のニュースとその背景を探る			
6	Hot springs in Japan		筆記	15	最新のニュースとその背景を探る			
7	Wagyu				最新のニュースとその背景を探る			
8	Influenza		筆記	15	最新のニュースとその背景を探る			
9	Anime				最新のニュースとその背景を探る			
10	Diet Craze		筆記	15	最新のニュースとその背景を探る			
11	Hot springs in Japan				最新のニュースとその背景を探る			
12	Ramen		筆記	25	後期授業を振り返り、総復習する			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14								
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価	使用教材		
最終テスト以外は、母数減らして評価する。最終テストを受験できない場合は、所定の手続きを行い追試を受けること。					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下	プリント教材		

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	国際コミュニケーション	
科目名			韓国語			講師名	河憲民	
担当講師の実務経験		○	実務 経歴	専門学校・韓国語教室・ハングル学校・民団などで5年間、日本人と在日韓国人を対象に韓国語講師として勤務。				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
韓国語の文字である「ハングル」を習得し、日常生活に必要な簡単な会話を身につける。また韓国文化を楽しむ。具体的には、以下の通りである。 ①ハングルの子音母音を学んで、単語や文章の読み書きができる。 ②韓国語で日常生活に必要な簡単な会話ができる。					授業形態：講義 韓国語を初めて学ぶ人のための入門講座2番目である。文字は、会話やテキストを活用して学習する。4つの技能（読む・聞く・書く・話す）を用いてコミュニケーション能力を向上し、ペア・ワーク、グループワークを取り入れ、実践力を身につける。			
実施回数	授業スケジュール	授業内テスト		各回の到達目標	特記事項			
		内容	点数					
1	ハングル1課・2課・会話表現復習			1課・2課の読み書きができて、会話表現が言える。				
2	ハングル3課・会話表現復習	筆	10	3課の読み書きができて、会話表現が言える。				
3	ハングル4課(1)			4課(1)の読み書きができる。				
4	ハングル4課(1)・数字②			4課(1)の読み書きができて、数字を数えることができる。				
5	ハングル4課(2)・会話(買い物)	筆	15	4課(2)の読み書きができて、買い物の会話ができる。				
6	ハングル4課(2)・身体			4課(2)の読み書きができて、身体部位名が言える。				
7	ハングル1課～4課総復習	筆	15	ハングル1課～4課の読み書きができる。				
8	ハングル読み書き・会話(位置)			物の位置が説明できる。				
9	ハングル読み書き・会話(場所)			場所を聞いたり説明することができる。				
10	位置、場所表現の復習	実	10	位置、場所表現を実践で活用できる。				
11	ハングル読み書き・動詞表現			動詞を使った会話ができる。				
12	ハングル読み書き・頻度副詞			頻度副詞が活用できる。				
13	試験WEEK	筆	50	持ち込み：なし				
14	総復習			今までの学習内容が全て理解・活用できる。				
15	総まとめおよび各種行事			これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。				
テスト・追試詳細					達成度評価	使用教材		
10/16 筆記 配点10 11/6 筆記 配点15 11/20 筆記 配点15 1/15 実技 配点10 授業内試験の追試は、担当講師が実施 必ず欠席が確認できるものを提示すること。					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下	「開かれた韓国語」入門 夏雨出版		
試験WEEK 筆記 配点50 試験WEEKの追試は、試験WEEK期間内に学校側で実施								

授業計画書

学部	昼	科 コース	全科	年次	2	区分	0	0
総時間数			30	単位数	2	クラス		
科目名			PRACTICAL ENGLISH			講師名	MIRASOL	
担当講師の実務経験			○	実務 経歴	10年に渡り英語教育に携わっている			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
By the end of this course, students will be able to communicate more fluently in English so they can give opinions, make requests and talk freely in a casual setting.					授業形態：講義 Each lesson presents an opportunity for the students to practice their listening, reading, reasoning and speaking skills.			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	COURSE OVERVIEW				Course outline, class style			
2	UNIT 7				Politeness			
3	UNIT 7				Politeness			
4	UNIT 8				Communication Styles			
5	UNIT 8/FIRST TEST		30	Written	Communication Styles			
6	UNIT 9				Gender and Culture			
7	UNIT 9				Gender and Culture			
8	UNIT 10				Diversity			
9	UNIT 10/SECOND TEST		30	Written	Diversity			
10	UNIT 11				Social Change			
11	UNIT 11				Social Change			
12	UNIT 12				Global Community			
13	試験WEEK		40	Written	持ち込み：			
14	COURSE WRAP UP				Course review			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
11/6 Written 30 points 12/4 Written 30 points 試験WEEK Written 40 points					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		IDENTITY Oxford	

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	国際コミュニケーション	
科目名			中国語			講師名	須磨みのり	
担当講師の実務経験		○	実務 経歴	中国に5年間滞在。帰国後中国語法廷通訳・コミュニティー通訳・医療通訳等15年以上。企業法人研修、通訳養成学校、カルチャースクール等にて中国語講師10年以上。教材作成も手掛ける。				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
1. 中国語の発音を正しく身に付ける。 2. 基本的な文法を身に付け、単語を入れ替えるだけでたくさんの場面で会話ができるようにする。 3. 中国人のお客様と自信を持って会話ができるようにする。					授業形態：講義 ・新しい内容を授業内に覚えられるように繰り返し練習する ・発音を正しく繰り返し練習する ・職場で使える会話をたくさん練習する。			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	第六課 月日 曜日の言い方				数字の復習			
2	第七課 この服はいくらですか？				お金の言い方を身につける。			
3	第八課 このパソコンは高いですか？				形容詞の表現を身につける。			
4	第九課 トイレはどこにありますか？		筆記	20	場所をたずねる 道案内			
5	第十課 私は中国へ行きたいです				願望を表す文法「～したい」			
6	第十一課 ごはんを食べましたか？				動作の完了の言い方			
7	第十二課 彼女に会ったことがあります				経験を表す。「～したことがある」			
8	第十三課 私は泳げます				「～できる」の使い方			
9	第十四課 家まで車で10分です。		筆記	20	距離 道案内			
10	第十五課 あなたのパソコンは私より				比較の使い方			
11	第十六課 私は洗濯をしています。				動作の進行を伝える表現			
12	復習		実技	10	総まとめ			
13	試験WEEK		筆記	50	持ち込み：なし			
14	地名や施設、挨拶ほか				習った内容の総まとめ			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
【テスト】 1) 10月24日 筆記 20点 2) 12月5日 筆記 20点 3) 1月30日 実技 10点 4) 試験WEEK内 筆記 50点 【追試】 10月24日と12月5日については相談の上決定。 実技は次回の授業内。試験WEEK追試は期間内にて追試を行う。					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		みんなの中国語	

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	2	クラス	ウエディングプランナー	
時間数			2	単位数	6	区分	選択	コース科目
科目名			フォトコンテスト			講師名	古内 美沙	
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>◆コンセプトウエディングの具現化。 新郎新婦様のご希望を取り入れたコンセプトを考え、企画・アイデアをカタチにし空間（シーン）を創り上げる。</p> <p>◆フォトコンテスト実施 試験WEEK期間に投票を行い優秀作品選出</p>					<p>授業形態：講義</p> <p>◆グループに分かれお客様の情報シートからコンセプトを導き出す。</p> <p>◆グループワークにて企画・アイデアを考えカタチにする</p>			
実施日 回数	授業スケジュール			授業内テスト		各回の到達目標		特記 事項
				内容	点数			
1	10/2	シラバス説明・前期コンセプトおさらい				授業内容・目標の理解。前期コンセプトの復習		
2	10/16	コンセプトシートの構成考案				企画内容の考察		
3	10/23	コンセプトシートの作成				コンセプトシートの作成		
4	10/30	コンセプトシートの作成		課題①	15	コンセプトシートの作成⇒提出		
5	11/6	空間イメージ資料作成		課題②	15	空間イメージ（装飾・メイク・衣装）資料提出		
6	11/13	準備				各チーム準備		
7	11/20	準備				各チーム準備		
8	11/27	撮影リハーサル		実技①	15	最終仕上がりのイメージを行う		
9	12/4	準備				リハーサルでの課題・補足点の修正		
10	1/15	準備				最終準備		
11	1/22	撮影本番		実技②	15	コンテスト作品撮影		
12	1/29	作品加工・作成・提出		課題③	20	コンテスト作品提出		
13		試験WEEK		なし		実施なし		
14	2/12	授業まとめ		課題④	20	授業ふりかえり		
テスト・追試詳細					得評価		使用教材	
追試申請 提出要							配布プリント	
課題①～③⇒チーム点評価 課題④⇒後期内提出 実技⇒全て母数減らし					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

☆追試の流れ☆

- ①追試受験資格者については、学生便覧を確認してください。
- ②欠席に伴う書類（欠席・公欠届/延着証明書/貴社訪問証明書）を学生カウンターに提出する。
※提出期日：欠席最終日翌日より3日以内（土日祝除く）
※筆記試験・実技試験・課題提出・母数減らし・チーム点評価、全てにおいて上記の書類提出が必要。
- ③提出した書類の承認後、撮影をし担当講師に提示し、追試日を確認する。
- ④追試を受験する。

※試験WEEK内の追試（筆記・課題）については、試験WEEK期間内に実施をする。（詳細は後日案内）

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	2	クラス	ウエディングプランナー
時間数			2	単位数	6	区分	選択 コース科目
科目名			フォトコンテスト			講師名	小林 太陽
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方			
<p>◆コンセプトウエディングの具現化。 新郎新婦様のご希望を取り入れたコンセプトを考え、企画・アイデアをカタチにし空間（シーン）を創り上げる。</p> <p>◆フォトコンテスト実施 試験WEEK期間に投票を行い優秀作品選出</p>				<p>授業形態：講義</p> <p>◆グループに分かれお客様の情報シートからコンセプトを導き出す。</p> <p>◆グループワークにて企画・アイデアを考えカタチにする</p>			
実施日 回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項	
			内容	点数			
1	10/3	シラバス説明・前期コンセプトおさらい			授業内容・目標の理解。前期コンセプトの復習		
2	10/10	コンセプトシートの構成考案			企画内容の考察		
3	10/17	コンセプトシートの作成			コンセプトシートの作成		
4	10/24	コンセプトシートの作成	課題①	15	コンセプトシートの作成⇒提出		
5	11/7	空間イメージ資料作成	課題②	15	空間イメージ（装飾・メイク・衣装）資料提出		
6	11/14	準備			各チーム準備		
7	11/21	準備			各チーム準備		
8	11/28	撮影リハーサル	実技①	15	最終仕上がりのイメージを行う		
9	12/5	準備			リハーサルでの課題・補足点の修正		
10	1/16	準備			最終準備		
11	1/23	撮影本番	実技②	15	コンテスト作品撮影		
12	1/30	作品加工・作成・提出	課題③	20	コンテスト作品提出		
13		試験WEEK	なし		実施なし		
14	2/13	授業まとめ	課題④	20	授業ふりかえり		
テスト・追試詳細					母評価	使用教材	
<p>追試申請 提出要</p> <p>課題①～③⇒チーム点評価 課題④⇒後期内提出 実技⇒全て母数減らし</p>					<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>	配布プリント	

☆追試の流れ☆

- ①追試受験資格者については、学生便覧を確認してください。
- ②欠席に伴う書類（欠席・公欠届/延着証明書/貴社訪問証明書）を学生カウンターに提出する。
 ※提出期日：欠席最終日翌日より3日以内（土日祝除く）
 ※筆記試験・実技試験・課題提出・母数減らし・チーム点評価、全てにおいて上記の書類提出が必要。
- ③提出した書類の承認後、撮影をし担当講師に提示し、追試日を確認する。
- ④追試を受験する。

※試験WEEK内の追試（筆記・課題）については、試験WEEK期間内に実施をする。（詳細は後日案内）

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			30	単位数	6	クラス	ウエディングプランナー	
科目名			フォトコンテスト			講師名	小林 太陽	
担当講師の実務経験		○	実務経験	ウエディングーとして6年間勤務。新規・打合せ・施工一貫し業務を遂行。				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
<p>◆コンセプトウエディングの具現化。 新郎新婦様のご希望を取り入れたコンセプトを考え、企画・アイデアをカタチにし空間（シーン）を創り上げる。 ◆フォトコンテスト実施 試験WEEK期間に投票を行い優秀作品選出</p>				<p>授業形態：講義</p> <p>◆グループに分かれお客様の情報シートからコンセプトを導き出す。 ◆グループワークにて企画・アイデアを考えカタチにする</p>				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標			特記事項
			内容	点数				
1	シラバス説明・前期コンセプトおさらい				授業内容・目標の理解。前期コンセプトの復習			
2	コンセプトシートの構成考案				企画内容の考察			
3	コンセプトシートの作成				コンセプトシートの作成			
4	コンセプトシートの作成		課題①	15	コンセプトシートの作成⇒提出			
5	空間イメージ資料作成		課題②	15	空間イメージ（装飾・メイク・衣装）資料提出			
6	準備				各チーム準備			
7	準備				各チーム準備			
8	撮影リハーサル		実技①	15	最終仕上がりのイメージを行う			
9	準備				リハーサルでの課題・補足点の修正			
10	準備				最終準備			
11	撮影本番		実技②	15	コンテスト作品撮影			
12	作品加工・作成・提出		課題③	20	コンテスト作品提出			
13	試験WEEK				実施なし			
14	授業まとめ		課題④	20	授業ふりかえり			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
追試申請 提出要							配布プリント	
課題①～③⇒チーム点評価 課題④⇒後期内提出 実技⇒全て母数減らし					<p style="text-align: center;">A 80点以上</p> <p style="text-align: center;">B 70点以上</p> <p style="text-align: center;">C 60点以上</p> <p style="text-align: center;">D 59点以下</p>			

授業計画書

学部	風	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			60	単位数	6	クラス	ウエディングプランナー	
科目名			プライダル発表会			講師名	古内 美沙	
担当講師の実務経験			○	実務経歴	婚礼施設にてウエディングプランナーとして9年間の勤務。新規、打合せ、施行を担当し、また社員教育や販促にも携わる。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
2年間の集大成として、プライダル発表会を成功させる 【中間報告】 11/13 (水) 授業内 【学内選考オーディション】 試験WEEK (2/4予定) 場所・時間未定 【プライダル発表会】 2/10 (水) 終日 @NOVEL SHINSAIBASHI					授業形態：講義 ・企画、提案力を身につける ・チームでの仕事の進め方、問題解決能力を養う ・現場での対応力を養う			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	シラバス説明・グループ分け				授業説明・グループ分け・課題説明			
2	グループワーク				グループの方向性の確認・共有			
3	グループワーク				ゴールイメージをグループで共有			
4	企画書準備				企画内容を固める			
5	企画書提出		G課題①	15	企画書提出			
6	中間発表		実技①	15	グループ毎に発表			
7	中間発表振り返り		G課題②	20	中間発表の結果の振り返り			
8	準備 (パワーポイント制作)				準備作業			
9	準備 (パワーポイント制作)							
10	準備 (プレゼンテーション)							
11	準備 (プレゼンテーション)							
12	オーディションリハーサル				最終チェック・準備			
13	試験WEEK		実技②	30	2/4 (火) 学内オーディション予定			
14	休講 2/10 振替		実技③	20	2/10プライダル発表参加 (実技③)			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
追試関連書類の提出必須 G課題①②→チーム点を加算 実技①②③→チーム点を加算					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		プリント配布	

授業計画書

学部	昼	科 コース	ブライダル	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			90	単位数	3	クラス	ドレスコーディネーターコース	
科目名			ドレスコーディネーターコース			講師名	吉田 美香	
担当講師の実務経験			○	実務 経歴	ドレスコーディネーターとして4年間勤務。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ●クラスをひとつのチームとして、各担当者ごとに責任を持ってコスチュームを中心としたスタイリングショーを行う。(2/21ブライダル発表会にて) ●小物、ドレスの製作や演出内容を学生が考えることにより、企画担当者やデザイナーの気持ちを理解する機会になる。 ●限られた予算、時間、環境の中でいかに段取り良く取り組めるかが課題となる 					授業形態：講義 <ul style="list-style-type: none"> ●限られた時間の中でいかに自分の存在やセンスを発揮できるかがカギとなる。 ●個人に役割が振り当てられ、チーム作業だけでなく自分の担当の役割に責任感を持った行動が取れているか、また表立った評価だけでなく、各個人が真摯に取り組んでいるかどうかを評価できるよう、課題としてレポート作成を提出する評価方法を取り入れている。 			
実施日 回数	授業スケジュール			授業内テスト		各回の到達目標		特記 事項
			内容	点数				
1	授業説明 卒業制作企画①					後期授業説明 パンフレット作成のテーマを立案する ①		
2	卒業制作企画②、撮影①					パンフレット作成のテーマを立案する ② 企画に合わせたパンフレット撮影①		
3	卒業制作撮影②					企画に合わせたパンフレット撮影		
4	卒業制作まとめ					パンフレット撮影の仕上げ		
5	接客実務			課題	25	ドレス政策に必要な裁縫技術を学ぶ		
6	スタイリングショー企画					ショー内容の立案		
7	スタイリングショー企画・ドレス製作1			課題	20	ドレス制作を行う		
8	ドレス製作2					ドレス制作を行う		
9	ドレス製作3					音楽・構成・キャプションを決める		
10	ドレス製作4			課題	15	ドレス制作、ドレスに合わせたヘアメイクを考える		
11	ウォーキングリハーサル ドレス製作5			課題	15	①②ドレス制作まとめ③ウォーキング 授業		
12	リハーサル					支度～発表まで一連の動作を確認する		
13	スタイリングショー（試験WEEK）					1/0		
14	振り返り 片付け					スタイリングショー振り返り		
15	総まとめおよび各種行事					これまでの総復習および就職セミナー 等各種行事の準備を行う。		
テスト・追試詳細						達成度評価		使用教材
11月7日：課題提出(25点) ⇒サンプル、データ提出 11月21日：課題提出(20点) ⇒ショー企画提出 1月16日：課題提出(15点) ⇒音楽・キャプション提出 1月23日：課題提出(15点) ⇒演出企画提出 2月10日：当日店(25点) ⇒当日出席、振り返りレポート 【追試】課題は翌週提出						A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		なし

授業計画書

学部	風	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			90	単位数	6	クラス	ブライダルビューティーアドバイザー	
科目名			ヘアメイクⅡ/ネイルⅡ			講師名	稲葉/金光	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴	稲葉：ヘアメイクアーティスト 21年、ヘアメイク事務所経営 16年 トータルビューティサロン経営 14年、“美”コンシェルジュ 6年 金光：1998年にアメリカに渡りメイクネイルの資格取得。 全日本BD協会ブライダルプロデューサー、日本ネイリスト協会認定講師。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
【ネイル】 ・ネイル検定取得 ・ブライダルネイルの知識 ・技術の取得 ・セルフビューティーについて学ぶ 【ヘアメイク】 ・お客様のご希望に応じたヘアメイクができる ・時間内にヘアメイクを綺麗に仕上げられる					授業形態：講義 【稲葉(ヘアメイク)】人気のブライダルヘアメイクを学ぶ カウンセリング力を身に付ける。 【金光(ネイル)】検定内容に沿っての学科、技術の説明。 サロンでの人気のアートや基本のケア。 セルフプロデュースや面接時の身だしなみネイルについて説明。			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	花嫁ヘア①ルーズ系、花嫁メイク(洋装)				人気のヘアスタイルが作れる 洋装花嫁メイクを身に付ける	(ア)中田		
2	花嫁ヘアメイク(洋装)、ボディージュエリー		実技	25	洋装花嫁を60分で作り上げる	(ア)中田		
3	花嫁ヘア②和ヘア、和装花嫁メイク(水化粧)				和装花嫁ヘアを身に付ける 水化粧テクニックを身に付ける	(ア)中田		
4	撮影実習準備・練習①				撮影実習の準備・練習	(ア)中田		
5	撮影実習準備・練習②				撮影実習の準備・練習	(ア)中田		
6	撮影実習		実技	25	2人1組で作品を作り撮影	(ア)中田		
7	展示準備/まとめ				作品展示準備/道具のお手入れ	(ア)中田		
8	オリエンテーション・ジェルネイルデモ				授業の進め方・内容理解、前期の復習	(ア)村上		
9	ジェルネイルベース・クリア		実技	20	ジェルネイルの扱い方、使用方法	(ア)村上		
10	ジェルネイルアート①		実技	20	カラージェル、アート技術取得	(ア)村上		
11	ジェルネイルアートブライダル		実技	30	FALSE	(ア)村上		
12	ジェルネイルアート作品作成		課題	30	作品作成	(ア)村上		
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	ジェルネイルアート作品作成				作品作成	(ア)村上		
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価	使用教材		
【追試日程(ヘアメイクⅡ)】 ①10月16日(実技)→10月23日実施 ②11月13日(実技)→11月20日実施 【追試日程(ネイルⅡ)】 ①12月4日(実技)→1月15日実施 ②1月25日(実技)→1月22日実施 ③1月22日(実技)→1月29日実施 ④1月29日(課題)→2月12日提出					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下	・ネイル道具 ・配布プリント		

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	宿泊スタッフ	
科目名			中国語			講師名	須磨みのり	
担当講師の実務経歴		○	実務経歴	中国に5年間滞在。帰国後中国語法廷通訳・コミュニティー通訳・医療通訳等15年以上。企業法人研修、通訳養成学校、カルチャースクール等にて中国語講師10年以上。				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
1. 中国語の発音を正しく身に付ける。 2. 基本的な文法を身に付け、単語を入れ替えるだけでたくさんの場面で会話ができるようにする。 3. 中国人のお客様と自信を持って会話ができるようにする。				授業形態：講義 ・正しい発音を身につける。 ・新しい単語・表現を身につける。 ・職場で使える会話をたくさん練習する。				
実施回数	授業スケジュール	授業内テスト		各回の到達目標	特記事項			
		内容	点数					
1	第1課 中国語の発音			発音を正しく知る。				
2	第2課 自己紹介			発音練習・自己紹介・人称代名詞				
3	第3課 数字・曜日、月日			数字や曜日、月日の言い方を学ぶ				
4	第4課 時間			時間の言い方を学ぶ				
5	復習・テスト	筆記	20	テスト/数字の復習				
6	第5課 ホテルの施設、案内			ホテル施設用語・簡単なご案内				
7	第6課 ホテル施設内の案内			場所を表す表現				
8	第7課 レストランにて			レストランでの簡単な会話				
9	復習・テスト	筆記	20	復習 テスト				
10	第8課 トラブルや問い合わせ			問い合わせ・トラブル				
11	第9課 ハウスキーピングほか			動作や状態を伝える表現				
12	まとめ 会話	実技	10	総まとめ				
13	試験WEEK	筆記	50	持ち込み：なし				
14	地名や施設、挨拶ほか			習った内容の総まとめ				
15	総まとめおよび各種行事			これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。				
テスト・追試詳細				達成度評価		使用教材		
【テスト】 1) 5回目 筆記 20点 2) 9回目 筆記 20点 3) 12回目 実技 10点 4) 試験WEEK内 筆記 50点 【追試】 5回目と9回目については相談の上決定。 実技は次回の授業内。試験WEEK追試は期間内にて追試を行う。				A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		プリント配布		

授業計画書

学部	風	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	宿泊スタッフA	
科目名			宿泊実務			講師名	原山 ゆうり	
担当講師の実務経験		○	実務 経歴	外資系ホテルにて5年のコンシェルジュ経験あり				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
宿泊部の業務におけるお客様へのサプライズ提案から実演までを後期を通して作り上げる。 フロントシステムを使用し、引き継ぎの重要性を実感し、他部署との連携の必要性を理解する					授業形態：講義 前半は個人戦でサプライズのためツールの一つとして、タオルアート作りを学び、コンテストを実施する 後半はグループを作成し、サプライズ企画映像作成に向けた企画作りをグループワークにて進めていく。 サプライズ映像は実際のホテルのコンシェルジュの方に審査をしていただき、最終週に審査発表を行う			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	オリエンテーション				コンテストまでの流れ&コンシェルジュとは			
2	ロマンスコンシェルジュとは				コンシェルジュで使用する小道具などを知る			
3	タオルアートコンテスト準備		課題①	5	タオルアートコンテストへの準備/ワード資料作成			
4	タオルアートコンテスト		実技① &課題②	20	サプライズストーリーの作成から発表まで			
5	サプライズ演出コンテスト準備①		課題②	5	チームコンセプトの作成			
6	サプライズ演出コンテスト準備②		課題②	5	サプライズストーリー作成			
7	サプライズ演出コンテスト準備③		課題②	5	ロマンスコンシェルジュセッティング			
8	リハーサル		実技②	10	手直し&撮影準備			
9	サプライズ演出コンテスト（撮影）		実技③ &課題③	30	企業へ郵送→審査			
10	クラス上映会		課題④	10	全クラスのサプライズ映像を審査			
11	フロントシステムトレーニング				Operaの機能説明&サプライズ引き継ぎ作成			
12	サプライズ演出実施		実技④ &課題⑤	10	引き継ぎの重要性を学ぶ			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	審査発表				企業様からの審査結果発表&振り返り			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
[試験週] 3週目 4週目 5・6・7週目 8週目 9週目 10週目 12週目	[試験内容] 課題① 実技① 課題② 実技② 実技③ 課題③ 課題④ 実技④ 課題⑤	[追試詳細] 翌週提出 翌週実施 母数減らし 母数減らし グループ内評価に準ずる グループ内評価に準ずる 母数減らし 母数減らし グループ内評価に準ずる 母数減らし	A 240点以上 B 210点以上 C 180点以上 D 179点以下		配布プリント			

授業計画書

学部	昼	科 コース	宿泊スタッフコース	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	宿泊スタッフコースA	
科目名			宿泊オペレーション			講師名	角谷 清香	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	ラグジュアリーホテルにて、宿泊予約、フロント業務、ドア、ベル、ハウスキーピング、テレフォンオペレーター、コンシェルジュなど宿泊部門を中心に5年間勤務。				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>●フロント・キャッシャーの仕事について</p> <p>1. フロント・キャッシャー業務について理解する。</p> <p>2. チェック・アウト業務の基本をマスターする。</p> <p>3. ロールプレイにて対応・会話術を体得する。</p>					<p>授業形態：講義</p> <p>2コマ中、1コマ目は座学中心で知識を学び、 2コマ目は、ロールプレイを中心に技術を習得する 【授業内ルール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみをきちんと整え参加すること(シニヨン着用) ・2回目以降の授業から身だしなみも成績評価の一部とする(1日毎の授業につき減点/25FO教室内は飲食不可とする) 			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	オリエンテーション・前期復習				授業の進め方を理解する・フロントの復習			
2	フロントキャッシャーの仕事内容				ビルとゲスト・アカウントについて理解する			
3	キャッシャー業務Ⅰ				チェックアウト時の留意点と手順を理解する			
4	キャッシャー業務Ⅱ・筆記テスト		筆	10	様々な支払い方法を理解する			
5	キャッシャー業務Ⅲ				金銭管理・領収書の書き方について理解する			
6	キャッシャー業務Ⅳ				サービス料と税金について理解する			
7	キャッシャー業務Ⅴ				外貨両替について理解する			
8	キャッシャー業務Ⅵ・筆記テスト		筆	10	貴重品預かりについて理解する			
9	キャッシャー業務Ⅶ				キャッシャー業務まとめ～Opera応用編～			
10	スクリプト練習				実技試験にむけて最終練習			
11	実技テスト		実	60	チェックアウト業務 実技試験			
12	実技テスト・筆記テスト		実・筆	20	チェックアウト業務 実技試験・筆記テスト			
13	試験WEEK				なし			
14	宿泊オペレーション総復習				宿泊オペレーション総復習			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価	使用教材		
[実施回]	[試験内容]	[追試]			A 240点以上	オリジナルプリント		
4週目	筆記	翌週実施			B 210点以上			
8週目	筆記	翌週実施			C 180点以上			
11週目 (12週目)	実技	翌週実施			D 179点以下			
12週目	筆記	翌週実施						

授業計画書

学部	昼	科 コース	料飲サービススタッフコース	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			30	単位数		2	クラス	A
科目名			サービスプレゼンテーション			講師名	山岡丈也	
担当講師の実務経験			○	実務経験		<ul style="list-style-type: none"> ・料飲経験17年：ホテル直営レストランの責任者として従事 ・レストランサービス技能検定 1級技能士 ・(社)HRS 西洋料理テーブルマナー認定講師 		
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>【レストラン営業】 実習室でのレストラン営業を通して次の内容を学ぶ。 ・レストランでの必要な職種・業務 ・料理単価、原価率、集客、営業戦略</p> <p>【アフタードリンク】 コーヒー、紅茶、ハーブティの知識、技術を学ぶ</p>					<p>授業形態：講義</p> <p>【レストラン営業】 これまでの知識・技術を活かしてコンセプトから営業に関わる全ての内容を学生自身で考え、集大成として1日の営業で発表する。</p> <p>【アフタードリンク】 食後のドリンクについての知識、技術を習得する</p>			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	オリエンテーション アフタードリンク①				紅茶・ハーブティの知識			
2	アフタードリンク②				コーヒーの知識			
3	アフタードリンク③		筆記	20	豆の種類で変わる味わい			
4	レストラン営業概要説明 個人プラン作成				ルール説明・個人プラン作成			
5	レストランコンセプト作成		実技	15	個人プランプレゼン・コンセプト作成			
6	営業準備①				担当業務振り分け・担当別打合せ			
7	営業準備②		課題	5	担当別打合せ			
8	営業準備③		課題	5	担当別準備			
9	営業準備④		課題	5	担当別準備			
10	営業準備⑤		課題	5	担当別準備			
11	レストラン営業リハーサル		実技	10	営業前リハーサル			
12	レストラン営業本番		実技	15	レストラン営業本番			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	全体振り返り		レポート	20	レストラン営業振り返り			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
<p>【追試詳細】</p> <p>筆記 … 授業担当者に追試日を確認 実技 … 母数減らし 課題 … 母数減らし レポート … 担当講師へ後日提出</p>					<p>★コース内授業3科目 (合計300点満点)にて コース評価とする</p> <p>A 240点以上 B 210点以上 C 180点以上 D 179点以下</p>		配布プリント	

授業計画書

学部	昼	科 コース	料飲サービススタッフコース	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	昼C	
科目名			ビバレッジオペレーション			講師名	平井	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴	ホテル勤務時代、主に直営レストランのチーフソムリエとして従事。現在はレストラン接客の教育やワインセミナー講師などにて活躍中。シニアソムリエ資格、ベネシアドール資格保有			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
①ソムリエの業務や役割を学ぶ。 ②ワインに関する様々な知識を身につけることで、ワインへの理解を深める。 ③ワインのサービス方法とテクニックを学ぶ。					授業形態：講義 <ワイン概論> ブドウ品種や造り方、産地の特徴、料理とのマリアージュなど基礎的な知識を学ぶ。 <ワインサービス> 実践を通して、抜栓、注ぎ方、お客様へのプレゼンテーションなど基礎から応用まで学ぶ。 ※概論の授業の後半は実践の授業を行います。			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	オリエンテーション・ソムリエの仕事				授業内容の理解・ソムリエ業務			
2	ワイン概論①		実技	10	ブドウ品種・造り方など			
3	ワイン概論②				日本のワイン			
4	ワイン概論③				フランスのワイン			
5	ワイン概論④				イタリア・ドイツ・スペインのワイン			
6	ワイン概論⑤		実技	15	ニューワールドのワイン			
7	レストラン営業リハーサル				営業前リハーサル			
8	レストラン営業本番				レストラン営業本番			
9	ロールプレイング&ディスカッション		課題	15	現場で起こる様々な問題についての考察			
10	ワインサービス①				実技試験リハーサル			
11	ワインサービス②				実技試験リハーサル			
12	ワインサービス実技試験		実技・課題	15・15	実技試験			
13	試験WEEK		筆記	30	持ち込み：なし			
14	ワイン概論⑥				ワインと料理のマリアージュ			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
実技…母数減らし 課題…母数減らし 筆記…以下の試験日に受験					★コース内授業3科目 (合計300点満点)にて コース評価とする A 240点以上 B 210点以上 C 180点以上 D 179点以下		配布プリント	

授業計画書

学部	風	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目	
総時間数			30	単位数	2	クラス	旅館スタッフ		
科目名			旅館オペレーション			講師名	梅山 富美子		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴	日本航空客室乗務員5年経験後、専門学校講師15年 表千家講師 利晶の杜にて呈茶 書道師範 毎日展 入賞数回				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
外国旅客が憧れる「和」のマナーやおもてなし精神を旅館で心ゆくまで体験していただけるよう、知識や所作などを学ぶ。 お部屋へのご案内から、世界遺産となった和食の提供お布回敷などの動作、言葉遣いを学び、最後は一連の所作が出来るようにする					授業形態：講義 前期で学んだ和室での立ち居振る舞いを復習し、お部屋案内と湯茶サービス、和食提供、お布回の上げ下げなどをスムーズにこなす。 * 和室使用につき、靴下をご持参ください。				
実施回数	授業スケジュール			授業内テスト		各回の到達目標			特記事項
				内容	点数				
1	前期復習 所作 言葉など					和室での立ち居振る舞い 所作の演習			
2	お部屋への案内 湯茶サービス ①					言葉遣い 所作 湯茶の淹れ方 ご提供の仕方を習得			
3	お部屋への案内 湯茶サービス ② 実技試験			実技 課題	15 10	一連の流れの復習 実技試験（待ち時間課題作成）			
4	お食事提供 ① 提供前の食事準備のポイント					提供時のポイント セッティング 食器扱い			
5	お食事提供 ② 言葉遣い タイミングなど					提供時の言葉遣い 料理の知識と順 下げるタイミング			
6	お食事提供 ③ お飲み物の提供 準備から片付け					お飲み物の注ぎ方 セッティングから下げるまでの流れ			
7	お食事提供 ④ 総復習 実技試験			実技 課題	15 10	一連の流れの練習 実技試験（待ち時間課題作成）			
8	お布回敷き・お布回上げ ① お客様在室時の声かけタイミング					お客様在室時のお布回敷きのポイント 敷き方・上げ方を習得する			
9	お布回敷き・お布回上げ ② 総復習			実技 課題	15 10	一連の流れの演習 実技試験（待ち時間課題作成）			
10	接客動作 総復習 ①					お迎え 案内 お食事提供 お布回 流れをスムーズに復習			
11	接客動作 総復習 ②					お迎え 案内 お食事提供 お布回 流れをスムーズに復習			
12	接客動作 総復習 ③			実技 課題	15 10	お部屋での湯茶サービスでの会話 実技試験（待ち時間課題作成）			
13	試験WEEK					持ち込み：			
14	おもてなしの心 茶道を体験する お茶をいただく					日本伝統文化 茶道の精神を身につけ おもてなしの心を学ぶ			
15	総まとめおよび各種行事					これまでの総復習および就職セミナー 等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細						達成度評価		使用教材	
< 授業内実技試験 課題提出 > ① 10月23日 湯茶サービス 実技 15点 ② 11月20日 お食事提供 実技 15点 ③ 12月4日 お布回敷き 実技 15点 ④ 1月29日 接客応対会話 実技 15点 課題提出 実技の振り返り評価 上記各回 課題10点×4 * 公欠追試は講師に確認						A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下	おもてなし検定 テキスト 講師レジュメ 他資料など		

授業計画書

学部	風	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	旅館スタッフ	
科目名			コミュニケーショントレーニング			講師名	松岡ありさ	
担当講師の実務経験		○	実務経歴		USJエンターティナー 2002年～2016年（14年） USJクリエイティブ（演出）2006年～2019年（13年） 司会業 2009年～2019年（10年） 講師業 2003年～2019年（16年）			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
日本の「おもてなし」文化を実践するため、旅館でのお客様との会話力や対応力、柔軟性を磨き、旅館スタッフの魅力を高める。 学期末には、実践的なテストを行い、旅館で働く際のシミュレーションを行う。					授業形態：講義 演劇の即興トレーニングを用いて、会話力や、様々なお客様の視点で考えられる共感力を養う。はきはきとしたわかりやすいしゃべり方、相手に伝わる話し方、誰にでも対応できる知識や人間力を身につける。			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	授業説明、シアターゲーム、発声練習				はきはきとした声で自己紹介ができる。 初めての人に心を開く。目標達成シート			
2	私の選ぶ名旅館・名観光地プレゼン①		実技	20	それぞれが日本で一番素敵だと思う観光地や働いてみたい旅館をプレゼンする			
3	私の選ぶ名旅館・名観光地プレゼン②				前回で取まらない場合はこの日にプレゼンの続きを行う。期末テストの観光地・旅館を全員で決定する。			
4	観光案内		実技	15	決定した土地の観光案内を行う			
5	旅館案内		実技	15	指定された旅館の案内を行う			
6	会話カトトレーニング				基礎的なトレーニングを行う			
7	会話カトトレーニング		実技	5	発展的なトレーニングを行う			
8	シチュエーションに合わせた対応練習		実技	5	お客様を仮定して、それぞれの年代に合った会話の選び方を学ぶ			
9	模擬試験：田中照人先生		実技	15	田中先生にお客役をやっていただき、期末テストの模擬試験を行う			
10	テストリハーサル				模擬テストの結果を伝え、改善点を磨く			
11	テストリハーサル		実技	5	テスト前の最終リハーサル			
12	テスト日		実技	20	実技テスト（詳細後日）			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	振り返り				「どんな旅館スタッフになりたいか」発表			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
10/16・23・30・11/6 →実技試験 （2週間後までに授業内で追試を行う） 11/20・27・12/4・1/22・29→母数減らし					★コース内3科目 合計300点満点で評価 A 240点以上 B 210点以上 C 180点以上 D 179点以下		プリント	

授業計画書

学部	風	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	旅館スタッフ	
科目名			旅館オペレーション			講師名	住友	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	児童英語4年 中学英語4年、TOEICおよび接客英語14年				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
旅館に宿泊するインバウンドのお客様に旅館ならではのサービスや施設・使用方法を英語で説明でき、対応できること。					授業形態：講義 予約からチェックイン、ご挨拶や基本的対応、旅館におけるサービス・施設・使い方の説明、チェックアウトまでを各場面ごとに演習する。			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	接客英語の基本Ⅰ				丁寧な英語表現を習得する			
2	接客英語の基本Ⅱ				接客英語を習得する			
3	チェックインⅠ/筆記テスト		筆記	10	接客英語筆記テスト/チェックイン表現習得			
4	チェックアウト				チェックアウトの表現を習得			
5	お部屋への案内/筆記テスト		筆記	5	C/I, C/Oの筆記/部屋までの案内表現を習得			
6	お部屋での案内Ⅰ				和室の単語習得、客室案内、履物説明ができる			
7	お部屋での案内Ⅱ				お茶のサービス、夕食の案内の表現習得			
8	お部屋での案内Ⅲ				風呂、浴衣、布団の説明ができる			
9	夕食（和食）の説明/筆記テスト		筆記	10	部屋での案内の筆記テスト/夕食の説明			
10	実技対策、実技練習				部屋での案内の実技テスト対策と練習			
11	実技練習		実技課題	30 5	部屋での案内の実技テスト			
12	宿泊予約・筆記対策				宿泊予約の対応ができる・筆記対策			
13	試験WEEK		筆記	40	持ち込み：			
14	まとめ				旅館での接客英語の復習、まとめ			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価	使用教材		
【追試詳細】 筆記・実技 — 翌週に実施（担当講師に要確認） 試験week筆記 — 試験week内に追試実施					★コース内3科目 合計300点満点で評価 A 240点以上 B 210点以上 C 180点以上 D 179点以下	配布プリント		

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	テーマパークスタッフ	
科目名			テーマパークランゲージ			講師名	金ミンソン / 細井美和	
担当講師の 実務経歴		○	実務経歴 エクシリア外語学院 韓国語非常勤講師・一般事務・翻訳 大阪拘置所 韓国語 翻訳・通訳の経験あり 商社（2年8ヶ月）及び中国国営企業（1年8ヶ月）にて 貿易事務に従事。半導体商社（1年8ヶ月）にて総務 経理を担当。その他イベント通訳、旅行者アテンド、 官公庁誌日中翻訳、中国語講師など。					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
業務上必要な基本表現を身につける。基本的にレストラン、アトラクションにおける接客表現を中心に学習し、現場で活用できるようにする。					授業形態：講義 各回、表現の練習後、ペア・ワーク、グループワークを通じて、実践力を身につける。			
1. 基本的な言葉を覚え、簡単な会話ができるようにする。 2. テーマパーク内で使われる言葉を覚え、中国人のお客様を案内できるようにする。					1. 教材の内容をもとに、テーマパーク現場で使用される言葉を取り入れて、繰り返し練習する。			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	【韓国語】表現練習				案内、注意事項の表現ができる。			
2	【韓国語】レストランでの会話1		筆	10	レストランでの接客の表現ができる。			
3	【韓国語】レストランでの会話2		筆	10	レストランでの接客の表現ができる。			
4	【韓国語】アトラクションでの会話1		実	10	アトラクションでの接客の表現ができる。			
5	【韓国語】アトラクションでの会話2		実	10	アトラクションでの接客の表現ができる。			
6	韓国語まとめ		実	10	学習した内容を実践に繋ぐことができる。			
7	【中国語】基本の挨拶				基本的な挨拶			
8	【中国語】数字				売店・レストランなどで使う数字を学ぶ			
9	【中国語】実技テスト		実	10	実技テスト			
10	【中国語】時間				待ち時間・ショーの時間の案内をする			
11	【中国語】場所案内				アトラクション・トイレなどの場所案内			
12	中国語筆記テスト		筆	40	確認テスト			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	【中国語】緊急時対応				緊急時の表現を学ぶ			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
<筆記> <実技> ともに担当講師が追試担当。 必ず、申請した書類を提示すること					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		プリント	

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			30	単位数	6	クラス	ショッピングアドバイザー	
科目名			セリングスキルⅡ			講師名	中村 奈奈江	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	百貨店・路面店でのジュエリー販売4年間。 主にプライダグジュエリーを販売しその他 新人教育・クレーム対応・商品管理・報告書作成など				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
購買心理の理解を深め実践的に学ぶ。 実践をもとに販売力を身につける。				授業形態：講義 前期の知識をもとに販売心理学を学び 接客に役立つ知識と技術を中心に学ぶ。				
				実施回数	授業スケジュール	授業内テスト 内容	点数	各回の到達目標
1	オリエンテーション			授業の流れ。前期の復習				
2	和と洋の違い	課題①	20	和の世界での立ち振る舞い				
3	アプローチ			お客様の心を開くつかみのアプローチ				
4	アプローチ	実技①	20	効果的なアプローチ・アプローチの実技テスト				
5	提案力			自発的に提案できるスキルを身につける				
6	提案力	筆記①	20	ベストな提案につなげる質問のコツを学ぶ				
7	クロージング			クロージングについて学ぶ				
8	購買心理学			顧客の購買心理を知る				
9	カウンセリング			お客様のニーズを聞き出すカウンセリング				
10	アイテムを使用したロープレ			アイテムを使用した接客ロープレ				
11	接客ロールプレイング	筆記②	10	接客総まとめロープレ				
12	接客ロールプレイング	実技②	20	販売接客の実技試験				
13	試験WEEK			実施なし				
14	自己分析	課題②	10	今学期まとめ。自己分析				
15	総まとめおよび各種行事			これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。				
テスト・追試詳細				達成度評価		使用教材		
追試申請提出要 ●筆記⇒担当講師と相談の上実施 ●実技⇒実施日曜日休みの場合2/12にて実施 ●課題、レポート⇒翌週授業時まで提出 ●10/16分課題⇒母数減らし				A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布プリント		

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			30	単位数	6	クラス	ショッピングアドバイザー	
科目名			アパレル研究Ⅱ			講師名	上田 由紀子	
担当講師の実務経験		○	実務経験	販売歴36年。アパレル入社、店舗販売員・店長を経てインストラクターに。百貨店売場活性研修等実施。好感度アップ接客・顧客満足促進、販売目標達成法、コーディネート提案 コンサルティング接客				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
アパレル業界の基本的な仕組みを知り、アドバイザーの役割を理解し、必要な知識、スキルを習得する。				授業形態：講義 ファッション販売3、配布プリントで基本的知識を習得 ファッション雑誌などの切り抜き等でテーマごとにマップ作りを行いまとめる チームワークで対お客様を想定し、商品の提案などの接客を 実践する				
実施回数	授業スケジュール	授業内テスト		各回の到達目標			特記事項	
		内容	点数					
1	後期授業計画の説明・商品知識			後期授業内容・約束事確認・商品知識				
2	商品知識②アイテム	筆記①	10	アイテム種類・デザイン等の基礎知識				
3	商品知識③ディティールとシルエット			ディティール・シルエットの基礎知識				
4	商品知識④素材と取り扱い	筆記②	15	素材の知識				
5	カラー知識①			カラーの基本				
6	カラー知識②	課題①	10	配色効果				
7	コーディネート知識①	筆記③	10	カラー等 テーマ別コーディネート				
8	コーディネート知識②	課題②	15	カラー等 テーマ別コーディネート				
9	コーディネート提案法	実技①	15	コーディネート提案を模擬接客で実践				
10	商品表現法 店作り			VMD等 基礎知識				
11	自ブランド・自店作り①	課題③	10	コンセプト・ターゲット作成				
12	自ブランド・自店作り②発表	課題④	15	マップ作成後発表				
13	試験WEEK			実施なし				
14	今期まとめ			サービス業に携わるショッピングアドバイザー				
15	総まとめおよび各種行事			これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。				
テスト・追試詳細				達成度評価			使用教材	
追試申請提出要 筆記・実技全て⇒担当講師に相談の上実施 課題①～③⇒母数減らし 課題④⇒翌授業時提出				A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			ファッション販売3 配布プリント ファッション雑誌 カラーチップ	

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			30	単位数	6	クラス	ショッピングアドバイザー	
科目名			ブランドアイテム研究Ⅱ			講師名	中村 奈奈江	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	百貨店・路面店でのジュエリー販売4年間。 主にブライダルジュエリーを販売しその他 新人教育・クレーム対応・商品管理・報告書作成など				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
ジュエリーの基本的な知識を学び お客様に対し基本的な接客ができる技術を身につける				授業形態：講義 講師持ち込みの資料をもとに ジュエリーの基本的な知識を学ぶ。 指輪の採寸から接客まで実際に商品を使用し 販売の技術を学ぶ				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	オリエンテーション				今学期の目標を確認・前期の復習			
2	伝統的な日本の婚礼		課題①	20	能の高砂を通して日本の婚礼を見る			
3	カラーストーン・ダイヤモンド				カラーストーン・ダイヤモンド復習			
4	課外授業		課題②	10	実際にジュエリーをみて学ぶ			
5	ジュエリーの作成工程				石留めなど工程を学ぶ			
6	アイテム		筆記①	20	接客に必要なアイテムを学ぶ			
7	修理・メンテナンス				修理・メンテナンスの工程について学ぶ			
8	オリエンテーション				今学期の目標を確認・前期の復習			
9	カラーストーン・ダイヤモンド				カラーストーン・ダイヤモンド復習			
10	ネックレスの知識		筆記②	20	ネックレスの基本的な知識・接客を学ぶ			
11	ジュエリーの接客（ロールプレーイング）		実技	20	接客・フィッティングの試着テスト			
12	海外の拳式		課題③	10	海外での拳式スタイルを見てみる			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	まとめ				今学期まとめ			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー 等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
追試申請提出要 ●筆記⇒担当講師と相談の上実施 ●実技⇒次回授業時にて実施 ※実施日休みの場合2/7にて実施 ●課題全て⇒母数減らし					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布プリント	

授業計画書

学部	風	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			90	単位数	6	クラス	セールス&マーケティング	
科目名			営業実践・マーケティング応用・セールスツール			講師名	橋本 拓也	
担当講師の実務経験			○	実務経歴	旅行会社にて10年勤務（企画、仕入れ、ガイド業など）			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>営業・マーケティング・PCスキルを学ぶことでモノを売る流れを知る。 また、営業職としてのプレゼンカやトークカも同時に習得する。</p>					<p>授業形態：講義</p> <p>課題①営業実践として、トークカ・訴求力のあるチラシを作成し、プレゼンカをつける。 課題②アンケート調査・分析・企画提案・発表をとおしてモノを売る楽しさを知る。</p>			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	ガイダンス・営業実践演習①・セールスツール応用①				授業の進め方・営業の心得を知る・訴求力のあるデザインチラシ作成			
2	営業実践演習②・セールスツール応用②				営業トークの心得・訴求力のあるデザインチラシ作成②			
3	プレゼンテーション・セールスツール③		実・課	30	プレゼンテーション・訴求力のあるデザイン③			
4	アンケート実践演習				アンケート実施の心得を学ぶ・項目設定			
5	アンケート実施				校内でアンケート実施・外部で市場調査を実施			
6	アンケート集計・分析				実施したアンケートの集計・分析をする			
7	企画・提案書作成		課題	15	アンケートを参考にし、企画・提案書を作成する			
8	プレゼン資料の作成		課題	15	提案書をもとに、プレゼン資料を作成する			
9	プレゼンリハーサル・チケット準備		課題	15	プレゼンリハーサル・チケット販売のための準備			
10	チケット販売・売上集計		実技	10	チケット販売・チケットの売り上げ集計をする			
11	本番に向けての準備				営業本番に向けての準備			
12	本番に向けての準備				営業本番に向けての準備			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	営業本番		実技	15	営業本番（外部）			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価	使用教材		
第3回・・・実技①10点 ⇒チーム点加算 第3回・・・実技②15点 ⇒後日提出 第3回・・・課題①5点 ⇒母数減らし 第7回・・・課題②15点 ⇒チーム点加算 第8回・・・課題③15点 ⇒チーム点加算 第9回・・・課題④15点 ⇒チーム点加算 実技③・・・10点 ⇒母数減らし 実技④・・・15点 ⇒母数減らし					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下	プリント		

授業計画書

学部	夜	科 コース	旅行科	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	JB	
科目名			カウンターアドバイザー			講師名	下川成一	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	旅行会社に30年勤務。団体セールス、海外販促、FITサロン、カウンター支店の支店長を経験。				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
■カウンター業務のプロとしての知識を身につける ■与えられた課題をよく理解し、課題を反映した企画書を作成する能力を身につける					授業形態：講義			
					■:ツアーランニングコンテスト(個人制作) 企画条件は、後日発表します			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標		特記事項	
			内容	点数				
1	授業オリエンテーション				授業の目的、進め方、評価方法について 旅行業界に求められる人材①		0限のみ	
2	カウンター社員としての心構え				旅行業界に求められる人材②		//	
3	方面別集中学習				アメリカの国立公園①		//	
4	//				アメリカの国立公園②			
5	//				アラスカクルーズとアラスカ鉄道			
6	//				ノルウェークルーズ/沿岸急行船			
7	ツアーコンテスト制作		筆記	40	米国ディズニーリゾート企画			
8	//				//			
9	//				//			
10	//				//			
11	//				//			
12	//		課題提出	60	//			
13	試験WEEK				1/0			
14	授業のまとめ				総復習を行う			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
ツアーコンテストの詳細は後日発表します					A 80点以上		講師作成のプリント インターネットからの資料 州政府観光局資料	
					B 70点以上			
C 60点以上								
D 59点以下								

授業計画書

学部	夜	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			15	単位数	1	クラス	JB	
科目名			カウンター実務			講師名	和田 茜	
担当講師の実務経験		○	実務経験	旅行会社で6年間、海外・国内カウンター販売を担当。その他、海外・国内添乗経験あり。				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ●販売知識・確認事項を把握し、料金計算・基本的な接客(来店・電話)の応対が出来る。 ●旅行会社のカウンター業務で必要とされる知識を身に付ける。 ●接客の実践に必要な正しい敬語を習得する。 					授業形態：講義 <ul style="list-style-type: none"> ●販売知識・料金算出方法を学習する。 ●得た知識を基にロールプレイを行い、受付から販売までの流れに必要な知識が身についているか実践する。 ●講師が準備したプリントを使い、各方面の主な観光地を時刻表やパンフレットと照らし合わせて再確認し、実践力を身につける。 ●料金計算出来るよう、お客様の基本的要望を把握する。 			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	韓国パンフレットの見方、料金計算 ※1～3週のみ2コマ				パンフレットの見方を把握し、韓国の料金計算が出来る	電卓		
2	韓国の基本的な接客の流れ、韓国フリープランのロールプレイング実践 ※2コマ				韓国の料金計算、基本的な接客販売が出来るようになる	電卓		
3	テスト①/ハワイパンフレットの見方、料金計算 ※2コマ		筆記	20	筆記テスト/ハワイのパンフレットの見方、料金計算の仕方を把握する	電卓		
4	ハワイ料金計算				ハワイの料金計算が出来る	電卓		
5	ハワイ基本的な接客の流れ				ハワイの接客販売が出来るようになる	電卓		
6	ハワイウエディングパンフレットの見方		筆記	15	ハワイウエディングのパンフレットの見方、料金計算の仕方を把握する	電卓		
7	ハワイウエディング料金計算				ハワイウエディングの料金計算が出来る	電卓		
8	テスト②/ヨーロッパ料金計算				筆記テスト/ヨーロッパのパンフレットの見方、料金計算の仕方を把握する	電卓		
9	ヨーロッパ料金計算				ヨーロッパの料金計算が出来る	電卓		
10	テスト③/接客テストの概要		筆記	15	筆記テスト/接客テストの概要	電卓		
11	接客テスト/課題作成				接客テストにてこれまでの授業の理解度を確認する	電卓		
12	接客テスト/課題作成、提出		テスト課題	50	接客テストにてこれまでの授業の理解度を確認する			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	まとめ				まとめ			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
<追試実施日> 筆記テスト(所要約20分) 翌週18:00～16TC教室にて実施 課題提出(20点) 1/30 提出分→2/13(木) 16:45～18:15 16TC教室にて課題作成実施 接客テスト(30点) 1/30実施分→2/13(木) 18:00～16TC教室にて追試実施					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		授業でプリントを配布します。 再配布なし。紛失の場合は各自コピーして授業に参加して下さい。 ※電卓必須	

授業計画書

学部	夜	科 コース	パーサー・乗務員	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数		15		単位数	1	クラス	コース選択	
科目名			レイルウェイイングリッシュ			講師名	寺岡 有美	
担当講師の実務経歴		○	実務経歴	ディズニーパケーションクラブでパケーションアドバイザーとして、ホテル・レストランの予約等を担当。その後、KCJ GROUP株式会社キザニア甲子園で5年間勤務。				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> • 鉄道業界、接客業界に必要とされる英会話を身につける。 • 海外ゲストへの対応力、実践力をつける。 • 英会話に親しむ 					授業形態：講義 <ul style="list-style-type: none"> • 前期で学んだ基礎をもとに、後期は応用編を学ぶ。 • 鉄道業界での場面を想定し、ロールプレイ形式を取り入れながら授業を進める。 			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	前期の振り返り、英語ゲーム				前期の復習とウォーミングアップ			
2	観光案内①				観光案内について学ぶ①			
3	観光案内②				観光案内について学ぶ②			
4	構内案内①		実技	20	駅構内の案内について学ぶ①			
5	構内案内②				駅構内の案内について学ぶ②			
6	切符販売業務①		筆記	20	切符販売について学ぶ①			
7	切符販売業務②				切符販売について学ぶ②			
8	案内業務①		実技	20	乗り継ぎ・時刻案内の応用を学ぶ			
9	案内業務②				車内案内・車内改札			
10	案内業務③		実技	20	アナウンス			
11	イレギュラー対応①				忘れ物について			
12	イレギュラー対応②		実技	20	急病人について			
13	試験WEEK				試験なし			
14	総まとめ				フィードバック			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
*筆記・実技試験共に追試は欠席日より2週間後までに行う。休み時間に実施					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布資料	

授業計画書

学部	夜	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			15	単位数	1	クラス	パーサー・乗務員コース	
科目名			ユニバーサルサービス			講師名	竹岡眞里子	
担当講師の実務経験			○	実務 経歴	酒類メーカーで営業・営業事務を約10年勤務後バリアフリー講師、マナー講師を14年間担当。サービス接客検定1級（優秀賞受賞）サービス介助士2級を保有。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、あらゆる立場に立って、顧客満足を高めるための接客サービス（ユニバーサルサービス）のノウハウを習得する					授業形態：講義			
					高齢者、車いす使用者、視覚障がい者、聴覚障がい者への理解を深め、介助の技術やコミュニケーション方法を習得するユニバーサルサービスのスピリットを理解し、ホスピタリティの実践について考える			
実施回数	授業スケジュール			授業内テスト		各回の到達目標		特記事項
				内容	点数			
1	オリエンテーション ユニバーサルサービス					ユニバーサルサービスに必要な知識をもちニーズに応えられる意識と気づきをもつ		
2	高齢者・認知症がある方へのサービス			筆記 試験	25	高齢者・認知症がある方への接遇を理解する		
3	肢体に不自由を感じる方へのサービス ① ★【車いす操作演習】					肢体に不自由を感じる方を理解する		
4	肢体に不自由を感じる方へのサービス ② ★【車いす操作演習】【持ち上					車いす使用のお客様との接遇を理解する 車いすの持ち上げのお手伝いをする		
5	肢体に不自由を感じる方へのサービス ③ ★【車いす操作演習校内】			筆記 試験	25	車いす使用のお客様との接遇を理解する		
6	肢体に不自由を感じる方へのサービス ④ ★【車いす操作演習校外】					校外に出て車いす使用のお客様の気持ちを理解し、接客方法を習得する		
7	視覚に不自由を感じる方へのサービス ① ★【ブラインドゲーム】					視覚に不自由を感じる方を理解する		
8	視覚に不自由を感じる方へのサービス ② ★【白杖体験・誘導方法演習】					視覚に不自由を感じる方を理解する 白杖体験を通し、視覚に不自由を感じる方の気持ちを理解する		
9	視覚に不自由を感じる方へのサービス ③ ★【誘導方法演習】					視覚に不自由を感じる方への気持ちやお手伝いするための誘導方法を理解する		
10	視覚に不自由を感じる方へのサービス ④ ★【身体障害者補助犬法】					身体障害者補助犬法を理解する クックポジションを使った誘導方法を理解する		
11	聴覚に不自由を感じる方へのサービス①					聴覚に不自由を感じる方を理解する		
12	聴覚に不自由を感じる方へのサービス ② ★【コミュニケーション演					聴覚に不自由を感じる方とのコミュニケーション方法を理解する		
13	試験WEEK			筆記 試験	50	持ち込み：特になし		
14	お客様に応じたサービス・まとめ ★【ロールプレイ】					さまざまなお客様への接客・接遇を習得する		
15	総まとめおよび各種行事					これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。		
テスト・追試詳細						達成度評価		使用教材
<授業内試験等により評価> ①10月16日 授業内筆記試験（25点） ②11月6日 授業内筆記試験（25点） ③試験WEEK 筆記試験（50点） ※追試詳細は欄外参照						A 80点以上		①講師レジュメプリント 【参考文献】 ユニバーサルサービス 基本テキスト
						B 70点以上		
C 60点以上								
D 59点以下								

授業計画書

学部	夜	科 コース	パーサー・乗務員	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数		15		単位数	1	クラス	コース選択	
科目名			レイルウェイイングリッシュ			講師名	寺岡 有美	
担当講師の実務経歴		○	実務経歴	ディズニーパケーションクラブでパケーションアドバイザーとして、ホテル・レストランの予約等を担当。その後、KCJ GROUP株式会社キザニア甲子園で5年間勤務。				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道業界、接客業界に必要とされる英会話を身につける。 ・ 海外ゲストへの対応力、実践力をつける。 ・ 英会話に親しむ 					授業形態：講義 <ul style="list-style-type: none"> ・ 前期で学んだ基礎をもとに、後期は応用編を学ぶ。 ・ 鉄道業界での場面を想定し、ロールプレイ形式を取り入れながら授業を進める。 			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	前期の振り返り、英語ゲーム				前期の復習とウォーミングアップ			
2	観光案内①				観光案内について学ぶ①			
3	観光案内②				観光案内について学ぶ②			
4	構内案内①		実技	20	駅構内の案内について学ぶ①			
5	構内案内②				駅構内の案内について学ぶ②			
6	切符販売業務①		筆記	20	切符販売について学ぶ①			
7	切符販売業務②				切符販売について学ぶ②			
8	案内業務①		実技	20	乗り継ぎ・時刻案内の応用を学ぶ			
9	案内業務②				車内案内・車内改札			
10	案内業務③		実技	20	アナウンス			
11	イレギュラー対応①				忘れ物について			
12	イレギュラー対応②		実技	20	急病人について			
13	試験WEEK				試験なし			
14	総まとめ				フィードバック			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
＊筆記・実技試験共に追試は欠席日より2週間後までに行う。 休み時間に実施					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布資料	

授業計画書

学部	夜	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			15	単位数	1	クラス	パーサー・乗務員コース	
科目名			ユニバーサルサービス			講師名	竹岡眞里子	
担当講師の実務経験			○	実務経歴	酒類メーカーで営業・営業事務を約10年勤務後バリアフリー講師、マナー講師を14年間担当。サービス接客検定1級（優秀賞受賞）サービス介助士2級を保有。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、あらゆる立場に立って、顧客満足を高めるための接客サービス（ユニバーサルサービス）のノウハウを習得する					授業形態：講義			
					高齢者、車いす使用者、視覚障がい者、聴覚障がい者への理解を深め、介助の技術やコミュニケーション方法を習得する ユニバーサルサービスのスピリットを理解し、ホスピタリティの実践について考える			
実施回数	授業スケジュール			授業内テスト		各回の到達目標		特記事項
				内容	点数			
1	オリエンテーション ユニバーサルサービス					ユニバーサルサービスに必要な知識をもちニーズに応えられる意識と気づきをもつ		
2	高齢者・認知症がある方へのサービス			筆記試験	25	高齢者・認知症がある方への接遇を理解する		
3	肢体に不自由を感じる方へのサービス ① ★【車いす操作演習】					肢体に不自由を感じる方を理解する		
4	肢体に不自由を感じる方へのサービス ② ★【車いす操作演習】【持ち上					車いす使用のお客様との接遇を理解する 車いすの持ち上げのお手伝いをする		
5	肢体に不自由を感じる方へのサービス ③ ★【車いす操作演習校内】			筆記試験	25	車いす使用のお客様との接遇を理解する		
6	肢体に不自由を感じる方へのサービス ④ ★【車いす操作演習校外】					校外に出て車いす使用のお客様の気持ちを理解し、接客方法を習得する		
7	視覚に不自由を感じる方へのサービス ① ★【ブラインドゲーム】					視覚に不自由を感じる方を理解する		
8	視覚に不自由を感じる方へのサービス ② ★【白杖体験・誘導方法演習】					視覚に不自由を感じる方を理解する 白杖体験を通し、視覚に不自由を感じる方の気持ちを理解する		
9	視覚に不自由を感じる方へのサービス ③ ★【誘導方法演習】					視覚に不自由を感じる方への気持ちやお手伝いするための誘導方法を理解する		
10	視覚に不自由を感じる方へのサービス ④ ★【身体障害者補助犬法】					身体障害者補助犬法を理解する クックポジションを使った誘導方法を理解する		
11	聴覚に不自由を感じる方へのサービス①					聴覚に不自由を感じる方を理解する		
12	聴覚に不自由を感じる方へのサービス ② ★【コミュニケーション演					聴覚に不自由を感じる方とのコミュニケーション方法を理解する		
13	試験WEEK			筆記試験	50	持ち込み：特になし		
14	お客様に応じたサービス・まとめ ★【ロールプレイ】					さまざまなお客様への接客・接遇を習得する		
15	総まとめおよび各種行事					これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。		
テスト・追試詳細						達成度評価		使用教材
<授業内試験等により評価> ①10月16日 授業内筆記試験（25点） ②11月6日 授業内筆記試験（25点） ③試験WEEK 筆記試験（50点） ※追試詳細は欄外参照						A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		①講師レジュメプリント 【参考文献】 ユニバーサルサービス基本テキスト

授業計画書

学部	夜	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数		15		単位数	1	クラス	パーサー・乗務員	
科目名			レイルウェイランゲージ			講師名	細井 美和	
担当講師の実務経歴		○	実務経歴		商社（2年8ヶ月）及び中国国営企業（1年8ヶ月）にて貿易事務に従事。半導体商社（1年8ヶ月）にて総務経理を担当。その他イベント通訳、旅行者アテンド、官公庁誌日中翻訳、中国語講師など。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
1. 中国人のお客様に案内が出来るように取り組む 2. 鉄道用語をたくさん身に付ける					授業形態：講義 1. 鉄道での場面を想定した単語、会話表現を繰り返し練習する。 2. 文法を正しく習得し、中国語の表現を数多く学ぶ			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	第5課 出口はどこにありますか？				駅構内の案内が出来る			
2	第3課（2）・第5課（2）				駅周辺の案内が出来る			
3	第6課（1）電車は何時に出発しますか				電車の時間の案内が出来る			
4	第6課（2）電車は何時に出発しますか				切符の予約を受け付けることが出来る			
5	テスト		筆記	20	テスト			
6	第7課 切符を買いたいです。				電車の乗り換え案内が出来る			
7	第8課（1）切符はいくらですか？				目的地までの案内が出来る			
8	第8課（2）切符はいくらですか？				金額の案内が出来る。			
9	テスト		筆記	20	テスト			
10	第9課（1）切符をなくしました				電車の待ち時間の案内が出来る			
11	第9課（2）切符をなくしました				忘れ物の対応が出来る			
12	会話テスト		実技	10	会話テスト / テストへ向けて復習			
13	試験WEEK		筆記	50	持ち込み：なし			
14	試験WEEKの振り返り				日本地図より地域の読み方を習得			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
テスト詳細 第5回 筆記 20点 第9回 筆記 20点 第12回 実技 10点 試験WEEK 筆記 50点 追試詳細については下記を参照のこと （実技試験の追試は次回授業内にて行う）					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		みんなの中国語 （鉄道編）	

授業計画書

学部	夜	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			15	単位数	1	クラス	ステーションサービスコース	
科目名			鉄道基礎知識			講師名	瀬戸 一広	
担当講師の実務経験		○	実務経歴		大阪中央交通サービス株式会社（大阪・名古屋所、運転指令所それぞれの所属長を経験し、現在大阪メトロサービスのコンシェルジュ事務所長として研修等を担当）			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
鉄道に対する一般知識及び駅業務について学び、接客能力を身につける。 ①鉄道車両及び鉄道電気の一般知識を学ぶ ②運転関係の基礎知識を習得 ③鉄道の安全・防災対策 ④駅業務と駅務機器の理解 ⑤お客さま対応の基礎知識を習得					授業形態：講義 ①鉄道車両・鉄道電気についてテキストを使い理解する ②運転関係に関する理解を深める ③安全・防災対策の知識を深める ④駅業務内容及び駅務機器についての基礎的なことを学習する ⑤駅現場におけるお客さまへの対応を学ぶ			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	鉄道車両				鉄道における車両について学ぶ			
2	鉄道電気				鉄道における電気を学ぶ			
3	鉄道電気				鉄道における電気を学ぶ			
4	鉄道電気		筆記	20	鉄道における電気を学ぶ			
5	駅務機器				駅務機器の取扱いについて理解を深める			
6	乗車券関係（IC乗車券）				乗車券について学ぶ			
7	校外学習（教習センター見学）				人材養成所施設を見学する			
8	防災関係		筆記	30	鉄道に関する防災を学び、理解する			
9	駅関係業務				机上にて駅施設及び駅業務を学ぶ			
10	運転業務関係				運転業務関係の一般的なところを学ぶ			
11	休講							
12	鉄道の安全				鉄道の安全について学ぶ			
13	試験WEEK		筆記	50	持ち込み：			
14	接客・接遇について				お客さまサービスについて学ぶ			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価	使用教材		
テスト 10月24日 筆記 20点 11月28日 筆記 30点 試験WEEK 筆記 50点					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

授業計画書

学部	夜	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			15	単位数	1	クラス	ステーションサービス	
科目名			ステーションケーススタディ			講師名	里口 邦夫	
担当講師の実務経験			○	実務 経歴	関西の鉄道会社で6年間弱勤務。 駅員、車掌、運転士を担当する。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> • 鉄道の基礎となる「安全」について深く学ぶ • なぜ事故は起きてしまうのかを考え、他人の事故から学ぶことの重要性を知る 					授業形態：講義 ①動画やテキストを用い、事故事例などから安全について学ぶ ②一人ひとりが考察し、決して事故は他人事ではないということ学ぶ			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	後期の授業の進め方				後期の授業紹介			
2	鉄道事故事例①「速度違反」				事故の要因、改善策を考える			
3	鉄道事故事例①「速度違反」		課題	7	//			
4	鉄道事故事例②「信号見落とし」				//			
5	鉄道事故事例②「信号見落とし」		課題	7	//			
6	鉄道事故事例③「ワンマン運転」				//			
7	鉄道事故事例③「ワンマン運転」		課題	7	//			
8	鉄道事故事例④「ATS」				//			
9	鉄道事故事例④「ATS」		課題	7	//			
10	鉄道事故事例⑤「列車防護」				//			
11	フィールドワーク		課題	25	フィールドワーク			
12	鉄道事故事例⑤「列車防護」		課題	7	事故の要因、改善策を考える			
13	試験WEEK		筆記	40	持ち込み：不可			
14	まとめ				2年間のまとめ			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
10/17 課題 7点 11/ 7 課題 7点 11/21 課題 7点 12/ 5 課題 7点 1 /23 課題25点 1 /30 課題 7点 試験WEEK 筆記 40点					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

授業計画書

学部	夜	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			15	単位数	1	クラス	ステーションサービス	
科目名			鉄道研究発表			講師名	里口 邦夫	
担当講師の実務経験		○	実務 経歴	関西の鉄道会社で6年間弱勤務。 駅員、車掌、運転士を担当する。				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> • 現在の日本における鉄道業界の問題点を知る。 • 新たな視点で、今後の鉄道業界について提案する。 					授業形態：講義 ①パソコン教室でパワーポイントを用いて企画し、発表をする。 ②発表時は、先生、卒業生、企業の方をお招きし、授業の成果を見せる			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	後期の授業の進め方				後期の授業紹介			
2	あなたの企画で、駅を活性化！				企画立案・制作			
3	あなたの企画で、駅を活性化！				//			
4	あなたの企画で、駅を活性化！				//			
5	あなたの企画で、駅を活性化！		課題	10	//			
6	発表		実技	20	プレゼンテーション			
7	夢の路線・鉄道会社・サービスを考える				企画立案・制作			
8	夢の路線・鉄道会社・サービスを考える				//			
9	夢の路線・鉄道会社・サービスを考える				//			
10	夢の路線・鉄道会社・サービスを考える		課題	10	//			
11	フィールドワーク				フィールドワーク			
12	発表		実技	20	プレゼンテーション			
13	試験WEEK		筆記	40	持ち込み：			
14	まとめ				2年間のまとめ			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
11/7 課題 10点 11/14 実技 20点 1/16 課題 10点 1/30 実技 20点 試験WEEK 筆記 40点					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

授業計画書

学部	夜	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数		15		単位数	1	クラス	CA/GSコース	
科目名			エアライン実務			講師名	伊藤 可奈	
担当講師の実務経験		○		実務経歴	外資系航空会社で5年間、客室乗務員として勤務。その後ホテルの宿泊部で2年間勤務。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・エアライン業界において即戦力となるよう、必要な知識を実践形式で身につける ・海外ゲストへの対応力を身につける 					授業形態：講義			
					<ul style="list-style-type: none"> ・前期で学んだ基礎知識を更に深く学ぶ ・ロールプレイや実践練習を取り入れながら授業を進める ・海外ゲストへの対応を想定し、英語での表現も学ぶ 			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	オリエンテーション				授業の説明、前期の振り返り			
2	これまでの復習				専門用語			
3	これまでの復習				CIQ			
4	コミュニケーションの基本①				接客の基本を学ぶ			
5	コミュニケーションの基本②				接客の基本を学ぶ			
6	サービスについて①		筆記	20	お酒の知識			
7	サービスについて②				ミールの知識			
8	サービスについて③				業務・英会話			
9	サービスについて④		実技	15	業務・英会話			
10	サービスについて⑤				業務・英会話			
11	サービスについて⑥		実技	15	業務・英会話			
12	安全について				護身術の基礎を学ぶ			
13	試験WEEK		筆記	50	持ち込み：なし			
14	まとめ				ロールプレイ			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
11/13 筆記 20点 12/4 実技 15点 1/22 実技 15点 試験WEEK 筆記 50点 追試：実技は母数減らし対応					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		プリント配布	

授業計画書

学部	夜	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数		15		単位数	1	クラス	CA/GSコース	
科目名			エアライン実務			講師名	伊藤 可奈	
担当講師の実務経験		○		実務経歴	外資系航空会社で5年間、客室乗務員として勤務。その後ホテルの宿泊部で2年間勤務。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・エアライン業界において即戦力となるよう、必要な知識を実践形式で身につける ・海外ゲストへの対応力を身につける 					授業形態：講義			
					<ul style="list-style-type: none"> ・前期で学んだ基礎知識を更に深く学ぶ ・ロールプレイや実践練習を取り入れながら授業を進める ・海外ゲストへの対応を想定し、英語での表現も学ぶ 			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標			特記事項
			内容	点数				
1	オリエンテーション				授業の説明、前期の振り返り			
2	これまでの復習				専門用語			
3	これまでの復習				CIQ			
4	コミュニケーションの基本①				接客の基本を学ぶ			
5	コミュニケーションの基本②				接客の基本を学ぶ			
6	サービスについて①		筆記	20	お酒の知識			
7	サービスについて②				ミールの知識			
8	サービスについて③				業務・英会話			
9	サービスについて④		実技	15	業務・英会話			
10	サービスについて⑤				業務・英会話			
11	サービスについて⑥		実技	15	業務・英会話			
12	安全について				護身術の基礎を学ぶ			
13	試験WEEK		筆記	50	持ち込み：なし			
14	まとめ				ロールプレイ			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
11/13 筆記 20点 12/4 実技 15点 1/22 実技 15点 試験WEEK 筆記 50点 追試：実技は母数減らし対応					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		プリント配布	

授業計画書

学部	夜	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	CA/GS	
科目名			マナープロトコル検定対策			講師名	南口 生美	
担当講師の 実務経験		○	実務 経歴	国際空港にて12年間、旅客への様々な案内・接客業務を担当、ホテル予約等の旅行代理店業務にも携わる。併せて新卒者をはじめとする社員教育も担当。				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
1. 社会人として必須のマナーやプロトコル（国際儀礼）に関わる知識と技能だけでなく、日本の伝統文化やそれに基づく冠婚葬祭のしきたり、マナーを理解し身につける。 2. マナープロトコル検定3級（もしくは2級）合格を目指す。					授業形態：講義 ・テキスト『マナー&プロトコルの基礎知識』に沿ってポイントを確認し、過去問題を解きながら知識を定着させる。 ・特に国際交流に必要な日本の伝統文化やしきたりについて背景から理解し、マナーを身につける。			
実施回数	授業スケジュール			授業内テスト		各回の到達目標		特記事項
			内容	点数				
1	授業のオリエンテーション マナーとは / マナーの歴史と意味					検定の概要、取得のメリットを知る 序章・第1章を理解し対策問題を解く		
2	国際人としてのプロトコル					第2章を理解し、対策問題を解く		
3	外国人の関心が高い日本の伝統文化①			筆記①	15	日本の伝統芸能(能、狂言、歌舞伎等)を理解し、映像から学ぶ		DVD
4	外国人の関心が高い日本の伝統文化②					映像を通して茶道について理解する 和室のマナーを身につける		DVD
5	和食のマナー			課題	15	第5章のうち和食のマナーを理解する 箸や器、懐紙の使い方を演習する		
6	西洋料理、中国・各国料理のマナー					第5章のうち西洋料理、中国料理、各国料理のマナーを理解する		
7	贈答のマナー			筆記②	15	第3章のうち贈答のマナーを理解する 祝儀袋、不祝儀袋の作法を身につける		
8	「冠」のしきたり					第7章を理解し、対策問題を解く		
9	「婚」のしきたり					第8章を理解し、対策問題を解く		
10	「葬」のしきたり			筆記③	15	第9章を理解し、対策問題を解く		
11	「祭」のしきたり					第10章を理解し、対策問題を解く		
12	検定対策					これまでの復習 直前対策 過去問題を解く		
13	試験WEEK			筆記④	40	1/0		
14	お酒のマナー 振り返り					第6章を理解する 授業のまとめ		
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
【授業内テスト等】 ・10月23日 授業内筆記テスト①（15点） ・11月 6日 課題（15点） ・11月20日 授業内筆記テスト②（15点） ・1月15日 授業内筆記テスト③（15点） ・試験week 筆記テスト④（40点） 【追試詳細】 ・筆記①②③ … 担当講師に追試日を確認すること ・課題 … 翌週授業にて提出 ・筆記④ … 試験WEEK内に追試日を設定					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		「マナー&プロトコルの基礎知識」 「マナープロトコル検定2級3級問題集」	

授業計画書

学部	夜	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	CA/GS	
科目名			マナープロトコル検定対策			講師名	南口 生美	
担当講師の 実務経験		○	実務 経歴	国際空港にて12年間、旅客への様々な案内・接客業務を担当、ホテル予約等の旅行代理店業務にも携わる。併せて新卒者をはじめとする社員教育も担当。				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
1. 社会人として必須のマナーやプロトコル（国際儀礼）に関わる知識と技能だけでなく、日本の伝統文化やそれに基づく冠婚葬祭のしきたり、マナーを理解し身につける。 2. マナープロトコル検定3級（もしくは2級）合格を目指す。					授業形態：講義 ・テキスト『マナー&プロトコルの基礎知識』に沿ってポイントを確認し、過去問題を解きながら知識を定着させる。 ・特に国際交流に必要な日本の伝統文化やしきたりについて背景から理解し、マナーを身につける。			
実施回数	授業スケジュール			授業内テスト		各回の到達目標		特記事項
			内容	点数				
1	授業のオリエンテーション マナーとは / マナーの歴史と意味					検定の概要、取得のメリットを知る 序章・第1章を理解し対策問題を解く		
2	国際人としてのプロトコル					第2章を理解し、対策問題を解く		
3	外国人の関心が高い日本の伝統文化①			筆記①	15	日本の伝統芸能(能、狂言、歌舞伎等)を理解し、映像から学ぶ		DVD
4	外国人の関心が高い日本の伝統文化②					映像を通して茶道について理解する 和室のマナーを身につける		DVD
5	和食のマナー			課題	15	第5章のうち和食のマナーを理解する 箸や器、懐紙の使い方を演習する		
6	西洋料理、中国・各国料理のマナー					第5章のうち西洋料理、中国料理、各国料理のマナーを理解する		
7	贈答のマナー			筆記②	15	第3章のうち贈答のマナーを理解する 祝儀袋、不祝儀袋の作法を身につける		
8	「冠」のしきたり					第7章を理解し、対策問題を解く		
9	「婚」のしきたり					第8章を理解し、対策問題を解く		
10	「葬」のしきたり			筆記③	15	第9章を理解し、対策問題を解く		
11	「祭」のしきたり					第10章を理解し、対策問題を解く		
12	検定対策					これまでの復習 直前対策 過去問題を解く		
13	試験WEEK			筆記④	40	1/0		
14	お酒のマナー 振り返り					第6章を理解する 授業のまとめ		
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
【授業内テスト等】 ・10月23日 授業内筆記テスト①（15点） ・11月 6日 課題（15点） ・11月20日 授業内筆記テスト②（15点） ・1月15日 授業内筆記テスト③（15点） ・試験week 筆記テスト④（40点） 【追試詳細】 ・筆記①②③ … 担当講師に追試日を確認すること ・課題 … 翌週授業にて提出 ・筆記④ … 試験WEEK内に追試日を設定					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		「マナー&プロトコルの基礎知識」 「マナープロトコル検定2級3級問題集」	

授業計画書

学部	夜	科 コー フ	海外キャリア	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			30	単位数	2	クラス		
科目名			Presentation Practice			講師名	谷 良子	
担当講師の実務経験		○	実務 経歴	英語講師・通訳案内士として6年以上勤務中				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・日本の文化習慣を理解し、外国のゲストに紹介説明できる力をつける。 ・外国人をもてなすプランを企画・実践する力をつける。 ・魅力ある企画を効果的にプレゼンテーションできる力をつける。 					授業形態：講義 <ul style="list-style-type: none"> ・日本文化を中心に学び、正しく理解するとともに、日本の文化習慣を英語で伝えられるようにしていく。 ・情報を収集し、創造力を持ってプランを企画していく。 ・外国人向けのtripを実施するなかで、英語で基礎的なガイドができるようにする。 			
実施回数	授業スケジュール	授業内テスト		各回の到達目標	特記事項			
		内容	点数					
1	オリエンテーション			シラバス及びツアー（実技フィールドワーク）の説明				
2	ツアーの予備知識①			日本を知る1				
3	ツアーの予備知識②			日本を知る2				
4	ツアーの予備知識③			奈良を知る				
5	ツアープランのプレゼン準備-1	課題	10	ツアーのプランニング				
6	ツアープランのプレゼン準備-2			ツアーのプランニング				
7	ツアープランのプレゼン準備-3			パワーポイント作成(英語) 発表(英語)の準備				
8	プレゼンテーション発表(英語)	実技	10	発表(英語)				
9	ツアーガイドのための知識と準備(1)	課題	10	実際のガイディングのための準備				
10	ツアーガイドのための知識と準備(2)			実際のガイディングのための準備				
11	ツアーガイドのための知識と準備(3)	課題	10	実際のガイディングのための準備				
12	学習のまとめ・ツアー直前チェック			実際のガイディングのための準備				
13	試験WEEK			持ち込み：否				
14	ガイド体験一日ツアー	実技	30	注：日曜日実施 フィールドワーク	学外			
15	総まとめおよび各種行事			これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。				
テスト・追試詳細				達成度評価		使用教材		
				A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布資料		

授業計画書

学部	夜	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			15	単位数	1	クラス	国際コミュニケーション	
科目名			韓国語			講師名	河憲民	
担当講師の実務経験		○	実務 経歴	専門学校・韓国語教室・ハングル学校・民団などで5年間、日本人と在日韓国人を対象に韓国語講師として勤務。				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
韓国語の文字である「ハングル」を習得し、日常生活に必要な簡単な会話を身につける。また韓国文化を楽しむ。具体的には、以下の通りである。 ①ハングルの子音母音を学んで、単語や文章の読み書きができる。 ②韓国語で日常生活に必要な簡単な会話ができる。					授業形態：講義 韓国語を初めて学ぶ人のための入門講座2番目である。文字は、会話やテキストを活用して学習する。4つの技能（読む・聞く・書く・話す）を用いてコミュニケーション能力を向上し、ペア・ワーク、グループワークを取り入れ、実践力を身につける。			
実施回数	授業スケジュール	授業内テスト		各回の到達目標	特記事項			
		内容	点数					
1	ハングル1課・2課・会話表現復習			1課・2課の読み書きができて、会話表現が言える。				
2	ハングル3課・会話表現復習	筆	10	3課の読み書きができて、会話表現が言える。				
3	ハングル4課(1)			4課(1)の読み書きができる。				
4	ハングル4課(1)・数字②			4課(1)の読み書きができて、数字を数えることができる。				
5	ハングル4課(2)・会話(買い物)	筆	15	4課(2)の読み書きができて、買い物の会話ができる。				
6	ハングル4課(2)・身体			4課(2)の読み書きができて、身体部位名が言える。				
7	ハングル1課～4課総復習	筆	15	ハングル1課～4課の読み書きができる。				
8	ハングル読み書き・会話(位置)			物の位置が説明できる。				
9	ハングル読み書き・会話(場所)			場所を聞いたり説明することができる。				
10	位置、場所表現の復習	実	10	位置、場所表現を実践で活用できる。				
11	ハングル読み書き・動詞表現			動詞を使った会話ができる。				
12	ハングル読み書き・頻度副詞			頻度副詞が活用できる。				
13	試験WEEK	筆	50	持ち込み：なし				
14	総復習			今までの学習内容が全て理解・活用できる。				
15	総まとめおよび各種行事			これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。				
テスト・追試詳細				達成度評価	使用教材			
10/16 筆記 配点10 11/6 筆記 配点15 11/20 筆記 配点15 1/15 実技 配点10 授業内試験の追試は、担当講師が実施 必ず欠席が確認できるものを提示すること。 試験WEEK 筆記 配点50 試験WEEKの追試は、試験WEEK期間内に学校側で実施				A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下	「開かれた韓国語」入門 夏雨出版			

授業計画書

学部	夜	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	0	0
総時間数		30		単位数	2	クラス	国コミュ	
科目名			Practical English (A)			講師名	Shahar	
担当講師の実務経験		○	実務 経歴	Hotel Industry Experience : 10years Trainer for Butler: 2years Teaching English : 5years AL T Trainer: 2 years and present				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
To develop basic spoken, oral and written English communication skills. The course will mainly focus on helping students to gain fluency and build the confidence necessary to express personal opinions and experience in English.				授業形態：講義				
				The course will cover a number of English scenarios and cover appropriate structures and vocabulary needed to complete them. There will be three short tests throughout the course accounting for 100% of the final grade.				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	Unit 5 Body Language & Custom				custom related body language and non verbal communication			
2	Unit 6 Individualism				Understanding on being independent & do things on one's own			
3	Review (Test 1) & Unit 7		Speaking	20	Recap before the test			
4	Unit 7 Politeness				Courtesy and Respect			
5	Unit 8 Communication Styles				The different ways people express themselves			
6	(Test 2) - Persentation		Presentation	15	Individual Presentation			
7	Unit 9 Gender and Culture				Different expectations about gender roles & communication style for men and women			
8	Unit 10 Diversity				Understanding the different culture between region			
9	(Test 3) persentation		persentation	15	Individual Presentation			
10	Review Unit 7 to 10				Recap on Student's understanding and show video			
11	Unit 11 Social Change				Changes of society & make the world a better place			
12	Global Community				Global community from various cultures			
13	試験WEEK		Writing	50	持ち込み：			
14	Review and Wrap up							
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
Test 1 - Speaking - 20% Test 2 - Presentation - 15% Test 3 - Presentation - 15% Test 4 - Final Exam - 50%					A 80点以上			
					B 70点以上			
C 60点以上								
D 59点以下								

授業計画書

学部	夜	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			15	単位数	1	クラス	国際コミュニケーション	
科目名			中国語			講師名	須磨みのり	
担当講師の実務経験		○	実務経歴		中国に5年間滞在。帰国後中国語法廷通訳・コミュニケーション通訳・医療通訳等15年以上。企業法人研修、通訳養成学校、カルチャースクール等にて中国語講師10年以上。教材作成も手掛ける。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
1. 中国語の発音を正しく身に付ける。 2. 基本的な文法を身に付け、単語を入れ替えるだけでたくさんの場面の会話ができるようにする。 3. 中国人のお客様と自信を持って会話ができるようにする。					授業形態：講義 ・新しい内容を授業内に覚えられるように繰り返し練習する ・発音を正しく繰り返し練習する ・職場で使える会話をたくさん練習する。			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト 内容 点数		各回の到達目標			特記事項
1	第六課 月日 曜日の言い方				数字の復習			
2	第七課 この服はいくらですか？				お金の言い方を身につける。			
3	第八課 このパソコンは高いですか？				形容詞の表現を身につける。			
4	第九課 トイレはどこにありますか？		筆記	20	場所をたずねる 道案内			
5	第十課 私は中国へ行きたいです				願望を表す文法「～したい」			
6	第十一課 ごはんを食べましたか？				動作の完了の言い方			
7	第十二課 彼女に会ったことがあります				経験を表す。「～したことがある」			
8	第十三課 私は泳げます				「～できる」の使い方			
9	第十四課 家まで車で10分です。		筆記	20	距離 道案内			
10	第十五課 あなたのパソコンは私より				比較の使い方			
11	第十六課 私は洗濯をしています。				動作の進行を伝える表現			
12	復習		実技	10	総まとめ			
13	試験WEEK		筆記	50	持ち込み：なし			
14	地名や施設、挨拶ほか				習った内容の総まとめ			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
【テスト】 1) 4回目 筆記 20点 2) 9回目 筆記 20点 3) 12回目 実技 10点 4) 試験WEEK内 筆記 50点 【追試】 4回目と9回目については相談の上決定。 実技は次の授業内。試験WEEK追試は期間内にて追試を行う。					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		みんなの中国語	

授業計画書

学部	夜	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数		45		単位数	3	クラス	ウエディングプランナー科	
科目名			ブライダル発表会			講師名	小林 太陽	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	ウエディングとして6年間勤務。新規・打合せ・施工一貫し業務を遂行。				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
2年間の集大成として、ブライダル発表会を成功させる 【中間報告】 11 / 14 (木) 授業内 【学内選考オーディション】 試験WEEK (2/4予定) 場所・時間未定 【ブライダル発表会】 2/10 (水) 終日 @NOVEL SHINSAIBASHI				授業形態：講義 ・企画、提案力を身につける ・チームでの仕事の進め方、問題解決能力を養う ・現場での対応力を養う				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標			特記事項
			内容	点数				
1	シラバス説明・グループ分け				授業説明・グループ分け・課題説明			
2	グループワーク				グループの方向性の確認・共有			
3	グループワーク				ゴールイメージをグループで共有			
4	企画書準備				企画内容を固める			
5	企画書提出		G課題①	15	企画書提出			
6	中間発表		実技①	15	グループ毎に発表			
7	中間発表振り返り		G課題②	20	中間発表の結果の振り返り			
8	準備 (パワーポイント制作)				準備作業			
9	準備 (パワーポイント制作)							
10	準備 (プレゼンテーション)							
11	準備 (プレゼンテーション)							
12	オーディションリハーサル				最終チェック・準備			
13	試験WEEK		実技②	30	2/4 (火) 学内オーディション予定			
14	休講 2/10 振替		実技③	20	2/10ブライダル発表参加 (実技③)			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
追試申請の提出必須 G課題①②→チーム点を加算 実技①②③→チーム点を加算					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		プリント配布	

授業計画書

学部	夜	科 コース	ブライダル	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			45	単位数	3	クラス	ドレスコーディネーターコース	
科目名			ドレスコーディネーターコース			講師名	岩本 史子	
担当講師の実務経験			○	実務経歴	ヘアメイクアップアーティストとして18年所属し、ヘアメイクだけでなくドレスや装花、撮影やショー、結婚式の演出等のコーディネーターとしても従事。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ●クラスをひとつのチームとして、各担当者ごとに責任を持ってコスチュームを中心としたスタイリングショーを行う。(2/21ブライダル発表会にて) ●小物、ドレスの製作や演出内容を学生が考えることにより、企画担当者やデザイナーの気持ちを理解する機会になる。 ●限られた予算、時間、環境の中でいかに段取り良く取り組めるかが課題となる 					授業形態：講義 <ul style="list-style-type: none"> ●限られた時間の中でいかに自分の存在やセンスを発揮できるかがカギとなる。 ●個人に役割が振り当てられ、チーム作業だけでなく自分の担当の役割に責任感を持った行動が取れているか、また表立った評価だけでなく、各個人が真摯に取り組んでいるかどうかを評価できるよう、課題としてレポート作成を提出する評価方法を取り入れている。 			
実施日 回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	授業説明 打ち合わせ				ショー説明・クラステーマ決定・チーム分け			
2	演出授業 企画・計画プランの作成				①②田中先生による演出授業 ③打ち合わせ			
3	ドレス製作1							
4	ドレス製作2		課題	15	※企画書提出締め切り			
5	ドレス製作3							
6	ドレス製作4							
7	ドレス製作5							
8	ドレス製作6				①②田中先生による演出授業			
9	ドレス製作7 ヘアメイク決定		課題	15	※音源提出締め切り			
10	ドレス製作8		課題	15	※キャプション用紙提出締め切り			
11	ウォーキングリハーサル ドレス製作		課題	15	①②ウォーキング授業 ※演出用紙提出			
12	リハーサル		レポート	15	支度～発表まで一連の動作を確認する			
13	スタイリングショー（試験WEEK）		当日点	25				
14	振り返り 片付け							
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
12/5 音源をCDに収めて提出（チーム点） 1/16 クラスキャプション・ドレスキャプション用紙提出（個人点） 1/23 演出導線を決定し提出（個人点） 1/30 演出課題レポート（個人点） 2/10 発表会出席点（個人点） 以上の100点満点で評価する ※※各追試は追試申請が認められた者のみ翌週までに課題内容を確認して課題を提出することを認める					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		なし	

授業計画書

学部	夜	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			45	単位数	3	クラス	プライダルビューティーアドバイザー	
科目名			ネイルⅡ/ヘアメイクⅡ			講師名	村上/鷗野	
担当講師の実務経験			○	実務経験	村上：日本ネイリスト協会本部認定講師として20年の経験。 鷗野：現役プライダルヘアメイクスタッフ			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
【ネイル】 ・ネイル検定取得 ・プライダルネイルの知識 ・技術の取得 ・セルフビューティーについて学ぶ 【ヘアメイク】 ・お客様のご希望に応じたヘアメイクができる ・時間内にヘアメイクを綺麗に仕上げられる					授業形態：講義 【村上(ネイルⅡ)】1998年にアメリカに渡りネイルの資格を取得。 日本ネイリスト協会本部認定講師として20年の経験。 【鷗野(ヘアメイクⅡ)】美容部員4年、ヘアメイクアーティスト7年経験。			
実施回数	授業スケジュール			授業内テスト		各回の到達目標		特記事項
				内容	点数			
1	オリエンテーション・ジェルネイルデモ					授業の進め方、内容理解、前期の復習		(ア)金光
2	ジェルネイルベース・クリア			実技	20	ジェルネイルの扱い方、使用方法		(ア)金光
3	ジェルネイルアート①			実技	20	カラージェル、アート技術取得		(ア)金光
4	ジェルネイルアートプライダル			実技	30	プライダルジェルの注意、最新アート		(ア)金光
5	ジェルネイルアート作品作成			課題	30	作品作成		(ア)金光
6	ジェルネイルアート作品作成					作品作成		(ア)金光
7	花嫁ヘア					人気のヘアスタイルが作れる		(ア)中田
8	花嫁メイク(洋装)			実技	25	洋装花嫁メイクを身に付ける		(ア)中田
9	花嫁ヘアメイク(洋装)					洋装花嫁を60分で作り上げる		(ア)中田
10	撮影実習準備・練習①					撮影実習の準備・練習		(ア)中田
11	撮影実習準備・練習②					FALSE		(ア)中田
12	撮影実習			実技	25	2人1組で作品を作り撮影		(ア)中田
13	試験WEEK					持ち込み：		
14	展示準備/まとめ					作品展示準備/道具のお手入れ		(ア)中田
15	総まとめおよび各種行事					これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。		
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
【追試日程(ネイルⅡ)】 ①10月16日(実技)→10月23日実施 ②10月23日(実技)→10月30日実施 ③10月30日(実技)→11月6日実施 ④11月6日(実技)→11月13日実施 【追試日程(ヘアメイクⅡ)】 ①11月27日(実技)→12月4日実施 ②1月29日(実技)→2月12日実施					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		・ネイル道具 ・配布プリント	

授業計画書

学部	夜	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			45	単位数	3	クラス	宿泊スタッフB	
科目名			宿泊オペレーション/宿泊実務			講師名	小中 由比	
担当講師の実務経験			○	実務経歴	ホテル業界にて8年間、パトラー、ベルスタッフ、フロントスタッフなど宿泊業務全般をシティホテル、リゾートホテルなど複数のホテルにて担当。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>【宿泊オペレーション】</p> <p>1. フロントキャッシャー業務について理解する</p> <p>2. チェックアウトの流れ及びシステムを実技で身に付ける</p> <p>【宿泊実務】</p> <p>お客様へのサプライズ提案から実演までを通し、実務的に把握する。フロントシステムを使用し、引き継ぎ及び他部署との連携の必要性を理解する。</p>					<p>授業形態：講義</p> <p>【宿泊オペレーション】</p> <p>ロールプレイを中心に座学を交えながらキャッシャー業務の理解及びOPERA使用方法の習得を目指す。スーツ着用。</p> <p>【宿泊実務】</p> <p>前半はサプライズのためタオルアート作りを学び、後半は実際のホテルに向けたサプライズ企画を作成及び提案を目指しグループにて進めていく。</p>			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	宿泊OP前期復習/キャッシャー業務とはオリエンテーション				前期復習・キャッシャー業務の理解 コンテストまでの流れ&コンシェルジュとは			
2	様々な精算方法・スクリプト配布 ロマンスコンシェルジュとは				様々な支払い方法の理解・チェックアウト業務の流れ把握 コンシェルジュで使用する小道具などを知る			
3	領収書の書き方 タオルアートコンテスト準備		筆記 課題①	20 10	私製領収書の書き方の理解 タオルアートコンテストへの準備/ワード資料作成			
4	OPERA演習① タオルアートコンテスト		実技① 課題②	20	前期の復習・OPERA使用方法の理解 サプライズストーリーの作成から発表まで			
5	OPERA演習②・実技試験 サプライズ演出コンテスト準備①		実技② 課題③	20 10	アートの復習と試験 チームコンセプトの作成			
6	外貨両替・OPERA演習③ サプライズ演出コンテスト準備②		課題③	10	外貨両替方法の理解 サプライズストーリー作成			
7	OPERA演習④ サプライズ演出コンテスト準備③		課題③	10	チェックアウト業務の基本入力方法の理解 ロマンスコンシェルジュセッティング			
8	OPERA演習⑤ リハーサル		実技④	10	DEPOSIT・返金方法の演習 手直し&撮影準備			
9	OPERA演習⑥ サプライズ演出コンテスト		実技⑤ 課題④	30	精算のキャンセル方法の理解 撮影本番→企業へ郵送			
10	実技試験対策				※翌週のテスト対策実施			
11	実技試験		実技⑥	40	実技/総復習レポートの作成			
12	実技試験		課題⑤	10	実技テストからのフィードバック			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	まとめ(宿泊OP総復習)		実技⑦	10	復習ロールプレイング 「宿泊実務」結果発表及び上映会			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価	使用教材		
<p>【宿泊オペレーション】</p> <p>3週目 筆記 翌週実施</p> <p>5週目 実技② 翌週実施</p> <p>11週目 実技⑥ 翌週実施</p> <p>(12週) 課題⑤ 母数減らし</p> <p>14週目 実技⑦ グループ内 評価に準ず</p>					<p>【宿泊実務】</p> <p>3週目 課題① 翌週提出</p> <p>4週目 実技① 翌週実施</p> <p>課題② 翌週実施</p> <p>5週目 課題③ 母数減らし</p> <p>6週目 課題③ 母数減らし</p> <p>7週目 課題③ 母数減らし</p> <p>8週目 実技④ グループ内</p> <p>9週目 実技⑤ 評価に準ず</p> <p>課題④ 母数減らし</p>		<p>A 160点以上</p> <p>B 140点以上</p> <p>C 120点以上</p> <p>D 119点以下</p>	配布プリント

授業計画書

学部	夜	科 コース	料飲サービススタッフコース	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数		30		単位数	2	クラス	B	
科目名			サービスプレゼンテーション			講師名	山岡丈也	
担当講師の実務経験		○		実務 経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・料飲経験17年：ホテル直営レストランの責任者として従事 ・レストランサービス技能検定 1級技能士 ・(社)HRS 西洋料理テーブルマナー認定講師 			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>【レストラン営業】 実習室でのレストラン営業を通して次の内容を学ぶ。 ・レストランでの必要な職種・業務 ・料理単価、原価率、集客、営業戦略</p> <p>【アフタードリンク】 コーヒー、紅茶、ハーブティの知識、技術を学ぶ</p>					<p>授業形態：講義</p> <p>【レストラン営業】 これまでの知識・技術を活かしてコンセプトから営業に関わる全ての内容を学生自身で考え、集大成として1日の営業で発表する。</p> <p>【アフタードリンク】 食後のドリンクについての知識、技術を習得する</p>			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標			特記事項
			内容	点数				
1	レストラン営業概要説明 個人プラン作成				ルール説明・個人プラン作成			
2	コンセプトプレゼンテーション		実技 課題	15 10	個人プラン（課題）プレゼン（実技）			
3	レストランコンセプト作成				コンセプト作成			
4	営業準備①		課題	5	担当業務振り分け・担当別打合せ			
5	営業準備②		課題	5	担当別打合せ			
6	営業準備③		課題	5	担当別準備			
7	営業準備④		課題	5	担当別準備			
8	営業準備⑤		課題	5	担当別準備			
9	営業準備⑥		課題	5	担当別準備			
10	レストラン営業リハーサル		実技	10	営業前リハーサル			
11	レストラン営業本番		実技	15	レストラン営業本番			
12	レストランの計数管理		レポート	20	収入、経費、損益分岐点			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	振り返り				レストラン営業振り返り			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
<p>【追試詳細】</p> <p>筆記 … 授業担当者に追試日を確認 実技 … 母数減らし 課題 … 母数減らし レポート … 担当講師へ後日提出</p>					<p>★コース内授業2科目 (合計200点満点)にて コース評価とする</p> <p>A 160点以上 B 140点以上 C 120点以上 D 119点以下</p>		配布プリント	

授業計画書

学部	夜	科 コース	料飲サービススタッフコース	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			15	単位数		1	クラス	夜B
科目名			ビバレッジオペレーション			講師名	平井	
担当講師の実務経験			○	実務経歴		ホテル勤務時代、主に直営レストランのチーフソムリエとして従事。現在はレストラン接客の教育やワインセミナー講師などにて活躍中。シニアソムリエ資格、ベネシアドール資格保有		
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
①ソムリエの業務や役割を学ぶ。 ②ワインに関する様々な知識を身につけることで、ワインへの理解を深める。 ③ワインのサービス方法とテクニックを学ぶ。					授業形態：講義 <ワイン概論> ブドウ品種や造り方、産地の特徴、料理とのマリアージュなど基礎的な知識を学ぶ。 <ワインサービス> 実践を通して、抜栓、注ぎ方、お客様へのプレゼンテーションなど基礎から応用まで学ぶ。 ※概論の授業の後半は実践の授業を行います。			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	オリエンテーション・ソムリエの仕事				授業内容の理解・ソムリエ業務			
2	ワインサービス				実技試験リハーサル			
3	ワインサービス実技試験		実技	10	ワインの抜栓			
4	ワイン概論①				ブドウ品種・造り方など			
5	ワイン概論②				オールドワールドのワイン (フランス・イタリアなど)			
6	ワイン概論③				ニューワールドのワイン (日本・チリなど)			
7	ロールプレイング&ディスカッション		課題	15	現場で起こる様々な問題についての考察			
8	ワインサービス				実技試験リハーサル			
9	ワインサービス実技試験		実技	15	実技試験			
10	ワインやサービスについての考察		課題	30	授業内課題			
11	レストラン営業本番				レストラン営業			
12	ワイン概論④				ワインと料理のマリアージュ			
13	試験WEEK		筆記	30	持ち込み：なし			
14	振り返り				授業の振り返り			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
実技…母数減らし 課題…母数減らし 筆記…以下の試験日に受験					★コース内授業2科目 (合計200点満点)にて コース評価とする A 160点以上 B 140点以上 C 120点以上 D 119点以下		配布プリント	

授業計画書

学部	夜	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数		15		単位数	1	クラス	旅館スタッフ	
科目名			コミュニケーショントレーニング			講師名	松岡ありさ	
担当講師の実務経歴		○	実務経歴		USJエンターティナー 2002年～2016年（14年） USJクリエイティブ（演出）2006年～2019年（13年） 司会業 2009年～2019年（10年） 講師業 2003年～2019年（16年）			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
日本の「おもてなし」文化を実践するため、旅館でのお客様との会話力や対応力、柔軟性を磨き、旅館スタッフの魅力を高める。 学期末には、実践的なテストを行い、旅館で働く際のシミュレーションを行う。					授業形態：講義 演劇の即興トレーニングを用いて、会話力や、様々なお客様の視点で考えられる共感力を養う。はきはきとしたわかりやすいしゃべり方、相手に伝わる話し方、誰にでも対応できる知識や人間力を身につける。			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	授業説明、シアターゲーム、発声練習				はきはきとした声で自己紹介ができる。 初めての人に心を開く。目標達成シート			
2	私の選ぶ名旅館・名観光地プレゼン①		実技	20	それぞれが日本で一番素敵だと思う観光地や働いてみたい旅館をプレゼンする			
3	私の選ぶ名旅館・名観光地プレゼン②				前回で収まらない場合はこの日にプレゼンの続きを行う。期末テストの観光地・旅館を全員で決定する。			
4	観光案内		実技	15	決定した土地の観光案内を行う			
5	旅館案内		実技	15	指定された旅館の案内を行う			
6	会話カトトレーニング				基礎的なトレーニングを行う			
7	会話カトトレーニング		実技	5	発展的なトレーニングを行う			
8	シチュエーションに合わせた対応練習		実技	5	お客様を仮定して、それぞれの年代に合った会話の選び方を学ぶ			
9	模擬試験：田中照人先生		実技	15	田中先生にお客役をやっていただき、期末テストの模擬試験を行う			
10	テストリハーサル				模擬テストの結果を伝え、改善点を磨く			
11	テストリハーサル		実技	5	テスト前の最終リハーサル			
12	テスト日		実技	20	実技テスト（詳細後日）			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	振り返り				「どんな旅館スタッフになりたいか」発表			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
10/16・23・30・11/6 →実技試験 （2週間後までに授業内で追試を行う） 11/20・27・12/4・1/22・29→母数減らし					★コース内3科目 合計300点満点で評価 A 240点以上 B 210点以上 C 180点以上 D 179点以下		プリント	

授業計画書

学部	夜	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			15	単位数	1	クラス	旅館スタッフ	
科目名			旅館オペレーション			講師名	東	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	英会話スクールにて8年、外資系ホテルにて従業員対象英語クラス担当4年、客室乗務員用英会話対策など				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
旅館に宿泊するインバウンドのお客様に旅館ならではのサービスや施設・使用方法を英語で説明でき、対応できること。					授業形態：講義 予約からチェックイン、ご挨拶や基本的対応、旅館におけるサービス・施設・使い方の説明、チェックアウトまでを各場面ごとに演習する。			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	接客英語の基本Ⅰ				丁寧な英語表現を習得する			
2	接客英語の基本Ⅱ				接客英語を習得する			
3	チェックインⅠ/筆記テスト		筆記	10	接客英語筆記テスト/チェックイン表現習得			
4	チェックアウト				チェックアウトの表現を習得			
5	お部屋への案内/筆記テスト		筆記	5	C/I, C/Oの筆記/部屋までの案内表現を習得			
6	お部屋での案内Ⅰ				和室の単語習得、客室案内、履物説明ができる			
7	お部屋での案内Ⅱ				お茶のサービス、夕食の案内の表現習得			
8	お部屋での案内Ⅲ				風呂、浴衣、布団の説明ができる			
9	夕食（和食）の説明/筆記テスト		筆記	10	部屋での案内の筆記テスト/夕食の説明			
10	実技対策、実技練習				部屋での案内の実技テスト対策と練習			
11	実技練習		実技課題	30 5	部屋での案内の実技テスト			
12	宿泊予約・筆記対策				宿泊予約の対応ができる・筆記対策			
13	試験WEEK		筆記	40	持ち込み：			
14	まとめ				旅館での接客英語の復習、まとめ			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価	使用教材		
【追試詳細】 筆記・実技 — 翌週に実施（担当講師に要確認） 試験week筆記 — 試験week内に追試実施					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下	配布プリント		

授業計画書

学部	夜	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数			15	単位数	1	クラス	テーマパークスタッフ	
科目名			テーマパークランゲージ			講師名	金ミンソン / 細井美和	
担当講師の 実務経歴		○	実務経歴 エクシリア外語学院 韓国語非常勤講師・一般事務・翻訳 大阪拘置所 韓国語 翻訳・通訳の経験あり 商社（2年8ヶ月）及び中国国営企業（1年8ヶ月）にて 貿易事務に従事。半導体商社（1年8ヶ月）にて総務 経理を担当。その他イベント通訳、旅行者アテンド、 官公庁誌日中翻訳、中国語講師など。					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
業務上必要な基本表現を身につける。基本的にレストラン、アトラクションにおける接客表現を中心に学習し、現場で活用できるようにする。					授業形態：講義 各回、表現の練習後、ペア・ワーク、グループワークを通じて、実践力を身につける。			
1. 基本的な言葉を覚え、簡単な会話ができるようにする。 2. テーマパーク内で使われる言葉を覚え、中国人のお客様を案内できるようにする。					1. 教材の内容をもとに、テーマパーク現場で使用される言葉を取り入れて、繰り返し練習する。			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	【韓国語】表現練習				案内、注意事項の表現ができる。			
2	【韓国語】レストランでの会話1		筆	10	レストランでの接客の表現ができる。			
3	【韓国語】レストランでの会話2		筆	10	レストランでの接客の表現ができる。			
4	【韓国語】アトラクションでの会話1		実	10	アトラクションでの接客の表現ができる。			
5	【韓国語】アトラクションでの会話2		実	10	アトラクションでの接客の表現ができる。			
6	韓国語まとめ		実	10	学習した内容を実践に繋ぐことができる。			
7	【中国語】基本の挨拶				基本的な挨拶			
8	【中国語】数字				売店・レストランなどで使う数字を学ぶ			
9	【中国語】実技テスト		実	10	実技テスト			
10	【中国語】時間				待ち時間・ショーの時間の案内をする			
11	【中国語】場所案内				アトラクション・トイレなどの場所案内			
12	中国語筆記テスト		筆	40	確認テスト			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	【中国語】緊急時対応				緊急時の表現を学ぶ			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価	使用教材		
<筆記> <実技> ともに担当講師が追試担当。 必ず、申請した書類を提示すること					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下	プリント		

授業計画書

学部	夜	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	選択	コース科目
総時間数		45		単位数	3	クラス	セールス&マーケティング	
科目名			営業実践・マーケティング応用・セールスツール			講師名	橋本 拓也	
担当講師の実務経験		○		実務 経歴	旅行会社にて10年勤務（企画、仕入れ、ガイド業など）			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
営業・マーケティング・PCスキルを学ぶことでモノを売る流れを知る。 また、営業職としてのプレゼン力やトーク力も同時に習得する。					授業形態：講義 営業実践として、トーク力・訴求力のあるチラシを作成し、プレゼン力をつける。 また、アンケート調査・分析・企画提案・発表をとおしてモノを売る楽しさを知る。			
					実施回数	授業スケジュール		授業内テスト
			内容	点数				
1	前期の振り返り ガイダンス・アンケート 項目設定				前期の振り返り・授業の進め方・ アンケート項目を決める			
2	アンケート実践・集計				作成したアンケートを実施し集計をする			
3	アンケート分析・キャッチ コピー作成		実技	15	集計したアンケートを分析し、 キャッチコピーにつなげる			
4	商品考案・イメージ図・企画書 作成		課題	15	商品を考案すると同時にイメージ図と 企画書を企業様向けに作成する			
5	プレゼン資料作成				スライド・チケット・チラシの作成			
6	プレゼン資料作成		課題	15	スライド・チケット・チラシの作成			
7	プレゼンリハーサル				プレゼンリハーサルをする			
8	プレゼン本番		実技	30	チームごとにプレゼンを実施			
9	商品販売準備				商品販売するために看板などを 準備する			
10	チケット販売		実技	10	放送で販促をしたり、校内で チケットを販売する			
11	商品引き渡し準備				商品の引き渡しを準備する			
12	引き渡し当日		課題	15	販売した商品の引き渡し日			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	企画に対するフィードバック				チームごとに話し合いプレゼンを実施			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職 セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
第3回・・・実技①15点⇒母数減らし 第4回・・・課題①15点⇒チーム点加算 第6回・・・課題②15点⇒チーム点加算 第8回・・・実技②30点⇒チーム点加算 第10回・・・実技③10点⇒母数減らし 第12回・・・課題③15点⇒母数減らし					A 80点以上		プリント	
					B 70点以上			
					C 60点以上			
					D 59点以下			

授業計画書

学部	昼	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	必修	共通科目
総時間数			30	単位数	2	クラス		
科目名			遊学ゼミ			講師名	小中・小路・中村	
担当講師の実務経験				実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
毛筆を使った文字の基礎練習をすることで、社会人になる前に改めて丁寧な字を書くことの大切さを学習します。 さらに、筆ペンを使った「ゆる文字」を学ぶことで物事に対する固定概念などを崩し、自由な発想力を養います。					授業形態：講義 毛筆では、基本的な文字練習を3週使って学びます。その後、筆ペンを使って「ゆる文字」を学び、あわせてパステルでの色付け、消しゴムはんこで自身のスタンプを作成します。最終的には、毛筆や筆ペンを使って自分の気持ちを表現できるようになります。 ●自己負担費用：1,500円程度●			
実施回数	授業スケジュール			授業内テスト		各回の到達目標		特記事項
				内容	点数			
1	遊学ゼミ説明会					遊学ゼミの説明会に参加し説明を聞く		
2	ガイダンス					授業進め方の説明		
3	毛筆で文字練習②			課題	10	毛筆を使って基本的な文字の練習をする		
4	毛筆で文字練習③			課題	15	毛筆を使って基本的な文字の練習をする		
5	筆文字基礎練習①&パステル					筆ペンを使っての筆文字練習&パステル基本を習得		
6	筆文字基礎練習②			課題	10	筆文字の練習&消しゴムはんこの作成をする		
7	季節のカード作成①			課題	15	筆文字とパステルで秋のカードを作成する		
8	筆文字アルファベット練習					筆ペンでアルファベット練習をする		
9	課題作成			課題	15	これまで学習した内容を使って課題作成		
10	季節のカード作成②&ポチ袋作成			課題	15	筆文字・パステル・アルファベットを使ってクリスマスカードとポチ袋		
11	書き初め&描き下ろしと作品作成			課題	10	筆文字での書初めと描き下ろしの構成を考える		
12	描き下ろしと作品作成					描き下ろし作品を作成する		
13	試験WEEK					持ち込み：		
14	描き下ろしと作品作成			課題	10	描き下ろし作品を作成する		
15	総まとめおよび各種行事					これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。		
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
全ての課題提出に対しては、母数減らしとする。 ただし、欠席関連書類の提示は必ずすること。					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		オリジナルプリント	

授業計画書

学部	夜	科 コース	全学科共通	年次	2	区分	必修	共通科目
総時間数			15	単位数	1	クラス	遊学ゼミ	
科目名			筆活ゼミ			講師名	小中・小路・中村	
担当講師の実務経験				実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
毛筆を使った文字の基礎練習をすることで、社会人になる前に改めて丁寧な字を書くことの大切さを学習します。 さらに、筆ペンを使った「ゆる文字」を学ぶことで物事に対する固定概念などを崩し、自由な発想力を養います。					授業形態：講義 毛筆では、基本的な文字練習を3週使って学びます。その後、筆ペンを使って「ゆる文字」を学び、あわせてパステルでの色付けで作品の自由度を広げます。最終的には、毛筆や筆ペンを使って自分の気持ちが表現できるようになります。 ●自己負担費用：1,500円程度●			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標			特記事項
			内容	点数				
1	遊学ゼミ説明会				遊学ゼミの説明会に参加し説明を聞く			
2	毛筆で文字練習①		課題	10	毛筆を使って基本的な文字の練習をする			
3	毛筆で文字練習②				毛筆を使って基本的な文字の練習をする			
4	毛筆で文字練習③		課題	15	毛筆を使って基本的な文字の練習をする			
5	筆文字基礎練習①				筆ペンを使っての筆文字練習をする			
6	筆文字基礎練習②		課題	10	筆ペンでの文字練習&パステルを使っての色付け練習			
7	季節のカード作成①		課題	15	筆文字とパステルで秋のカードを作成する			
8	筆文字アルファベット練習				筆ペンでアルファベット練習をする			
9	課題作成		課題	15	これまで学習した内容を使って課題作成			
10	季節のカード作成②		課題	15	筆文字・パステル・アルファベットを使ってクリスマスカードを作成する			
11	書き初め&描き下ろしと作品作成		課題	10	筆文字で描き下ろしの構成を考える			
12	描き下ろしと作品作成				描き下ろし作品を作成する			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	描き下ろしと作品作成		課題	10	描き下ろし作品を作成する			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
全ての課題に対しては、母数減らしとする。					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		オリジナルプリント	